

設置の趣旨等を記載した書類
(目次)

1	設置の趣旨及び必要性	P. 2
2	学部・学科等の特色	P. 6
3	学部・学科等の名称及び学位の名称	P. 11
4	教育課程の編成の考え方及び特色	P. 11
5	教員組織の編成の考え方及び特色	P. 21
6	教育方法、履修指導方法及び卒業要件	P. 22
7	施設、設備等の整備計画	P. 25
8	入学者選抜の概要	P. 27
9	取得可能な資格	P. 29
10	実習の具体的計画	P. 30
11	企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画	P. 40
12	昼夜開講制を実施する場合の具体的計画	P. 40
13	編入学定員を設定する場合の具体的計画	P. 40
14	2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画	P. 40
15	社会人を対象とした大学教育の一部を校舎以外の場所（サテライトキャンパス）で実施する場合の具体的計画	P. 41
16	多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画	P. 41
17	通信教育を実施する場合の具体的計画	P. 42
18	管理運営	P. 42
19	自己点検・評価	P. 42
20	情報の公表	P. 42
21	教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	P. 42
22	社会的・職業的自立に関する指導等及び体制	P. 42

1. 設置の趣旨及び必要性

ア. 学部等設置の理由及び必要性

(1) 大阪市立大学と大阪府立大学の統合の必要性と看護分野の沿革

2020年1月の大阪公立大学基本構想においては、大阪の発展を牽引する知の拠点をめざして、大阪市立大学と大阪府立大学がもつポテンシャルを結集し、高度な融合研究を展開し、課題解決に貢献することが打ち出された。この基本構想にもとづき、大阪市立大学医学部看護学科と大阪府立大学地域保健学域看護学類を統合し、大阪公立大学看護学部を設置する。

大阪市立大学医学部看護学科は前身である大阪医科大学附属病院厚生学院（1949年開設）、大阪市立大学看護短期大学部（1998年開設）の組織改編ならびに大阪市立保健専門学校の廃止とともに2004年に大阪市立大学医学部看護学科を設置し、2008年に大阪市立大学院看護学研究科前期博士課程、2011年に同研究科後期博士課程を開設した。大阪府立大学地域保健学域看護学類は、前身である大阪府立看護大学看護学部（1994年開学）、大阪府立看護大学看護学研究科修士課程（1998年開設）、同研究科博士課程（2000年開設）を経て、2005年に大阪府立大学として組織改編された。

大阪市立大学では、優れた看護職の養成に加えて、看護学の教育研究者の養成に力を注いできた特徴をもっている。大阪府立大学は、日本で最多の専門看護師コースの教育課程を備え、高度実践看護師ならびに研究者を養成してきた特徴がある。両大学とも、2017年度～2019年度の過去3年間の学生の平均看護師国家試験合格率については、大阪市立大学97.0%、大阪府立大学100%と全国平均94.7%（2020年度新卒者合格率）より高い。同様に、過去3年間の卒業生のうち、看護職としての就職率（大学院、保健師助産師課程への進学者を除く）については、大阪市立大学88%、大阪府立大学96%、府内の保健医療機関への就職率については、大阪市立大学71%、大阪府立大学82%と高く、前身校の伝統や教育基盤を継承しながら、数十年にわたって、社会、特に大阪の地域社会に向けて実践の中核となる看護職・看護人材を安定的に輩出してきている実績があることを強調する。

大阪公立大学看護学部では、両大学がこれまで培ってきた看護実践力、教育力、研究力を統合し、水準の高い看護実践分野と高度な研究分野を併せ持つ公立大学として、新たな看護学における学術領域の拡充をめざし、公立大学として全国最大規模の看護職・看護人材養成拠点となり、存在感を大きく示すこととなる。

(2) 持続可能な社会の実現のための看護学の必要性

看護学は、人間の生・老・病・死のすべてにかかわり、あらゆる発達段階、健康レベル、生活の場などにおいて、個人、家族、地域の健康と生活の質をまもる切れ目のない支援を追求する学問であり、看護職の専門性を担保する学問である。

我が国は、少子超高齢化・人口減少化が進み、生産労働人口割合の低下による労働力の減少、高齢者人口の増加による医療費や社会保障費の増大などにより、持続可能な社会を維持することが求められている。この新たな局面に対して、①社会全体の活力を維持する基盤としての健康寿命を延伸すること、②労働力の制約が強まる中での医療・介護のサービス資源

の確保の 2 つの課題が挙げられている（厚生労働省、2040 年を見据えた社会保障改革の課題）。

第一の課題である社会全体の活力を維持する基盤として人々の健康寿命を延伸するためには、質の高い医療保健福祉ケアを安定的に提供することが重要である。看護職は、医療関係従事者の半数以上を占める職種であり、病院のほか、診療所、介護保険施設、訪問看護ステーション、障害者福祉施設、行政、企業、学校など多様な場において、療養の世話、診療の補助、健康増進、疾病予防活動など多彩な役割を果たす。国民の医療保健福祉ケアの質を確保するには確かな看護実践力を兼ね備えた資質の高い看護職の養成と科学的根拠に基づく看護学の発展が必要である。さらには、先進医療や最先端医療などの技術開発、家庭や施設など生活の場における医療の需要の高まり、グローバル化に伴う多様な文化背景をもつ人々への対応の必要性に伴い、次代を担う看護職には自律的な実践力と自主性、応用力がこれまで以上に必要とされている。

第二の課題である労働力の制約が強まる中での医療・介護のサービス資源を確保するために、医療保健福祉ケアの分野においても、Society5.0（仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムによる人間中心の社会）の推進に伴う急速な技術革新が展開されている。Internet of Things（IoT）、ロボット、人工知能（AI）の発達により、医療保健福祉ケアに関する知識と情報の共有が求められ、医療保健福祉職や非専門職間におけるタスクシフトが一層進められる。これからの看護分野では、めまぐるしく変化する時代の流れを鋭敏に受け、新たな技術を取り入れ、人々とともに看護の価値を創造できる感性と好奇心、さらには看護やケアの技術革新の源となる飛躍知を発見できる知的牽引力が必要である。

（３）大阪府民の健康課題を解決し医療の質に寄与する看護職養成拠点の必要性

これまで、全国的にみたときには、大阪府民の健康指標は良好ではないことが指摘されてきている。2018（平成 30）年度第 3 次大阪府健康増進計画によれば、2015（平成 27）年の大阪府民の平均寿命は、男性 80.23 歳（全国＝80.77 歳）、女性 86.73 歳（全国＝87.01 歳）、健康寿命は男性 70.46 歳（全国 71.19 歳）、女性 72.49 歳（全国＝74.21 歳）と、平均寿命、健康寿命とともに全国を下回っている。府民の特定健診受診率（大阪＝45.6%，全国＝50.1%）や特定保健指導実施率（大阪＝13.1%，全国＝17.5%）ともに、全国に比べて低く、要介護認定率（大阪府＝22.4%，全国＝17.9%）は高い。全国に比べて、大阪府民の各種がん検診受診率は（大阪＝33.7～39.0%，全国＝40.9～46.2%）低く、府民のがんの年齢調整死亡率（大阪＝84.4%，全国＝78.0%）は高い。また、脳血管疾患、心疾患、がんなど生活習慣と関わり深い疾患が府民の死因や介護要因として挙げられ、府民の健康課題の解決に向けて、看護に期待される役割は大きい。さらに、南海トラフ巨大地震を含む予測困難な地球規模の課題への対応として、災害発生時の対応もできる看護職を養成する。

2018（平成 30）年度第 7 次大阪府医療計画によると、大阪府内の就業看護職数は、人口 10 万対 1,098 と全国 1,229 と比べて下回っており、看護職養成数を減らすことは大阪の保健医療福祉を維持する観点からはリスクが高い。

日本看護協会看護職員実態調査（2009 年）によれば、大阪府内の就業看護職の専門学歴は、大学卒業者割合 5.3%、大学院修了者 0.3%で、東京都（大学卒業者割合 10.3%、大学院修了者 3.0%）に比べると低い。加えて、大阪府内の国公立看護系大学収容率は人口 100 万対比 28.4 と全国 50.6、関西圏 44.6 と比べて著しく低いことが特徴として挙げられる。大阪における保健医療福祉ケアの質を維持し、向上するためには、高等教育機関卒の確かな看護実践力を兼ね備えた、資質の高い看護職を養成することが必要である。

以上より、これまで、大阪の地域社会に向けて実践の中核となる看護職・看護人材を安定的に輩出してきた大阪市立大学医学部看護学科および大阪府立大学地域保健学域看護学類の伝統や教育基盤を継承する大阪公立大学看護学部には、大阪および全国の看護職・看護人材養成拠点となり、看護学と看護実践を先進的に発展させる指導力をもつ多様な看護職、看護人材を養成することが求められている。なお、「学生の確保の見通し等を記載した書類」のとおり、本学部においては、長期的かつ安定的に学生を確保することができる。

（４）最適な学習環境を提供する大都市知的拠点の必要性

大阪公立大学では、学士課程の完成年次である 2025 年度には阿倍野キャンパスに看護学部を集約する予定である。阿倍野キャンパスは、JR 線、近鉄南大阪線、地下鉄御堂筋線などの各交通網が集約しているいわば大阪の南部のターミナル駅の天王寺駅から徒歩 5 分程度という極めて利便性の良い都市型キャンパスである。

さらに阿倍野キャンパスは、実習施設となる医学部附属病院と隣接しているほか、大阪府立病院機構の各センターをはじめとする大阪府内の保健福祉医療施設など多様な臨地実習施設へも 30 分程度でアクセスでき、教育効率が良い立地条件にある。大阪府内在住の学生にとって通学しやすい環境を提供できることから、看護を志す優秀な学生を大阪府内に留め、大阪の看護の質向上に貢献できる看護職に育成し、大都市大阪が一層発展するために最適な学習環境を提供する知的拠点は必要である。

イ．人材養成の方針及びディプロマ・ポリシー

（１）人材養成の方針

看護学部では、人々の生命と個人の尊厳を尊重できる豊かな人間性、看護学の専門的知識・技術と科学的根拠に基づいた適確な看護実践力ならびに、保健医療福祉をめぐる社会の変化への柔軟な適応力を有し、看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みを併せもつ人材を養成する。具体的には、看護学部で養成する豊かな人間性としては、全人的に人を理解し、倫理観をもって行動できる力、看護実践力としては、ケアをつなぎ、適切な判断と課題解決能力をもって看護を実践する力、社会への変化の適応力として、総合的な視野をもって看護を探究しながら自己を研鑽し、地域と国際社会に貢献する力を養成する。

看護学部では、アドミッション・ポリシーにあった学生を選択し、ディプロマ・ポリシーに対応する授業科目をカリキュラム・ポリシーに基づいて提供し、人材を養成する方針である。

（２）ディプロマ・ポリシー

看護学部では、所定の期間在学して所定の単位を修得し、下記の要件（ディプロマ・ポリシー）を満たした学生に対し、学士（看護学）の学位を授与する。

１）全人的に人を理解する力

人間の生命の尊厳と価値観の多様性について深く理解し、幅広い教養とコミュニケーション力を身につけ、健康の本質を理解し看護の対象となる人を生活者として全人的に捉える能力を身につける。

２）倫理観をもって、行動する力

人々の権利を尊重し、看護職として倫理観をもって行動する能力を身につける。

３）適切な判断と課題解決力をもって、看護を実践する力

看護に必要な知識と技術を修得し、科学的根拠に基づく適切な判断と課題解決能力をあわせ、看護を実践できる能力を身につける。

４）ケアをつなぐ力

保健・医療・福祉・教育・地域など多様なフィールドにて、ケアの対象となる人々のニーズをふまえて、多職種とともにケアをつなぐ力を身につける。

５）看護を探究する力

看護学への関心を深め、必要な情報を自ら系統的に収集・分析する研究の基礎能力を修得し、社会で発展する看護を探究する力を身につける。

６）自己を研鑽する力

変化する社会の中で看護の役割と責務を展望し、社会の変化や医療技術の発展に対応でき、生涯にわたって自らのキャリアを発展させる能力を身につける。

７）地域と国際社会に貢献する力

地域と国際社会で活動し、貢献できる能力を身につける。

ウ．研究対象とする中心的な学問分野

研究対象とする中心的な学問分野は看護学である。周辺学問分野として、医学、心理学、社会学、倫理学（生命倫理）、教育学、管理学、化学、経済学等多岐にわたる学問をもとに研究を遂行する。

エ. 教育研究上の数量的・具体的な到達目標等

本学部は、看護師の国家試験受験資格が得られる看護基礎教育を提供する単一の看護師学校養成所指定校であり、卒業する学生はすべて看護師国家試験受験資格を有することになる。これまでの大阪市立大学ならびに大阪府立大学の看護学分野においては、看護師国家試験合格率については、開設以来極めて高い合格率を保持してきている。これまでの教育内容の実績を継承し、大阪公立大学看護学部においても、看護学部の教育研究上の数量的・具体的な到達目標としては、卒業生の看護師国家試験合格率については、100%であることを教育研究上の具体的な到達目標として設定する。

2. 学部・学科等の特色

中央教育審議会答申の「我が国の高等教育の将来像」では、「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」として、大学が特色をもたせるべき7つの機能を提言している。

新大学では、設立団体である大阪府、大阪市との緊密な連携のもと、都市シンクタンク、技術インキュベーション機能を超え、従来の公立大学を超えて大都市大阪の発展に貢献することを理念としている。さらには、理系、文系、医療系の幅広い学問体系を擁する総合大学として、国際化やダイバシティに積極的に取り組み、これまで大阪市立大学と大阪府立大学で培ってきた教育、研究、社会貢献の機能をさらに充実させ、先端的・異分野融合型研究の推進による高度研究型大学をめざす（新大学基本構想、2020年1月）。

大阪公立大学全体の方針とこれまで二大学が培ってきた実績にもとづき、単一の看護師学校養成所指定校である看護学部においては、保健医療福祉ケアの質の維持と向上に資する医療系高度専門職業人である看護職を輩出する。さらには、看護職への現任教育などの社会貢献機能、公立総合大学の強みとして、他学問分野と連携して大阪や近圏の保健医療福祉ケアに関するデータ等を分析、解釈し、大阪のもつ健康指標の改善など社会実装できる国際的研究拠点としての時代の変化に即した新たな特色をもたせる。

ア. 広い教養と豊かな人間性に基づき、科学的根拠と課題解決能力をもつ看護職の養成

大阪公立大学看護学部においては、これまで大阪市立大学と大阪府立大学が社会に輩出してきた看護職養成の実績を確かに継承し、養成する看護職の質と数を維持することを保証する。

ケアの対象となる人々には、疾病や健康課題のある人々のほか、自らの基本的な生活や健康を守ることができない身体心理社会的に弱い立場の人々、自律心をもち自分らしく生きたいと願う人々など様々な人々が含まれる。看護学部ではこのような人々の生活と健康の質を守るための公共心と思いやりのある豊かな人間性ならびに人に対する深い洞察力を育む。また、本学部では、人々の心身の疾病や障害、加齢に伴う機能低下、妊娠、出産に伴う生理現象、児の発達、成長などの健康が生活に及ぼす影響を予測し、援助するための看護学の専門的知識、技術を身につけた上で、科学的根拠に基づいて、看護を実践できる人材を育

成する。

イ. Society5.0におけるグローバルな健康課題を解決する力をもつ看護職の養成

Society5.0における医療保健福祉ケアにおいて人とモノ、知識、情報がつながり、ケア技術やそれを取りまく仕組みは急速に革新される。看護職にとっても他分野と同様に文章や情報を正確に読み取る思考、吟味する力、価値を見いだす感性や好奇心など高等教育で培う基盤力が一層求められる。

本学部が部局間協定を結ぶ諸大学との国際交流を推進しながら、豊かな国際感覚、異文化への幅広い知識、高いコミュニケーション能力を養い、年々増加する在留外国人や外国人旅行者に安心・安全な看護を提供できる人材ならびに今後さらに高まるダイバシティに対応する人材を養成する。

IoTの進化による Society5.0 では、健康課題についても既に地域、言語、文化、社会的背景などの様々な違いが国を乗り越えて共通のものとなっており、これらの課題を解決する力をもつグローバルな変化に対応できる看護職を養成する。

ウ. 学生の多様なキャリア支援・志向性に対応できる看護職の大型養成拠点

大阪公立大学看護学部は、これまで二大学が培ってきた人材養成の特色を活かし、学生の多様なキャリア支援に対応できる看護職の大型養成拠点となる。

看護学部では、豊かな人間性、適確な看護実践力ならびに、社会の変化への柔軟な適応力を有し、看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みを併せもつ人材を養成する。さらには、ディプロマ・ポリシーに示す能力のうち、看護の対象や他職種とともに価値を創造する共創的看護実践を志向する「ケアをつなぐ力」を強みとして育むために実践看護科学コース、ケアと科学を融合し、ケアを牽引する新たな看護を創造できる学術志向性の高い「看護を探究する力」を強みとして育むために先進ケア科学コースを設置する。また、学校保健の場で大阪の未来を担う子どもの心身の健康を守り、安全・安心の確保をめざし養護教諭一種免許状が取得できる履修科目を設置する。本学部では、学生が入学後の様々な教育機会を経て、自ら学修する方向性を選択できることを基本とし、学生の主体性と自律性ならびにキャリアビジョンを育むことを尊重する。

エ. 共創的看護とトランジショナルケアの追究

疾病構造の変化、非感染性疾患の増加、人々の生活背景の複雑化および、病院完結型医療から地域完結型医療への医療提供体制が拡大への移行が進んでいる。本学部では病院から家庭や施設など様々な暮らしの場への移行することを見通して、対象、他職種と価値を創出しながら多様なケアをコーディネートする、共創的看護を重視する。

さらには、急性期から慢性期への病期の移行、小児期、成人期、高齢期などの各ライフステージへの移行に応じた治療やケアに転換することが必要であり、対象となる患者、人々の変化を予測し、変化に応じたトランジショナルケアを追究する。

オ. 先進ケア科学を志向する看護の追究

医療におけるケアとは、身体的な世話により、対象者との相互作用が促進されたり、対象者の心身が安楽になったりすることから、「療養上の世話」もしくは「生活の支援」としてのケアに看護の独自性を見出そうとしてきた歴史も長く、看護職にとって重要なキーワードである（日本看護協会.看護に関わる主要な用語の解説）。また、ケアが病因を除去するための治療行為やそれを基礎づける生物医学的な考え方を意味するのに対し、ケアは他者への関心と配慮という意味を持ち、社会文化的な視点を含めた全体論的な考え方に基づいた医療を表す言葉として用いられてきている（日本看護協会出版会.看護学事典）。

しかし、ケアという言葉は、極めて広い意味をもつ概念であり、狭くは「看護」や「介護」、中間的なものとして「世話」、もっとも広くは「配慮」「心づかい」「注意（関心）」を含むものである（大辞泉、広井良典.ケアを問い直す）。先進ケア科学が意味するところの「ケア」とは、幅広い概念であり、看護のみではなく多彩な分野から提供される援助や気配り、配慮を含む。

ケアの世界では、ある事象の個別性を理解することが重視されてきた一方、科学（サイエンス）の世界では多くの事象に一般化できる法則性が重視されてきており、ケアと科学は従来、対立軸にある考え方である。しかし、今や医療保健福祉ケア領域には、様々な情報分析や科学技術が進出してきており、ケアと科学の融合が求められ、ケアに関する課題を多彩な学問分野やコミュニティの人々、行政と共に連携協働して解決するケアシステムが必要とされている（日本学術会議. 2020 年提言ケアサイエンス基盤形成と未来社会の創造）。そこで、ケアと科学を先進的に融合し、看護学の視点から技術革新と飛躍知を発見し、社会実装をめざし、人々の健康と生活に関する生体行動の反応を適確に分析すること、効果的かつ持続可能なケアシステムを構築することを基軸におきながら、先進ケア科学を追究する。

ケアの効果は、医学面、個人と社会全体の健康と生活の質の面から包括的に評価することが必要であり、生体反応データやパブリックデータ、対象者由来のナラティブデータなどのあらゆる種類の大容量の情報について、看護学の視点から解釈しながら、ケア領域に進出している科学技術を適切に活用し、ケアの課題を解決できる実践能力を有する強みをもつ看護職を養成する。これらの基礎能力を育むため、ケアと科学との関連を新たな視点から理解した上で、研究遂行をとおして企画力、データ収集力、解析力、論理推敲力などを育成し、看護実践の標準化や革新を行う知的脚力を培い、看護がケア領域を推進できることを目指す。

カ. 若手の看護アカデミア育成の推進

看護系大学は、この 25 年間のうち平成 31（2019）年度には、272 大学 285 課程と急速に増加しているが、将来の看護学領域を支える若手アカデミアが十分に育っているか、注視する必要がある。日本看護科学学会の調査（Oyama Y, et al. Japan Journal of Nursing Science 2014）では、若手教員の過去 3 年間の論文執筆数は和論文 1.63 本、英論文 0.41 本と研究生産力が

非常に乏しく、若手アカデミアの論文読解力や研究手法の修得力が十分でないことが示されている。看護界にて若手アカデミアの質的・量的不足は深刻な問題であり、学士教育課程の段階から学術志向性の高い看護人材養成の仕組みづくりに挑戦する必要がある。

知識基盤社会（knowledge-based society）では、科学に裏付くデータや先進技術をケアに反映するために、確実な研究企画遂行力と既存の枠組みにとらわれない発想力が必要である。我が国のケアが絶え間なく発展するために思考が柔軟で、ライフスタイルの制限を受けにくい若いうちから、自由な発想のもと新たな課題に挑戦できる教育機会を提供する。

本学部では、学士課程のうちにケア科学の学術性を培うことを目的に、成績優秀者、大学院進学 of 明確な意志のある者に適切な大学院入学選抜を行うことで博士前期課程の科目の早期履修と博士前期課程の早期修了制度を活用して、5年間で修了することも可能な教育課程とする。2019年度に大阪市立大学医学部看護学科在学生 191 名に対して実施した調査では、現時点で大学院進学を考えている者が 67 名（35%）、その半数の 35 名が卒業と同時の進学を考えている。学士・修士の学位を 5 年間で取得可能な教育プログラム（早期履修・早期修了制度）について 110 名（57.6%）の学生が「就職に影響が少ない」「より深く専門的な知識を効率よく修得できる」と関心をもっており、本教育課程は学生のニーズに満たす可能性が高い。

以上より、本学部すべての学生において、大学院への知的好奇心を刺激し大学院教育への導入を円滑に進めるために博士前期課程科目の先行履修を勧める。

キ. 大都市大阪の看護実践と密着に連携した看護生涯教育の中核拠点

これまで大阪市立大学や大阪府立大学において、高度な実践知を基盤として、大阪府内の保健医療福祉実践機関と協働し、大都市大阪の看護を支える人材養成、現任教育や教育プログラム開発に取り組み、看護職の生涯教育の中核拠点としての機能を果たしてきた。

大阪市立大学では、医学部附属病院看護師への研修活動、大阪市における母子保健に関する包括的ケアシステムの構築、大阪府訪問看護ステーション協会における新卒訪問看護師養成、府内の精神障害者向け心理教育プログラム作成など、看護人材養成に関する実践知の向上に努めてきた。大阪市立大学では、臨床知と教育の融合をめざし、医学部附属病院看護部と連携し、病院看護師を臨床特任講師として看護学科に短期間派遣する教育研修を行う取り組みを行っている。

大阪府立大学では、大阪府等や経済学研究科と協働連携して訪問看護ステーションの経営安定化に関する実態調査や訪問看護師に対する現任教育などを主な内容とする在宅医療を推進する実践的取り組み実績があることに特色がある。また、大阪府健康福祉部医療対策課看護グループ、大阪府看護協会等と連携し、大阪府内中小規模病院の看護の質向上のための支援策を継続的に取り組んでいる。さらに大阪府立病院機構等の研修講師、大阪府内実習施設との共同研究、医療施設での看護研究支援など医療施設と連携を行いつつ現任教育を担ってきた。また療養学習支援センター活動として、看護職のための研修会なども開催している。

これらの過去の社会貢献に培ってきた大阪の保健医療福祉実践機関との強固な連携基盤を大学の教育資源とする一方、看護職の専門性の追求や自己実現を支援し、科目等履修生や研究生、臨床特任講師、研究員等、現任看護職が大学で学ぶ制度を引き続き積極的に活用することにより、看護学の生涯教育の中核拠点としての役割を担う。

ク. Society 5.0 の実装に向けた保健医療福祉ケアデータ科学の国際的学術拠点

Society5.0 においては、健康・医療・介護分野は産業化が期待できる最重点分野の一つであり、人工知能をはじめとする様々な先進技術をケアや看護実践に実装できる学術基盤を看護学分野から整えていくことが重要である。

これまで両大学において、各教員が、大阪府や近隣自治体と協定を締結した上で、健康診査、介護給付、医療給付などの大容量データを解析し、関連領域の知見の精錬化を手がけてきている。

大阪府、府内市町村、大阪府看護協会、社会福祉協議会、大阪府訪問看護ステーション協会、本学医学部附属病院などと密着に連携し、府民・市民や患者の健康、生活、医療の状況や大阪府内で働く看護職が求めるニーズなど、ケアシステムを構築する基礎資料を得るために大型サーベイランス等を実施し、研究知見を国際発信している実績がある。その他には、医療保健福祉施設と密接に連携し、福祉工学的分析による施設入居高齢者や人工知能の機械学習解析を用いた看護職の生体行動分析など先進技術性の高い研究活動を展開している。

これらの、過去に培ってきた研究基盤を活用し、大阪公立大学では、学内外の他分野との学際研究を一層拡大的に進めながら、保健医療福祉ケアデータ科学の学術拠点を確立させ、学部教育の学術基盤を明確にする。また、これまでの実績から大阪府内の実践機関と密接に研究連携できること、明らかにした知見を大阪の保健医療福祉ケアの実践や施策に直接的に反映しやすいことがその強みとして挙げることができ、これからも大阪の看護系公立大学としての役割や社会的使命を担うことを保証する。さらには、これまで培ってきた国際共同研究活動の実績を拡大させ、高度研究型大学としての看護学の国際的学術拠点をめざす。

ケ. 大阪府民のヘルス・リテラシーの向上への貢献

大阪府民のライフスタイルをより健康的なものとし、健康水準が向上することをめざし、日常生活における健康管理やヘルスプロモーション、疾病予防、介護予防などに関する大阪府民への啓発活動を公開講座開催や健康教室、療養相談などをとおして実施する。

大阪市立大学で実施されていた市民公開講座などの活動や大阪府立大学で実施されていた療養学習支援センターにおける府民への相談事業、健康教室などの活動を継承し、地域社会で行われている保健医療福祉の連携を図りながら、諸活動を支援する。

3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

ア. 学部・学科等の名称及び当該名称とする理由

本学部では、看護実践力、教育力、研究力を統合し水準の高い看護実践分野と高度な研究分野を併せもち、看護実践や看護学の発展に寄与できる人材を養成することから、学部名称は、「看護学部」とし、学部を構成する学科名称は「看護学科」の一学科にて構成する。看護学部看護学科は、学士課程にて卒業時にすべての学生が看護師の国家試験受験資格が得られる看護基礎教育を提供する単一の看護師学校養成所指定校である。

本学部では、大学として高度な実践看護科学と先進ケア科学を構築し、新たな看護学における学術領域の拡充をめざし、学生の志向性に応じて、共創的看護実践と先進ケア科学を志向する強みを養成することをねらい、履修モデルとして実践看護科学コースと先進ケア科学コースを設置して教育を展開する。

入学定員は160名とし、各コースの収容人数の目安は、実践看護科学コース110名、先進ケア科学コース50名とする。この人数配分については、これまでの両大学の人材養成数の実績を継承し、先進ケア科学コースについては、約50名とする一方、実践看護科学コースでは約110名とし、安定性の高い教育運営を図る。なお、コースの履修者数や内容については、開学後、社会が求める人材像や学生の学修ニーズを定期的に見直し、柔軟に変更する。

学部の名称：看護学部

学科の名称：看護学科

イ. 学位の名称及び当該名称とする理由

看護学部看護学科では、豊かな人間性と科学的根拠をもち、看護を実践できる看護職を養成することから、学位の名称を学士（看護学）とする。

学位の名称：学士（看護学）

ウ. 学部・学科等及び学位の英訳名称

本学部、学科、学位の英訳名称については、国際的に通用しやすいよう、看護学部は School of Nursing、看護学科は Department of Nursing、学位名称である学士（看護学）は Bachelor of Science in Nursing（略称：BSN）とする。

学部の名称：看護学部（School of Nursing）

学科の名称：看護学科（Department of Nursing）

学位の名称：学士（看護学）(Bachelor of Science in Nursing)

4. 教育課程の編成の考え方及び特色

ア. 教育課程の編成方針

看護学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために基幹教育、専門教育に関する授業科目を体系的に提供し、講義、演習、実習科目を適切に組み合わせた教育課

程を編成する。教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）について、総合性に関する方針、順次性に関する方針、実施に関する方針の側面から以下のとおり、示す。

（１）総合性に関する方針

ディプロマ・ポリシーに基づき、全人的に人を理解する力は、基幹教育科目と健康基礎科学科目、倫理観をもって、行動する力ならびに適切な判断と課題解決力をもって、看護を実践する力は、基盤看護学科目、実践看護科学科目、生体行動ケア科学科目、ケアシステム科学科目にて修得する。ケアをつなぐ力は、共創科目とケアシステム科学科目、看護を探究する力は、実践看護科学科目とケアデータ科学科目にて、修得する。自己を研鑽する力は、キャリア発展科目、実践看護科学科目、ケアデータ科学科目にて修得し、地域と国際社会に貢献する力は、キャリア発展科目、実践看護科学科目、ケアシステム科学科目にて修得する。

学生の興味、関心やキャリアデザインを尊重し、履修モデルとして実践看護科学コースと先進ケア科学コースを設置する。これらのコースの学習によって、看護の対象や他職種とともに価値を創造する共創的看護実践の志向性、またはケアと科学を融合し、ケアを牽引する新たな看護を創造する学術志向性などの強みを持つ。

（２）順次性に関する方針

- ① １年次は、基幹教育科目を履修することにより、教養を身につけ、社会をみわたした上、学部で学ぶべきことについて見通しをたてられる。（共通）
- ② １～２年次では、基盤看護学科目を履修することにより、倫理観をもち、看護の本質や基盤となる考え方を理解する力を修得する。（共通）
- ③ １～３年次では、健康基礎科学科目を履修することにより、看護の対象となる人と健康の本質を理解する力を修得する。（共通）
- ④ ２～３年次では、共創科目、実践看護学科目を履修することにより、看護の対象や他職種とともに価値を創造する共創的看護実践の志向性をつけ、地域と国際社会に貢献できる看護に必要な知識と技術を修得する。（実践看護科学コース）
- ⑤ ２～３年次では、ケアデータ科学科目、生体行動ケア科学科目、ケアシステム科学科目を履修することにより、ケアと科学を融合しケアを牽引する新たな看護を創造する学術志向性をつけ、地域と国際社会においてケアを発展させる看護に必要な知識と技術を修得する。（先進ケア科学コース）
- ⑥ ３～４年次では、実践看護科学科目、生体行動ケア科学科目、ケアシステム科学科目の臨地実習科目を履修することにより、科学的根拠に基づく適切な判断と課題解決能力を修得する。（共通）
- ⑦ ３～４年次では、キャリア発展科目を履修することにより、生涯にわたって自らの看護を自己研鑽し、地域と国際社会に貢献する力を修得する。（共通）
- ⑧ ３～４年次では、ケアデータ科目の「研究セミナー」を履修することにより、看護専門分野に関心をもって、ケア科学を追求し、ケアと看護を発展させる探究力を修得する。（先

進ケア科学コース)

- ⑨ 4年次では、実践看護科学科目の「総合研究」ならびに「総合実習」を履修することにより、研究の基礎を学ぶとともに看護を探究する総合的な看護実践能力を修得する。(実践看護科学コース)

(3) 実施に関する方針

多様なキャリアパスを見通し、共創的看護を実践する看護職やケアと科学を融合し先進的な創造力をもつ看護職を養成するため、学生の主体性を尊重し、少人数で自律的に学修することを重視する。各専門科目については、講義、演習、実習の一連の関連性を重視し、特定の看護専門領域への志向性をつけることが実現できるよう、履修モデルを明示し、能動的学修を進める。個々の授業科目の内容および定期試験、レポートや平常点による評価方法の詳細についてはシラバスに提示する。なお、学生の多様なキャリアデザインを促進するために、大阪公立大学大学院看護学研究科博士前期課程科目を履修できるよう、時間割を配慮する。

イ. 教育課程の概要及び特色

(1) 科目構成の概要とディプロマ・ポリシーとの関係

資料1「看護学部における科目群とディプロマ・ポリシーとの関係」に示すとおり、いずれのコースを選択してもディプロマ・ポリシーを満たす科目構成する。

看護学部では、人々の生命と個人の尊厳を尊重できる豊かな人間性、看護学の専門的知識・技術と科学的根拠に基づいた適確な看護実践力ならびに、保健医療福祉をめぐる社会の変化への柔軟な適応力を有し、看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みを併せもつ人材を養成する。さらに、多様な強みを併せもつ人材を育成するために履修モデルを提示し、実践看護科学コースでは、ディプロマ・ポリシーの「ケアをつなぐ力」として看護の対象や他職種とともに価値を創造する共創的看護実践の志向性を有する強み、先進ケア科学コースでは、「看護を探究する力」としてケアと科学を融合し、ケアを牽引する新たな看護を創造する学術志向性を有する強みを育む。

本学部の科目構成は、基幹教育科目のほかに、看護学部の全学生が学ぶ共通科目として基盤看護学科目、健康基礎科学科目、キャリア発展科目を提供し、看護学の専門的知識・技術と科学的根拠に基づいて看護を実践する基盤力を養う。実践看護科学コースでは共創科目、実践看護科学科目、先進ケア科学コースではケアデータ科学科目、生体行動ケア科学科目、ケアシステム科学科目を提供するが、いずれのコースを選択した場合においてもその志向性を活かして、看護学の専門的知識・技術から科学的根拠に基づく適切な看護実践力と看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みを併せ持つ人材を養うことができる。

1年次に基幹教育科目にて教養を身につけ、社会をみわたした上で看護学部にて学ぶべきことの見通しをたてられる学士基盤力を様々な選択科目を履修し、修得する。

1年次から2年次にかけて、各看護専門領域の概論に相当する共通科目群として基盤看護

学科目を配置し、看護の本質や基盤となる考え方を理解できるようにする。

1 年次から 3 年次には、医学知識に関する必修科目や公衆衛生・保健医療福祉など社会医学に関する科目として健康基礎科学科目を配置し、学生が看護の対象となる人と健康の本質を理解できるようにする。

2 年次後半より、各コースを特徴づける科目を履修する。実践看護科学コースでは対象者や専門職との間で円滑なコミュニケーションをもとに、ともに価値を創り上げていく力を身につけ、先進ケア科学コースではケア科学に関する基本的知識及びケアと科学の関連を迫る基礎能力を身につける。

主に 2 年次後半から 4 年次前半にかけて、各看護専門領域の各論に相当する科目を配置する。実践看護科学コースでは全人的に人を捉え多職種と協働し、ライフステージ、健康の段階、心のケア、多様な場に応じた看護を実践する力を身につける。先進ケア科学コースにおいては、生体行動ケア科学科目では人の生体・生活行動のメカニズムと健康との関連を理解すること、ケアシステム科学科目ではケアシステムと人々の健康との関連を理解し、ケアをマネジメントすることによって看護を実践する力を修得する。

3 年次、4 年次においては、両コースの共通科目として、キャリア発展科目を配置し、看護を探究し、生涯にわたり自らの看護を自己研鑽する力を身につける。実践看護科学コースでは、組織における看護活動やリスクマネジメントを通して看護の質改善や災害発生時に備えた心構えや看護実践の方法などを身につける。

卒業研究論文に相当する科目の位置づけや時間数は両コースでは異なり、実践看護科学コースは 4 年次に履修する。先進ケア科学コースでは 3 年次より 2 年間にわたって関心のある看護専門領域を選択した上で研究セミナーを履修し、ケア科学を追求し、看護専門領域を志向する力や先進性を身につけ、博士前期課程への教育にスムーズに連結することを意図する。

（２）科目区分の設定とその趣旨

本学部では、教育課程の科目区分設定の構成割合として、基幹教育科目について約 25%（129 単位中 33 単位）、専門科目について約 75%（129 単位中 96 単位）の割合にて科目区分を設定する。

専門科目のうち、学科共通必修科目として健康基礎科学科目必修科目の 15 単位と基盤看護学科目必修科目の 15 単位を合わせた計 30 単位は 1～2 年次の早い学年段階にて、すべての学生が看護学の基盤を修得する必修科目として設定する。そのほかの 66 単位については、学生の興味・関心に応じた主体的な学修の選択を促進するため、多数の学科選択科目（共創科目、実践看護科学科目、ケアデータ科学科目、生体行動ケア科学科目、ケアシステム科学科目、キャリア発展科目）を主に 2～4 年次に配置し、看護学の専門的知識・技術と科学的根拠に基づいて看護を実践し、看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みをもつ人材を育成する科目区分構成とする。

（３）科目構成の概要とその趣旨

１）基幹教育科目等（主に１年次）

基幹教育科目区分においては、多様な世界に通用する教養、情報収集・分析力、行動力、想像力、自己表現力、論理力などの能力を身につけて社会の中で発揮し、地域に根ざし、グローバルに活躍し、社会に貢献できるための豊かな感性と倫理的態度を初年次段階教育として形成する。

初年次教育科目、情報リテラシー科目、健康・スポーツ科学科目、外国語科目、総合教養科目など幅広い分野から学生が自身の興味や関心を探究するために主体的に自由に科目を選択する。

２）基盤看護学科目（主に２年次）

基盤看護学科目においては、看護の理論、理念、概念、倫理、役割機能など看護の本質を学ぶ科目を必修科目として修得し、各看護学専門領域の知識と技術を学ぶための看護の基盤となる考え方を理解する。

基盤看護学科目においては、「看護学概論」、「早期体験実習」、「看護倫理論」により、看護への関心を高め、看護の対象や看護職や他職種の役割・機能を理解し、看護学を学習する動機付けとした上で、「生活行動ケア論」、「成人看護学基盤論」、「老年看護学基盤論」、「在宅看護学基盤論」、「地域看護学基盤論」、「ウィメンズヘルス看護学基盤論」、「小児看護学基盤論」、「精神看護学基盤論」、「クリニカルスキル演習」を履修する。

３）健康基礎科学科目（主に２年次）

健康基礎科学科目区分においては、看護学を学ぶにあたって基盤的な知識となる人体機能、疾病の病態、医学的経過、診断、治療など基礎医学や公衆衛生領域の社会医学に関する科目を必修科目として修得し、看護の対象である人や社会における健康の本質を理解する。実践看護科学コースにおいては社会医学系科目、先進ケア科学コースにおいては臨床医学系科目に比重をおいた履修モデルとする。

基礎医学に関する学修としては、「病理学」、「薬理学」、「生化学」、「微生物学」、「解剖生理学」など人体機能に関連する基礎科学に関する科目を履修した上で、「疾病・病態学」を中心とする病態や診断、治療に関する臨床医学分野に関する基礎的知識を修得する。なお、実践看護科学コースでは「栄養学総論」と「生命倫理学」、先進ケア科学コースでは「感染管理論」、「ゲノム医療ケア科学」、「基礎遺伝学」を履修する。

社会医学に関する学修としては、「公衆衛生学」、「臨床統計学」を必修科目とする。それに加えて、実践看護科学コースでは、「健康と疫学」、「医療と社会福祉学」、「セクシャルヘルス支援」を履修する。

４）共創科目（２年次～３年次）

共創科目区分においては、あらゆる世代の人々、あらゆる健康課題のある人々の発達、疾

患の経過の移行に伴う様々な場におけるケアを提供するため対象者や専門職と協働し、円滑にコミュニケーションをしながら共に価値を創り上げていく力を修得できる科目を配置する。

看護の対象者と看護職、他職種間とのコミュニケーションや他職種との連携づくりに必要な知識と技術を提供する科目として、「コミュニケーション論」、「コラボレーション論」、「トランジショナルケア論」、「トランジショナルケア演習」を履修する。

5) 実践看護科学科目 (2年次～4年次)

2年次では、健康状態を総合的にアセスメントするための「ヘルスアセスメントとシミュレーション」、看護過程の展開を学ぶための「看護過程と臨床判断」を配置する。看護実践の基盤技術として「日常生活援助技術」、さらに、病院において個別性のある看護実践を理解するため「基礎看護学実習」を配置する。

人間のライフサイクルに合わせて、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学をそれぞれ支援論、支援論演習、実習の科目を配置する。

小児看護学では、子どもの成長・発達を理解し、子どもを取り巻く社会、子どもの権利、健やかな育ちとその家族を支援する看護の基本を学ぶ。

母性看護学では妊娠・分娩・産褥・新生児期における生理的特徴を理解し、妊娠から育児期における女性と家族の心理・社会的特性とその支援を学ぶ。

成人看護学では成人期の特徴を理解し、セルフケア理論、ストレス・危機理論などを理解し、慢性疾患看護、周手術期看護など様々な健康状況にある人の支援について学ぶ。

老年看護学では高齢者を全人的に理解し、高齢者を支えるケアシステムについて学び、高齢者を尊重した支援の在り方について学ぶ。

さらに、家族の支援の視点も重要であることから、家族看護論も配置する。家族看護論では家族の概念、形態、機能について学び、健康課題を抱える家族への支援について学ぶ。

こころの健康への支援も重要であることから、精神看護学を配置し、支援論、支援論演習、実習を配置する。精神の健康・不健康をとらえる視点や対象を理解する視点、こころの健康の支援や精神疾患を持つ人への支援方法を学ぶ。

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように地域包括ケアシステムが導入されてきていることから、広い視野で地域を理解し、在宅で療養生活を送る人々を支援できるよう地域看護学、在宅看護学を配置し、支援論、支援論演習、実習を配置する。

4年次には、リーダーシップやメンバーシップを理解し、ヒューマンサービスを提供する多職種と協働し、看護をマネジメントし実践できるよう「総合実習」を配置する。この科目は関心のある看護専門領域での実習とし、これまでの学びを統合・発展させる。

さらに、4年次には関心のある看護専門領域における看護研究に取り組むための基礎的能力を養うため「総合研究」を配置する。

6) ケアデータ科学科目 (2 年次～4 年次)

ケアデータ科学科目においては、ケアと科学の関連を新たな視点で理解できる科目を配置する。本科目区分では、ケアの対象となる人々の個別性や多様性がなぜ生じるか、その構造を俯瞰できる新たなケアと科学の考え方を学ぶことを目的とし、ケア領域と異分野領域が融合する学際的な特色を持たせる。「ケアと行動科学」、「ケアと健康福祉工学」により、既存の学問とケアとの関係を理解した上で科学を社会実装する上で必要な知識を提供する「情報ケア科学」、「ヘルスケアサービス経営論」、「ケアと人工知能」、「異文化ケア科学」、「高齢者ケアと経済」、「ケアと意思決定」などを選択し、履修する。

データ科学をケアに汎用できる基礎力を身につけるため、研究に関するリテラシーを高め、特定の看護専門領域への志向性を深めることをねらった卒業研究論文を作成する。「ケア研究方法論」により、研究を遂行する上での考え方や手法を2年次に学ぶ。同時に2年次までには、各看護専門領域の導入となる科目を履修し、学生は専門領域に対する関心を深める。3年次から4年次にわたって、「研究セミナー1～4」を配当し、ここでは学生は関心のある領域を選択し、ゼミ制による研究に関する少人数教育を行う。「研究セミナー1～4」では、文献検討のみにとどまらず、実証的なデータを収集・分析し、卒業研究論文作成時に研究発表とディスカッションの場を学内で設定する。

7) 生体行動ケア科学科目 (2 年次～4 年次)

生体行動ケア科学科目では、人の生体行動や生活行動のメカニズムならびにそれらと健康との関連について、データを根拠に解明した上で、ケアや看護に関する展開方法、支援技術などを教授する。各看護専門領域については、講義、演習、実習と一連の段階を踏み、これらの段階を通して内容を連続して理解できるものとする。

看護の理念をふまえ、ケア実践における看護の基本的技術の分析評価に基づく支援について、「ケア・シンキングプロセス」、「フィジカルアセスメント」、「生活行動ケア基本演習」、「生活行動ケア基本実習」にて学ぶ。

老年期特有の生活行動と生活環境の分析評価に基づいた支援について「生活行動ケア応用演習」、「生活行動ケア応用実習」、「高齢者ウェルネス実習」にて修得する。

疾病による身体症状の急性期や回復期における人々の生体反応や行動の分析評価に基づく支援について、「臨床健康危機看護学演習」、「臨床健康危機看護学実習」にて学ぶ。

周産期を含む女性の各ライフステージにおける生体反応や健康課題の分析評価に基づく支援について「ウィメンズヘルスケア活動論」、「周産期ヘルスケア演習」、「ウィメンズヘルスケア実習」にて修得する。

精神疾患のある人々の生体反応や家族を含む精神行動や健康課題の分析評価に基づく支援について「精神行動看護学実践論」、「精神行動看護学演習」「精神行動看護学実習」にて学ぶ。

8) ケアシステム科学科目 (2 年次～4 年次)

ケアシステム科学科目では、人々の健康を守り促進するためのケアシステムの構築方法や提供するケアの質の解析と評価について、データを根拠に解明した上で、ケアや看護に関する展開方法、支援技術、システムの構築方法などを教授する。各看護専門領域については、講義、演習、実習と一連の段階を踏み、これらの段階を通して内容を連続して理解できるものとする。

地域で暮らす生活者・療養者の健康・生活の質の分析評価に基づく支援やコミュニティ・ケアシステムの構築について、「地域包括ケア論」、「地域包括ケアシステム演習」、「地域包括ケア実習」にて修得する。「訪問看護過程演習」と「訪問看護過程実習」ではケアシステムにおける訪問看護における支援の基本を学ぶ。

老年期の人々とその家族の生活機能を維持・促進するケアシステムの構築について「高齢者ケアシステム論」、「高齢者ケアシステム実習」にて修得する。

子どもの発達と発達段階で起こりやすい健康課題の分析評価に基づく支援や家族ケアシステムの構築について「子ども・発達ケアシステム論」、「子ども・家族看護過程演習」、「子ども・家族看護過程実習」にて学ぶ。

疾患とともに生活を送る人々の疾患管理・セルフケア行動の分析評価に基づく支援やケアシステムの構築について、「臨床療養ケア看護演習」、「臨床療養行動支援ケア実習」にて学ぶ。

国際化が進むケアシステムの中で必要とされる専門的な英語によるケアに関するコミュニケーションについて「グローバルケアコミュニケーション」にて修得する。

4年次においては、それまでの学びを統合し、ケア・看護の実践において、学生が各自興味をもった課題に基づいてケアシステムやケアチームの構築の方法について「ケアシステム科学実習」にて学ぶ。

9) キャリア発展科目 (2年次～4年次)

キャリア発展科目区分においては、学生が看護領域の拡大可能性を知り、生涯にわたり自らの看護を自己研鑽する力を身につけるために看護学に関する多彩な選択科目を配置する。

医療現場における看護と他職種とのチーム医療を実践するための「チーム医療」、看護の質の改善を実践するために必要な科目として「看護管理学」、「リスクマネジメント」、「看護教育学」、「看護情報学」、災害時に備えて災害看護を理解するための科目として「災害看護論」、健康障害の種類にあわせたより専門的な科目として「がん看護学」、「緩和ケア学」、「感染看護学」、多職種による在宅療養移行支援や訪問看護に必要な実践・調整を学ぶ科目として「実践訪問看護演習」、新生児の健康状態のアセスメントと診断に必要な知識を学び、国際基準に基づく新生児心肺蘇生法(Bコース)の受講認定証が取得可能な科目として「新生児クリティカルケア」、を配置する。グローバルに広がる多様な看護活動を学ぶために、「国際看護論」、「グローバル看護演習」を配置する。なお、「グローバル看護演習」では協定校にて、フィールド視察や海外学生との英語プレゼンテーションでの共同演習などで意見交換を行い、国際感覚を培う。

（３）必修・選択科目と履修順序の考え方

基幹教育科目においては、初年次教育科目、情報リテラシー科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目を必修科目とするが、学生の興味や関心を尊重し、主体的に自由に科目を選択し、履修する。

基盤看護学科目と健康基礎科学科目のうち、大部分の科目については、学部全体に共通する必修科目とし、看護学の基本の知識と技術の修得にかかわる科目として位置づける。一部の科目は選択科目とし、実践看護科学コースと先進ケア科学コースの特徴に応じ、履修する。

コース選択の時期は、原則として２年次後期の開始時とし、実践看護科学コースの履修者数は約 110 名、先進ケア科学コースの履修者数は約 50 名を目安とする。１年次に十分なコース説明を行い、学生の意向をもとに、コース選抜を行う。必要に応じて、１年次全履修科目の成績を活用する。また、その際に１年次の必修科目である解剖生理学 1・2、看護学概論、看護倫理論、早期体験実習の成績を補助的に用いることも想定している。

実践看護科学コースを選択した学生は、共創科目と実践看護科学科目、先進ケア科学コースを選択した学生は、ケアデータ科学科目、生体行動ケア科学科目、ケアシステム科学科目を履修モデルにもとづいて、選択する。演習や実習など実技や対人援助を伴う科目については、教育に適正な学生数や施設規模、教育資源の多さを十分考慮した編成とする。また、演習や実習は、講義など知識教育との連携が重視されるため各科目間の順序性を明示した上で学生に履修計画を促す。

キャリア発展科目は、看護学に関する多彩な選択科目について、両コースの学生が自由に選択できる科目を配置する。選択科目は学生が興味を持ち、より理解を深めたい内容や今後のキャリア発展に沿った内容を選択できるように構成する。

（４）学修成果の評価

授業科目の学修成果の評価は、講義・演習では定期試験・レポート・実技、授業態度などにより行う。臨地実習の学修成果の評価は、実習記録、レポート、実習態度により行う。それぞれの授業科目の評価方法の詳細については、シラバスに記載する。評価を受けるには講義・演習科目では、出席日数が 3 分の 2 以上、臨地実習科目では出席日数が 5 分の 4 以上を必須条件とする。

（５）「学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標」と科目の関係

看護学部の授業科目については、看護学教育モデル・コア・カリキュラムと整合性を図った上で編成する。

具体的な編成内容としては、看護学教育モデル・コア・カリキュラムのうち、「A.看護系人材（看護職）として求められる基本的な資質・能力」については、基盤看護学科目を中心としたすべての専門科目をとおして修得するほか、共創科目では「A-4. コミュニケーション能力」や「A-5. 保健・医療・福祉における協働」について、ケアデータ科学科目では「A-

7.社会から求められる看護の役割の拡大」や「A-8. 科学的探究」について一層、力点を置いて修得する。「B. 社会と看護学」については、基幹教育科目や健康基礎科学科目、基盤看護学科目、「C. 看護の対象理解に必要な基本的知識」については、健康基礎科学科目や基盤看護学科目を中心として修得する。「D. 看護実践の基本となる専門基礎知識」については、基盤看護学科目にて講義科目として修得するほか、実践看護科学コースでは実践看護科学科目、先進ケア科学科目では生体行動ケア科学科目とケアシステム科学科目にて、修得する。「E. 多様な場における看護実践に必要な基本的知識」については、キャリア発展科目や基盤看護学科目（特に「地域看護学基盤論」や「在宅看護学基盤論」）にて修得するほか、実践看護科学コースの共創科目や先進ケア科学コースのケアシステム科学科目において、修得できる。「F. 臨地実習」におけるねらいや学修目標などのすべて内容については、基盤看護学科目の「早期体験実習」を看護学部全学生が修得した上で、実践看護科学コースでは実践看護科学科目の臨地実習科目、先進ケア科学コースでは生体行動ケア科学科目とケアシステム科学科目の臨地実習科目にて、網羅して修得する。「G. 看護学研究」については、実践看護科学コースでは実践看護科学科目の「看護研究方法論」と「総合研究1～2」、先進ケア科学コースではケアデータ科学科目の「ケア研究方法論」と「研究セミナー1～4」にて各コースの特徴を活かして、修得できる。

以上より、本学部においては、すべての学生が看護学教育モデル・コア・カリキュラムの内容を網羅して学修できるように科目を編成する。なお、コアとなる看護実践能力とその看護実践能力を養う主な専門科目の関係については、資料2「学士課程においてコアとなる看護実践能力とその看護実践能力を養う主な専門科目」に示すとおりである。

（6）大学院授業科目に関する早期履修制度

大学院での学びに知的好奇心をもてるよう、看護学部のすべての学生に対して、大学院博士前期課程の科目について、成績優秀な学生を選抜の上、履修する教育機会を与える。

さらに、本学の看護学研究科博士前期課程入学特別選抜を実施し、学士課程から博士前期課程修了までの期間を最短5年にできるよう、時間割を配慮し、研究と実践に高い志向性を有する若手看護職・看護人材を養成する。

5. 教員組織の編成の考え方及び特色

ア. 教員組織編成の考え方

本学部では、人材養成の方針および教育課程の考え方及び特色を視野に入れた上で、適切な教育を展開できる教員組織編成とする。同時に開設する看護学研究科大学院担当領域との教育内容の連結性ならびに教員の専門性を考慮し、実践看護科学領域と先進ケア科学領域に専任教員を配置する。各科目の特色に応じて、完成年次においては実践看護科学領域に44名、先進ケア科学領域に21名の総計65名（完成年度の2025年度時点の教員数）の専任教員を配置する。

本学部では多様な専門教育研究分野が横断的に融合し協働と発展を図りながら、効果的な教育内容を推進することを目的とした教員配置とする。すなわち、実践看護科学領域は、基礎看護科学分野、家族支援看護科学分野、生活支援看護科学分野、療養支援看護科学分野の4分野、先進ケア科学領域はケアシステム科学、生体行動ケア科学の2分野から構成され、両領域の各分野に教授、准教授ならびに講師、助教の専任教員を複数名、配置する。

看護学部では、看護学部長、副学部長を配置した執行体制にて教授会を運営する。教授は当該分野の教育研究上の責任を有するとともに、この教授会を構成し、看護学部の教育、研究、地域貢献、学内運営における管理的役割を担うこととする。

2022年開設年度より2024年度までの3年間は、中百舌鳥、阿倍野と羽曳野の複数校地にて、大阪公立大学のカリキュラムを提供する予定であること（1年次：なかもず、2年次：羽曳野、3～4年次：阿倍野）ならびに、学年進行に応じて、現大阪市立大学と現大阪府立大学のカリキュラムを併行して提供するため阿倍野と羽曳野の両校地に教員を配置する。また、2025年度以降は、森之宮と阿倍野の2校地で教育を実施する。可能な限り、同じ教員が同一日に2校地で講義をすることがないように時間割を組み、やむを得ない場合は移動時間を考慮した時間割を組む。特に、2022年から2024年までの移行期における、授業時間外の学生に対する教育指導については、授業支援システム等を活用することを徹底し、学生との意思疎通を十分に図る。

イ. 教員組織編成の特色

看護学部では、各領域における十分な教育研究上の業績を有している教員により、組織を編成しており、その業績の特徴により、主に、実践看護科学コースを担当する教員と先進ケア科学コースを担当する教員を配置する。専任教員の大多数は、現行の大阪市立大学または大阪府立大学において、既に看護学教育の実績を有している者であり、教員組織編成の特色としては、安定した研究教育の実施が保証されていることが挙げられる。一方、大阪公立大学看護学部として、新たな教育課程を編成する上で、各教員のこれまでの教育研究実績や看護実践経験の特徴を改めて検討し、時代の要請に応じた科目の新設や担当科目の配置を行った。なお、専任教員の博士の学位を有する者については、教授は26名中23名（延べ数）、准教授は20名中16名（延べ数）、講師は18名中4名（延べ数）の計43名（延べ数）である。

専任教員配置の基本的な考え方は、基盤看護学科目は実践看護科学コースと先進ケア科学コースの教授、健康基礎科学科目の一部の科目は先進ケア科学コースの専任教員が担当する。実践看護科学科目の支援論、演習や実習については実践看護科学コースの准教授、講師、助教が担当し、生体行動ケア科学科目やケアシステム科学科目については、先進ケア科学コースの教授、准教授または講師の原則2名体制で担当する。キャリア発展科目については、専門とする教育研究分野を考慮の上、主に実践看護科学コースの専任教員を配置した。

看護学部では、専任教員に加えて、兼任教員を13名、非常勤の兼任教員を40名、有期雇用の兼任教員を8名配置する。基礎医学や社会医学に関する健康基礎科学科目や学際性の高いケアデータ科学科目については、医学部を中心とした兼任教員または、非常勤の兼任教員を配置し、各学問領域の専門性の高い授業を提供する。生体行動ケア科学科目やケアシステム科学科目については、専任教員が担当するが、授業回によっては、実践経験が豊富な看護職、実習施設の看護職や専門看護師などを非常勤講師として配置し、最新の看護・ケア実践の情報や考え方を教授する。また、生体行動ケア科学科目やケアシステム科学科目のうち、演習や実習などの実技を伴う科目や臨地にて学習する科目については、有期雇用の兼任教員を配置し、きめ細やかな教育指導を行う。実習科目については、立地の異なる複数の施設を活用することから、実習サポートを配置し、適切かつ安全な実習指導を行う。

ウ. 専任教員の年齢構成

完成年度である2025年度における看護学部の専任教員の年齢構成は、表「完成年度における教員の年齢構成」に示すとおり、すべての教員が40歳代以上となり、中堅層の厚い年齢構成となるため、経験値が豊富で、質の高い教育研究水準を維持できる。その一方、完成年度においては60歳以上の専任教員の割合が約32%（21名）を占めるため、開学後、看護学部の教育研究水準の継続性と将来構想を視野に入れた上で、若手人材の確保ならびに実績の優れた者の昇任人事など戦略的な人材育成・確保計画を検討する。

表 完成年度における教員の年齢構成

学部 学科	職 名	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
看護学部 看護学科	教 授	0	0	2	7	16	25
	准教授	0	0	3	12	5	20
	講 師	0	0	12	6	0	18
	助 教	0	0	2	0	0	2
	計	0	0	19	25	21	65

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

ア. 教育方法等

1) 教育内容に応じた授業方法

専門知識の理解を目的とする授業は、講義形態とする。技術・態度の修得および論理的思考力や課題解決思考の修得などを目的とする授業は演習形態とする。科学的根拠に基づく適切な判断力と課題解決能力を実践で活用する能力を身につけることを目的とする授業は、実習形態で行う。

2) 学生数を考慮した適切な授業内容の工夫

講義形態の学生数は、50～160名で行う。特に最大約160名となる多人数講義科目では、少人数授業と同様、学生の学習状況や理解度に応じた適切な教育指導を徹底することが重要である。そのため、学習教材の配信、成績の管理、課題の提供、課題の提出管理、eラーニングサポート等の機能を搭載している学習管理システム（LMS: Learning Management System）等を用いて、学生の学修を支援し、効果効率の良い教育方法を展開する。さらには、各授業科目について、ルーブリック等の活用により教育内容の質を保証し、安定した教育水準を保持する。

演習形態の学生数は、50～55名で行う。授業では、グループワークを中心に行い4～10名程度のグループワークを行い、活発な意見交換ができるようにする。

実習形態の学生数は、1グループ3～7名程度の少人数として、効果的できめ細やかな指導を行う。

3) 課題解決能力や看護探究能力の養成

実践看護科学コースの「総合研究1」（1単位）と「総合研究2」（2単位）の合計3単位、先進ケア科学コースの「研究セミナー1」（1単位）、「研究セミナー2」（1単位）、「研究セミナー3」（1単位）、「研究セミナー4」（1単位）の合計4単位において、既習の研究方法を用いて専門領域における自らの課題に取り組むプロセスを学ぶ。このプロセスにおいて論理的思考や研究的視点を修得させ、課題解決能力や看護探究能力を養成する。

実践看護科学コースの「総合研究」は、最終学年次において、関心のある看護課題について文献検討、問いを明らかにし倫理的配慮も踏まえた研究計画の作成を行い（1単位）、次に研究データ収集、データの分析、論文の作成などを行う（2単位）科目構成とする。

先進ケア科学コースの「研究セミナー」は、3年次より履修を開始し、①リサーチ・リテラシーの修得（1単位）、②研究計画の作成（1単位）、③倫理審査申請ならびに研究遂行（1単位）、④研究成果に関する討議（1単位）など、段階的に到達目標を設定した科目構成とする。

イ. 履修指導方法

1) 履修ガイダンスの実施

履修方法については、入学時に履修ガイダンスを実施し、履修モデルを示し、履修登録方法、履修登録上限など履修上の留意点について必要な事項を説明する。養護教諭一種免許状取得のための履修モデルについても示す。

2) 学生アドバイザー制度の導入

各学年の学生 5～6 名程度を教員 2～3 名に割り当てる学生アドバイザー制度を設け、学生一人一人に対して学修上および生活上の相談・助言・支援等を行う。

学生の学修状況については毎年度前期・後期の成績について **Grade Point Average**（以下 **GPA**）を確認し、履修指導・助言を行う。**GPA2.0** 以下（あるいは取得単位が 10 単位以下）の期がある場合、学生アドバイザーが履修指導し、学生が次期履修計画案を作成させその内容について確認を行うなど学生の個別な状況にあわせた助言・支援を行う。また、2 年次の後期よりコースを選択することになるが、各学年において学生アドバイザーが学生の興味・関心を尊重したコース選択に関するアドバイスを丁寧に行い、学生よりコース変更の希望があった場合、それまでの履修状況を確認した上で、学生のニーズに応じた適切な履修指導を行う。

3) オフィスアワー

授業科目の内容等に関して学生が質問・相談できるように、教員が必ず学生対応できる時間帯をオフィスアワーとして設ける。専任教員はシラバスにオフィスアワーの曜日・時間を記載し、その時間帯であれば学生は基本的に予約なしで研究室を訪ねることができる。その時間帯以外であっても、あらかじめ教員に連絡し予約を取れば、質問・相談ができることとする。非常勤講師の場合は、原則、授業終了後の時間をオフィスアワーとする。

ウ. 卒業要件

卒業要件は 4 年以上在学し、基幹教育科目 33 単位以上、専門科目 96 単位以上の合計 129 単位以上とする。

基幹教育科目では多様な教養を身につけ、専門科目では指定規則の専門基礎分野として 22 単位、専門分野の講義演習科目は 51 単位、臨床実習科目は 23 単位として、単一の看護師養成指定校としての要件を満たす（資料 3「教育課程と指定規則との対比表」）。

エ. 履修モデル

実践看護科学コース、先進ケア科学コースの履修モデルとそれぞれのコースでの養護教諭一種免許状取得の履修モデルを別紙のとおり示す（資料 4「看護学部の履修モデル」）。

オ. 多様なメディアの活用

1) オンライン学習管理システム（LMS）の活用

学生は入学時にノートパソコンを準備することを必須とする。ノートパソコンを授業ならびの予習復習に活用する。授業内容・方法については Web 上のシラバスで確認し、LMS を活用できるようにする。授業に必要な連絡、出欠、授業資料の取得、レポート提出などはこの LMS を活用する。フォーラムや課題などの機能を利用し、学生と教員とのインタラク

ティブな教育を行うことができる。LMS では、資料や課題、小テストに学生がコンタクトしているかどうか、提出状況のログも管理できるため、学習状況に問題が生じた場合は早めに把握することもできる。さらに、課題やテストなどの評点は記録されるため、細やかな成績管理もできる。

2) シミュレーション学習の活用

看護技術修得関連の科目においては、シミュレーションを用いた演習を行う。特に実践看護科学コースの「ヘルスアセスメントとシミュレーション」や先進ケア科学コースの「フィジカルアセスメント」では、シミュレーションモデルを活用し、身体のアセスメント技術を修得させる。

3) Web 会議システムの活用

研修やファカルティディベロップメントにより、教員のオンライン・リテラシー等の向上を図り、「グローバル看護演習」などをはじめとする遠隔地域からの教育提供が有効である授業科目については、グローバル化に即した多様なコミュニケーション手法を身につけるために、必要に応じて Web 会議システム等を活用した教育展開を行い、学生のコミュニケーション能力を多彩に開発する。

カ. 履修科目の上限設定

履修科目の単位数に求められる学修時間、自宅学修時間を担保し、4年間を通じた学生の学修効果を高め、学生が無理なく学内及び自宅での学修に取り組むことができるように、年間の履修科目の登録上限（CAP 制）は、年間 50 単位未満、前期 25 単位以下、後期 25 単位以下とする。コースを選択した後も登録上限を超えない範囲で学生は自由に授業科目を選択できる。本学の CAP 制の方針として、自由科目、卒業要件以外の教職・資格系科目等は対象外とすることができるため、養護教諭関連の科目を取得したとしても CAP 制の範囲内にとどめられる。

キ. 他大学における授業科目の履修等

単位互換については、当該科目のシラバス、学生からのヒアリングにより、看護学部教授会にて審議の上、単位を認定することとする。

7. 施設、設備等の整備計画

ア. 校地、運動場の整備計画

大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照

イ. 校舎等施設の整備計画

教育研究に使用する施設、設備等

看護学部において教育研究を行う施設、設備については、「大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類」に記載のほか、大阪市立大学の阿倍野キャンパス、大阪府立大学の羽曳野キャンパスの施設・設備等を継承する次の施設、設備等により実施することから、学生、教員に対して十分な教育研究環境を提供するものである。

1) 講義室・演習室・研究室等

看護学部では、授業の形態に応じて講義室や演習室等の施設を使用し、専任教員には研究室を割り当て、学部教育と大学院教育を実施する。看護学部における施設概要は次のとおりである。

【施設概要】

- ・講義室 21 室
- ・演習室 9 室
- ・研究室 93 室（共同ラボ、講師室等を含む）
- ・実習室 21 室（実習室、実験室の他、関連諸室を含む）

2) 実験施設・設備等

看護学部における演習や実習等の授業科目は、21 室ある実習室において実施する。

看護学部における実習施設関連・設備等は次のとおりである。

【実習施設・設備等】

- ・実習室 21 室（保健師助産師看護師学校養成所指定規則にて定める専用の実習室ならびに在宅看護実習室）
（設備等）
- ・実習室等に設置する設備には、一般的な看護技術や医療技術を学ぶ設備（手洗い設備、リフト、車椅子、移動補助具、患者シュミレーター、フィジカルアセスメントモデル、標本、AED トレーニングユニット、リネン、汚物処理設備等）、病床環境を再現できる設備（医療用ベッド、床頭台、オーバーテーブル等）、妊婦や乳児に対する看護技術を学ぶ設備（沐浴設備、保育器、妊婦体験スーツ、新生児蘇生法学習キット等）、家庭での看護を学ぶための設備（和室、介護用ベッド、ベッドルーム、キッチン、トイレ、浴室等の在宅ユニット）、生理学的指標の測定機器（血圧計、脳波計、心電図測定機、発達測定具等）、微生物実験ができるバイオセーフティレベル(BSL)2 の実験設備（安全キャビネット、オートクレーブ、インキュベーター、細菌保管保冷库等）、面接演習のためのマジックミラー等を含む。

ウ. 図書等の資料及び図書館の整備計画

大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照

8. 入学者選抜の概要

ア. アドミッション・ポリシー

本学部の学位授与方針及び教育課程編成や実施方針を踏まえ、人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力をもち、人の立場を思いやり援助することを志向し、保健医療福祉の発展や持続可能な社会の実現に貢献しようとする志を持つ向学心旺盛で優れた資質を有する学生を受け入れるため、次のような学生を求める。

(1) 求める学生像

- ① 論理的・創造的な思考を表現できる基礎学力を有する人
- ② 目的意識をもって積極的に学ぶ姿勢を有する人
- ③ 人々の生活に深い関心を持ち、他者と喜び、苦しみ、痛みを分かち合い、生命の尊厳について理解しようとする熱意を有する人
- ④ 人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力をもち、主体性と協調性をもって他者と協働する姿勢を有する人
- ⑤ 看護の実践をととして保健医療福祉の向上に寄与する意志を有する人
- ⑥ 大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、指導的立場を担う研究教育者や高度看護実践者を目指す意欲を有する人

以上に基つき、次の能力や適性を身につけた学生を選抜する。

(2) 入学前能力

1) 意欲

価値観や思考過程の多様性をみとめながら、協調性をもって主体的に学ぶことができ、看護の実践をととして、社会に貢献する意欲をもっていること

2) 能力

多様な学問分野に支えられている看護に必要な知識や技術を体系的に修得でき、論理的・創造的な思考を表現できる幅広い基礎学力をもっていること

3) 志向

人間の喜び、苦しみ、痛みを分かち合え、生命の尊厳について理解しようとする姿勢をもっていること

(3) 入学後能力

入学前の能力をさらに伸ばし、教育目標に定められた資質を身につける意欲があること

（４）評価方法

入学者選抜においては、多様な人材を選抜するために一般選抜のほか、学校推薦型選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。各選抜においては、意欲、能力、志向を測定するために、学力試験、面接、出願書類等の評価を用いる。

イ. 入学者選抜の方法と体制

（１）入学者選抜方法

１）一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力を有していることを確認する。個別学力検査では、看護学部での学修に十分対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、面接では、意欲・能力・志向を確認し、総合的に評価する。

一般選抜（前期日程）では募集人員を 85 名とする。大学入学共通テストの科目については、国語、地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経から 1）、数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数 A から 1 と、数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1）、理科（物基、化基、生基から 2 または物、化、生から 1）、外国語（英、独、仏、中、韓から 1）とする。なお、個別学力検査等では、英語ならびに国語または数学の選択により、選抜を行う。

一般選抜（後期日程）では募集人員を 20 名とする。大学入学共通テストの科目については国語、地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経から 1）、数学（数Ⅰ・数 A と数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1）、理科（物、化、生から 1）、外国語（英、独、仏、中、韓から 1）とする。また、面接の評価を用いて、選抜を行う。

２）学校推薦型選抜

学校推薦型選抜では募集人員を 55 名とし、大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力を有していることを確認する。高等学校の学校長の推薦を得た者が出席できることとし、出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）では、意欲と看護学科での学修に十分対応できる思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、意欲・能力・志向を総合的に評価する。

大学入学共通テスト科目については、国語、地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経から 1）、数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数 A から 1 と、数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1）、理科（物基、化基、生基から 2 または物、化、生から 1）、外国語（英、独、仏、中、韓から 1）とする。

３）私費外国人留学生特別選抜

私費外国人留学特別選抜の募集人員は、若干名である。大学で学修するための基礎学力を有していることを日本留学試験（日本語、数学、理科）、最終出身学校の成績証明書により評価する。また、日本語での思考力、判断力、表現力を有していることを個別学力検査「国

語」で判断し、日本語の理解力と表現力、さらに学ぶ意欲を面接によって評価する。英文を読解し、英文で表現するための基礎的な能力を有していることを TOEFL の成績によって評価する。

ウ. 多様な学生の受入

多様な人材を選抜するために、一般選抜のほか、学校推薦型選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。

外国人留学生の受け入れについては、入学時の試験において大学で学修するための基礎学力を有していることを日本留学試験（日本語、数学、理科）により確認、また、日本語での思考力、判断力、表現力を有していることを個別学力検査「国語」で判断し、日本語の理解力と表現力を面接で確認することとする。外国人留学生を受け入れる際には、全学の規程に基づき、在留資格、日本語能力等の資格要件、経費支払い能力等の管理に関する内規を看護学部にて取り決めた上で運用を図る。

経費支弁能力の確認方法や在籍管理方法については、大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

また、看護学部では、科目等履修生、聴講生等などの正規の学生以外の者については、看護や看護学を広く周知するために看護学部の教育研究活動に支障をきたさない範囲で受け入れることができるものとする。

正規の学生以外の者の受け入れについては、履修できる科目の内容や科目数、受け入れ期間、単位認定の可否などを定めた受入内規について、看護学部で取り決めた上で適正な運用を図る。

9. 取得可能な資格

厚生労働省による看護職員需給分科会の 2019 年度中間とりまとめによると、地域医療構想に基づいた 2025 年の看護職員数の需要推計数は約 189 万人であり、およそ 8 万から 15 万人の看護職員の不足が見込まれている。特に、首都圏や関西圏を含む大都市地域では看護職員の需要が増えるため、新大学が所在する大阪府においては、他府県に比べて、看護職員数が不足することが予測されている。

大阪公立大学看護学部においては、すべての学生が卒業時、看護師国家試験受験資格を得られるものとする。また、他に取得可能な国家資格として養護教諭一種免許状があるが、教育職員免許法指定規則で定める必要科目の単位を選択科目として修得することによって取得できることとする。

表 看護学部において取得可能な資格等

取得可能な資格	国家資格か、民間資格の別	受験資格か、指定規則で定める科目の単位を修得すれば取得できる資格の別	卒業を受験資格取得の要件としているか
看護師免許	国家資格	受験資格	している
養護教諭一種免許状	国家資格	必要科目履修にて取得	していない

10. 実習の具体的計画

I. 看護師免許

ア. 実習の目的・目標（実習の狙い）

本学における実習は、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに従い、「既修得の知識・技術を活用し、あらゆる健康レベルにある対象の看護を実践する基礎的能力を養う」ことを目的とする。1年次から4年次に段階的に配置された実習科目を修得し、学びを積み重ねるプロセスを通して、実習目的を達成する。

看護を必要とする人の健康レベルやライフサイクルは様々であり、多角的な視点における全人的な対象理解、および看護に必要な知識・技術、判断力、課題解決能力を有していることが看護提供の前提となる。また、看護を提供する場は拡大しており、多様な援助場面において、個別性に応じた看護を展開できる能力が必要である。看護を行う際の倫理観を養い、専門職としての責務を自覚する必要がある。加えて、看護の役割を理解したうえで、多職種と協働してケアをつなぐ力が求められる。したがって、このような能力を培うために、次のような能力を養うことを実習目標とする。

- ① 看護の対象を個人・家族・集団から多角的にとらえ、生活者として全人的に理解する能力を養う。
- ② ライフサイクル各期の対象に応じた看護を提供するために、看護に必要な知識・技術を修得するとともに、科学的根拠に基づく適切な判断力および課題解決能力を養う。
- ③ 多様な援助場面において、対象の個別性に応じた計画的な看護を実践できる基礎的能力を養う。
- ④ 対象との人間関係を通して生命の尊厳を理解するとともに人々の権利を尊重し倫理観をもって行動する能力を養う。
- ⑤ 保健・医療・福祉・教育・地域など多様なフィールドにおける看護の機能と役割を理解し、多職種と協働してケアをつなぐ力を培う。

イ. 実習先の確保の状況

学部共通実習科目である早期体験実習の実習施設については、医学部附属病院、大阪府立病院機構の大阪急性期・総合医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪精神医療セン

ター、大阪国際がんセンターのほか地域の保健福祉施設等、7 施設を確保している。

実践看護科学コースにおける実習施設は、大阪府立病院機構の大阪急性期・総合医療センター、大阪はびきの医療センター、大阪精神医療センター、大阪国際がんセンター、大阪母子医療センターとそれ以外に地域病院 4 施設、介護老人保健施設 5 施設、特別養護老人ホーム 1 施設、訪問看護ステーション 17 施設、その他の社会福祉施設等 19 施設の合計 51 施設である（資料 5-1「実習施設一覧」）。

先進ケア科学コースにおける実習では、学部学舎の目前に位置する医学部附属病院を中心に、学生数や学生の移動の負担、実習施設の特性や実習内容を総合的に判断して選定し、以下の施設を確保した。実習先は、医学部附属病院、地域病院 1 施設、介護老人保健施設 2 施設、特別養護老人ホーム 2 施設、訪問看護ステーション 8 施設、地域包括支援センター 10 施設、その他の社会福祉・保育施設 13 施設の合計 37 施設である（資料 5-1「実習施設一覧」）。

これらの実習施設は、電車やバスなどの公共交通機関を利用し、阿倍野キャンパスよりほぼ 1 時間程度で移動することが可能である。

ウ. 実習先との契約内容

実習施設所定の契約書もしくは看護学部との間で合意した内容の文書を取り交わし、実習に関する協定や契約を結ぶ。実習施設と大学にて協定する内容としては、実習内容、実習期間、受け入れ人数、実習謝金、遵守義務（個人情報保護に関する事項を含む）、事故防止・事故の取り扱いなどが含まれる。

エ. 実習水準の確保の方策

（１） 実習単位、主な内容、実習施設、時期、学生の配置、週間計画等

1 年次には、2 コース共通で「早期体験実習」（1 単位）を行う。2 年次の実習からはそれぞれのコースに分かれて実習を行う。1 年次における実習では、看護の対象となる人と、その人をめぐる環境への理解を深め、医療・保健・介護・福祉施設の見学を通して看護の実践を体験的に学び、看護の果たす機能と役割を理解し、看護を学ぶ動機となる実習を配置する。

実践看護科学コースにおける実習科目のモデルは、「早期体験実習」（1 単位）、「基礎看護学実習」（2 単位）、「急性看護学実習」（3 単位）、「慢性看護学実習」（3 単位）、「老年看護学実習」（3 単位）、「精神看護学実習」（2 単位）、「在宅看護学実習」（2 単位）、「地域看護学実習」（1 単位）、「母性看護学実習」（2 単位）、「小児看護学実習」（2 単位）、「総合実習」（2 単位）の合計 23 単位で構成する（資料 6「実習科目と単位との関係」）。

実習の主な概要は、資料 7「実習の概要」の通りであり、年次が上がるたびに段階的に学びの積み重ねが可能となるよう構成する。学生が体系的かつ効果的に学び、実習目的・目標に記載した幅広い能力を獲得できるよう、実習はすべて必修科目とし、実習科目の履修要件を設けている。各実習の到達目標・内容等の詳細については、資料 8「各実習科目

の実習内容」に記している。実習時期や学生配置のモデルについては、資料9「臨地実習計画表」に記している。看護専門分野の講義・演習を終了後に実習を行うこととする。

先進ケア科学コースにおける実習科目のモデルは、「早期体験実習」(1単位)、「生活行動ケア基本実習」(2単位)、「高齢者ウェルネス実習」(1単位)、「臨床療養支援看護学実習」(3単位)、「臨床健康危機看護学実習」(3単位)、「精神行動看護学実習」(2単位)、「高齢者ケアシステム実習」(2単位)、「ウィメンズヘルスケア実習」(2単位)、「子ども・家族看護過程実習」(2単位)、「生活行動ケア応用実習」(1単位)、「訪問看護過程実習」(1単位)、「地域包括ケア実習」(1単位)、「ケアシステム科学実習」(2単位)の合計23単位で構成する(資料6「実習科目と単位との関係」)。

実習の主な概要は、資料7「実習の概要」の通りであり、年次が上がるたびに段階的に学びの積み重ねが可能となるよう構成する。学生が体系的かつ効果的に学び、実習目的・目標に記載した幅広い能力を獲得できるよう、実習はすべて必修科目とし、実習科目の履修要件を設けている。各実習の到達目標・内容等の詳細については、資料8「各実習科目の実習内容」に記している。実習時期や学生配置のモデルについては、資料9「臨地実習計画表」に記している。ケアとデータ科学の観点を予めもった上で、臨地実習にて看護実践を学べるよう、ケアデータ科学科目の開講時期は2年次後期から3年次前期の早い時期に設定する。また、エビデンスに基づいた、安全かつ確実なケア提供が可能となるよう、学内での学びとフィールドでの学びを統合させながら知識や技術を実践知として修得できるよう、演習科目を履修した直後、もしくは演習と並行した実習配置としていることが特徴である。

(2) 問題対応、きめ細かな指導を行うための実習委員会の設置等

実習科目間や大学と実習施設間の調整を行うとともに実習の質を担保するために、看護学部内に臨地実習委員会を設置する。臨地実習委員会は各領域の代表者で構成し、委員の中から委員長・副委員長を選出する。臨地実習委員会では、学生が、各実習科目の目的・目標を達成し、段階的に学びを積み重ね、最終的に実習全体の目的・目標が達成できるよう、学生を効果的に支援する方法について検討する。その他、実習に関するとりまとめや、実習計画の策定を行う。

その他、臨地実習委員会とは別に、臨地実習の円滑な運営と充実を図り、効果的な教育、指導を行うため、臨地実習検討会を設置する。検討会の構成は、臨地実習の指導に協力する全ての保健・医療・福祉機関等の臨地実習教授・准教授・講師及び看護学実習単位認定教員とする。検討会では、学生の臨地実習等に関することで、協力機関等と関係する事項について検討する。実習開始時期や終了時期などに検討会を開催し、実習環境の向上や効果的な連携のための調整や報告・連絡・相談を行う。

(3) 学生へのオリエンテーションの内容、方法

各実習の臨地実習開始前に、実習担当教員が臨地実習の目的や内容、記録物とその管理、実習態度、健康管理、安全管理、対象者への倫理的配慮、個人情報の保護、留意事項などに

ついて口頭と書面で学生に説明し、オリエンテーションを行う。オリエンテーションを通じて、学生に事前学習と実習への準備を促し、臨地現場で効果的に体験的な学習ができるよう、学生のレディネスを高める。

（４）学生の実習参加基準・要件等

実習では、実際の臨地現場で、看護の視点から系統的に看護の対象となる人をとらえ、看護過程を展開する。したがって、一定の知識・技術の修得に加え、コミュニケーション能力、判断力、問題解決能力、ケアコーディネーション能力などの基礎的な能力、実習に対する準備が必要である。そのため、学生が、各実習の実習目的・目標が達成できる状況にあることを確認するために、実習科目の履修要件について以下の通り、設ける。

- ① 生活行動ケア基本実習または基礎看護学実習を履修する者は、看護学概論、早期体験実習、生活行動ケア論、クリニカルスキル演習の単位を修得していること。
- ② ３年次以降の先進ケア科学コースの実習科目を履修する者は、生活行動ケア基本実習の科目を修得していること。
- ③ ３年次以降の実践看護科学コースの実習科目を履修する者は、基礎看護学実習を修得していること。
- ④ ３年次以降の先進ケア科学コースの実習科目を履修する者は、３年次までの未修得必修科目数が２単位以下であること。かつ、各実習科目に関連する専門科目の単位を修得していること。
- ⑤ ３年次後期からの実践看護科学コースの実習科目を履修する者は、それまでの未修得必修科目数が２単位以下であること。かつ、基盤看護学科目、共創科目、実践看護科学科目の単位を修得していること。
- ⑥ ケアシステム科学実習を履修する者は上記の①③⑤の履修要件に付加し、３年次後期から４年次前期に開講された実習の単位を修得見込みであること。
- ⑦ 総合実習を履修する者は、３年次後期から４年次前期に開講された実習の単位を修得見込みであること。

また、毎年行われる大学の定期健康診断を受けていること、および看護学部において指定した結核、Ｂ型肝炎、小児感染症、インフルエンザの予防対策を行っていること、ならびに実習において必要な保険に加入していることを受けることを実習参加要件とする。

オ. 実習先との連携体制

（１）実習前、実習中、実習後等における調整・連携の具体的方法

実習開始時期と実習終了時期に実習指導者と担当教員とで臨地実習検討会を開催する。実習開始時期には、実習の目的・目標、内容、期間、担当教員などについて説明し、大学の意向を伝え、実習先の意見を聞く機会を設ける。実習終了時期には、実習報告を行い、次年度以降の実習に向けて相互に意見交換を行う機会を設ける。詳細な実習前・実習中の打ち合わせ・調整や実習終了後の報告は、実習ごとに、実習指導者と担当教員とで適宜行う。

実践看護科学コースにおいては、大阪府立病院機構の各センターの看護部と看護学部との間で臨地実習連絡会を開催し、実習評価と次年度の実習に向けての意見交換を行う。学生のレディネスを実習指導者にご理解いただくために、実習施設の実習指導者向けに授業参観の機会を設ける。授業参加の機会に、教員と臨床指導者との間でよりよい臨地実習にするための意見交換を行う。

先進ケア科学コースにおいては、医学部附属病院看護部と看護学部間のユニフィケーションの一環として人材交流を行い、主に、実習時期に、医学部附属病院看護師 1～2 名を実習担当の講師として受け入れ、担当教員とともに教育を行うことにより、医学部附属病院とのより強固な連携と教育・実践の質向上を図る。受け入れ終了後には、医学部附属病院看護部と看護学部の連携報告会を開催し、活動報告を行うとともに更なる発展をめざし、意見交換する。

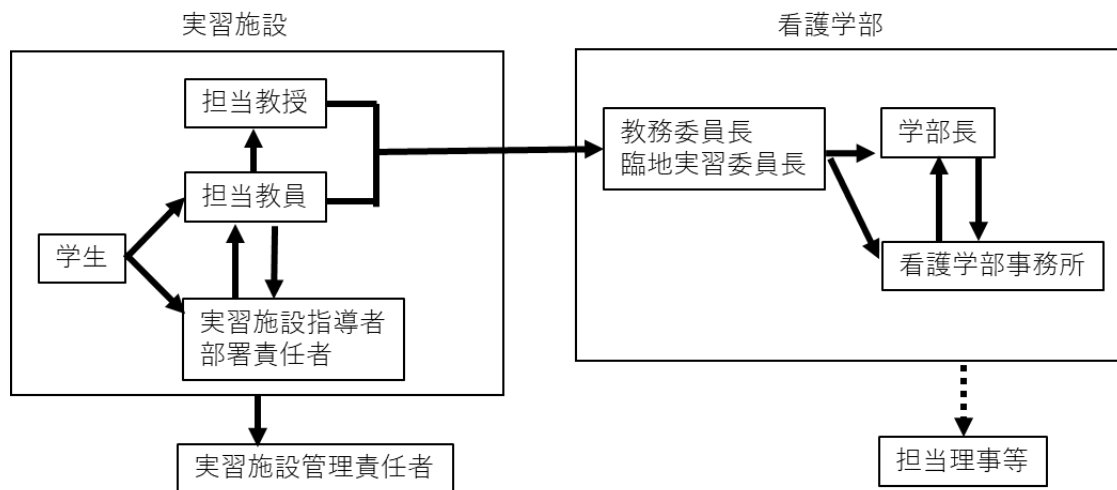
（２）実習施設が専門学校の実習も受け入れている場合、実習目標や実習内容等、大学教育としての実習の質の確保に関する具体的な配慮方策

実習施設が専門学校の実習も受け入れている場合は、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき育成したい人材や、専門学校と本学の実習目的・目標・内容の違いについて説明する。実習施設に本学の教育に対する理解を促し、学生が主体的に学び論理的に思考できるよう実習環境を整える。

（３）緊急時の連絡体制等

実習中に事故およびインシデントが発生した場合は、「実習中の事故およびインシデント・感染症発生時の学内報告システム」（以下の図）に基づき速やかに報告する。なお、資料 10「実習中の安全管理対策」には、実習中の事故およびインシデント・感染症発生時の対応を含む実習中の安全管理の詳細について記している。

図 実習中の事故およびインシデント・感染症発生時の学内報告システム



* —→ 報告、……▶ 状況に応じて報告

* 報告する相手に連絡が取れない場合は、必ず次の者に報告する。

* 対応については必要に応じて教務委員長、臨地実習委員長、学部長と相談して決める。

* 感染症発症時の場合についても上記システムに準ずる。

カ. 実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

（１）実習までの感染予防対策

実習までの感染予防対策として、原則、以下の①～⑦を実施する。その他、実習時の手洗いやマスク着用、清潔なユニフォームの着用など、感染症対策を徹底するよう、適宜、学生に注意を促す。なお、資料 11「実習における学生の健康管理と感染予防対策」には、具体的内容について説明している。なお、実習施設の学生受け入れ要件に応じて対策をとる。

- ① 定期健康診断を受診する。
- ② 定期健康診断にて、結核検査を受ける。
- ③ 定期健康診断にて、下記の事項について抗体検査を受ける。
 - ・ B型肝炎
 - ・ 小児期感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）
- ④ ③の抗体検査の結果に基づいて、各自の責任でワクチン接種を受ける。なお、B型肝炎ワクチンについては、接種終了までに約 6 ヶ月かかるため、接種日程について注意を促す。
- ⑤ 健康的理由でワクチンを接種できない場合は、各実習科目担当教員に相談する。
- ⑥ ワクチン接種をした場合は、接種済証明書を指定の期日までに事務室（感染対策担当）に提出する。また、各抗体検査の結果は必ずコピーを取り各自で保管し、すぐに結果が分かるようにさせる。
- ⑦ 実習期間が 11 月から 3 月の場合は、インフルエンザワクチンの接種済証の提出が原則必要である。

（２）個人情報保護管理

臨地実習においては、患者や療養者などの個人を特定できる情報や守秘性の極めて高い個人情報を取り扱うことになる。学生には医療やケアに携わる専門職としての守秘義務や個人情報保護に関する高い倫理観について実習をとおして、修得することが必要である。過失や故意による患者・療養者の個人情報や診療情報等が遺漏しないよう教育指導を徹底する。個人情報の取り扱いの具体的な指導方法については、資料 12「個人情報（診療情報含む）の取り扱い」に記載しているとおりである。

（３）損害賠償責任保険、障害保険等の対策等

実習中における事故や感染症などの予期せぬ事態に備え、賠償責任保険に加入することを実習の履修要件とする。

実習中の学生の傷害や感染症への補償や他者への賠償費用の保険対応が、賠償責任保険加入により可能となる。したがって、実習における保険に加入する場合、①実習中の本人の事故被害の補償（感染症含む）、②実習中の他者（実習施設含む）に対する事故被害（二次感染）の補償、③実習中の個人情報の漏洩に対する補償の全てを可能とする保険に学生を加入させる。

ただし、保険の種類、掛け金や加入期間により、保険の補償内容が異なるため、学生各自で保険の補償内容を確認した上で、学生が看護学部事務室に報告する。

キ．事前・事後における指導計画

（１）各段階における学生へのフィードバック、アドバイスの方法等

各実習科目を提供する前には、実習目的や実習方法について学生に提示し、事前学習を十分に促す。学生が主体的に学習目標や学習計画を立てることを重視し、教育指導を行う。また、実習中に学生が社会の一員として適切な行動や態度をとれるよう、配慮する。

実習中は、専任教員は実習指導者と連携して、実習目標や行動計画、実習記録を基本的に毎日確認する。適宜、カンファレンスを開催し、学生の学習状況を把握するとともに学生にフィードバック・アドバイスを行う。その他、必要に応じて個人面談を行うなど、個々の学生の状況に合わせた指導を行い、学生の主体的な学びを支援する。

実習最終日もしくは実習終了後に実習報告会（名称は各実習により異なる）を開催し、実習における学びや実習目標の達成状況、課題を確認・共有し、次の実習に向けて準備学習を行うよう指導する。必要に応じて、学生の実習状況を次の実習担当教員に引き継ぎ、学生が学習を積み重ねていけるよう、継続的に指導を行う。

（２）学生の実習中、実習後のレポート作成・提出等

実習中の記録は、基本的に毎日、実習担当教員と実習指導者が確認し、学生にフィードバックとアドバイスを行う。実習後は、実習中の学びのレポートを作成し、期日までに提出す

る。実習中・実習終了後の記録やレポート作成のプロセスを通じて、学生のリフレクションを促し、翌日もしくは次の実習の看護実践につながるよう指導する。

ク. 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

(1) 各班（グループ）のスケジュール表

学部共通実習科目である「早期体験実習」は、160 名を 1 グループ 4～7 人に分けて実習を行う。

実践看護科学コースにおける実習は、1 学年 110 人を 5 グループに分け、1 グループあたり 22 人で編成する。さらに 1 グループを 4 つに分け 5～6 人ずつで編成する。

先進ケア科学コースにおける実習は、学習効果を考慮し、1 学年 50 人を 7 グループに分け、1 グループあたり 7～8 人で編成する。

各グループのスケジュールは資料 9「臨地実習計画表」のとおりである。

(2) 担当教員の配置と指導計画

実践看護科学コースにおける実習は、基本的に、教員は実習期間中、毎日実習施設に出向き学生指導を担当する。実習科目によって 1 施設または 1～2 病棟を一人の教員が直接指導を行う。

先進ケア科学コースにおける実習は、基本的に、実習時間中は 1 施設につき一人以上の教員が実習施設に常駐する。教員一人以上で 1 グループ（1 グループにつき学生は 7～8 人で編成）を担当し、実習期間中は同じ教員が継続して同じグループを担当できるように配置する。

担当教員は、臨地実習教授・准教授・講師を含む実習指導者と連携・調整し、学生の実習環境を整え、学生の主体的な学びが深化・拡大するよう支援する。

(3) 実習指導における教員等の役割、連携体制等

実習においては、専任教員が教育内容を企画し、全体をとおして責任をもつが、きめ細やかな指導を行うために有期雇用の兼任教員や実習補助者を配置する。有期雇用の兼任教員は看護師免許を有し、看護師として実務経験を有することとし、助教クラスの兼任教員は学士以上の学位、講師クラスの兼任教員は修士以上の学位、またはこれに準ずる業績を有すること、担当領域における教育・研究に熱意があることとする。実習補助者は、看護師免許を有し、看護師として実務経験を有することとする。

実習指導における有期雇用の兼任教員と実習補助者の役割は、当該分野の専任教員の責任と指導のもと、専任教員と協働、もしくは独立してグループを担当し、学生指導を行う。ただし、兼任教員は担当した学生の成績を評価できるが、実習補助者は成績を評価することはできない。有期雇用の兼任教員ならびに実習補助者は、専任教員に報告・連絡・相談を行いながら常に連携して業務にあたる。

ケ. 実習施設における指導者の配置計画（各施設での指導者の配置状況と連携会議等の開催計画）

臨地教育の充実及び実習効果を高めるために、協力機関等と協議のうえ臨地実習指導者を配置する。実習施設に対して実習指導者講習会を受講した看護職を中心にした実習指導者を配置すること、実習指導者の不在時には他の看護職が実習指導を出来るように配置することを依頼する。さらに、各実習施設の臨地実習指導者には臨床経験ならびに臨地実習指導者の経験に応じて、臨床教授、臨床准教授、臨床講師の称号を付与し、教員との連携を通して効果的な実習環境を整える。

また、実習開始時期と実習終了時期に臨地実習検討会を開催する。詳細な実習前・実習中の打ち合わせ（調整）や実習終了後の報告は、実習ごとに、担当教員と実習指導者とで適宜行う。実習指導者は、担当教員との連携のもと、実習場面や記録の確認、カンファレンスへの出席などを通して、学生への直接的な指導やフィードバック・アドバイスをを行う。担当教員と実習指導者は、実習の目的・目標を踏まえて指導方針について適宜協議し、協働して臨地の現場に即した指導を行う。

そのほか、先進ケア科学コースでは附属病院看護師 1～2 名を実習担当の講師として受け入れ、受け入れ終了後には、附属病院看護部と看護学部の連携報告会を開催する。担当教員は、臨地実習教授・准教授・講師を含む実習指導者と連携・調整し、学生の実習環境を整え、学生の主体的な学びが深化・拡大するよう支援する。

コ. 成績評価体制及び単位認定方法

実習評価は、学生の実習目標の到達度、実習態度、実習参加、課題やレポート等を評価対象として、実習指導者や実習補助者の意見等を踏まえ総合的に単位認定教員が評価する。評価結果について、個々の学生にフィードバックする。

実習科目の単位認定要件は、実習科目ごとに定めた評価基準を満たしていること、各科目の実習日数の 5 分の 4 以上出席していることとする。実習の評価・単位認定方法は、各実習科目の実習目的・実習目標に基づき作成された実習評価・基準を使用して評価する。

II. 養護教諭一種免許状

ア. 実習の目的

本学は 1 学域、11 学部、15 研究科からなる総合大学として、大阪市、大阪府をはじめとする関西圏を中心とした、教育現場の発展に寄与する高度な専門性を有する教員の養成を目的とする。

教職課程の集大成にあたる教育実習では、教育現場である学校に実際に身を置くという経験を通して、教師の使命や具体的な職務内容、教師として必要な資質・能力を改めて認識するとともに、各学域・学部での専門的な学びや教職課程での学びを土台に、学習指導や生徒指導等の教育活動に取り組むことを通して、教師としての指導力・実践力を高め、教職への適性を確かめることを目指す。

イ. 実習先の確保の状況

教育実習の実習先として、大阪市教育委員会、大阪府教育委員会から実習受け入れの承諾を得ている小学校 292 校、中学校 132 校、高等学校 154 校を確保しており、実習先の確保としては十分な状況にある。

(資料 5-1「実習施設一覧」、資料 5-2「実習施設受入承諾書」)

ウ. 実習先との契約内容

大阪市教育委員会、大阪府教育委員会と実習時に順守すべき事項等について事前に協議し、決定する。

エ. 実習水準の確保の方策

教職課程の各授業科目の履修、教育実習の事前事後指導、学内で実施する教育実習関係の各種オリエンテーション等を適切に実施することや実習担当の教職員が実習先と密に連絡を取り合うこと等を通じて実習水準を確保する。

オ. 実習先との連携体制

実習開始前に、本学の教員及び教職担当の事務担当者を通じて、実習先担当教職員と十分な打ち合わせを行う。また、実習中に随時連絡を取り合える体制を構築する。

カ. 実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

学生の健康管理については、本学で全学生対象に年 1 回実施する定期健康診断を受診させ、学生の健康状況を全学的に把握する。また、学生教育研究災害傷害保険及び学生教育研究賠償責任保険等の保険加入を義務付ける。さらに、感染予防対策として、事前指導時において予防接種等の確認を行う。また、実習前のオリエンテーション等を通じて実習中に知りえた情報に関する守秘義務の厳守や SNS に実習中の事項を投稿等しないことについて指導する。

キ. 事前・事後における指導計画

教育実習においては、教育実習事前事後指導の授業内で事前指導、事後指導を行う。事前指導では、教育実践の責任の大きさや奥の深さを認識しつつ実習への総合的な準備をし、実習の一般的な心構えと教育現場の教育活動に必要とされる知識・態度について理解を深める。事後指導では、教育実習の反省や考察を少人数による討論によって行う。

ク. 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画

教育学を専門とする専任教員に加え、教職課程を設置するすべての各学域・学部、研究科の専任教員が巡回指導を行う。巡回の回数等は実習校と協議し決定する。

ケ. 実習施設における指導者の配置計画

大阪市教育委員会、大阪府教育委員会及び実習校と適切な指導者の配置について、協議する体制を整える。

コ. 成績評価体制及び単位認定方法

教育実習における成績評価・単位認定については、実習校からの実習に関する評価を基に、大学の専任教員が総合的な観点から評価し、単位認定を行う。

1 1. 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

該当なし

1 2. 昼夜開講制を実施する場合の具体的計画

該当なし

1 3. 編入学定員を設定する場合の具体的計画

該当なし

1 4. 2 以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

大阪公立大学では、2025 年度（令和 7 年度）に森之宮キャンパスを開設し、全学共通教育としての基幹教育を実施する。

看護学部看護学科においては、1 年次に基幹教育を実施し、収容定員は 160 名である。2022 年度～2024 年度入学生は、中百舌鳥キャンパスで実施し、2025 年度入学生以降は森之宮キャンパスで実施する。また、2～4 年次の専門教育については、2022 年度および 2023 年度の入学生は 2 年次は羽曳野キャンパス（収容定員 160 名）、3～4 年次は阿倍野キャンパス（収容定員 320 名）である。いずれの教育も十分な収容定員を確保する。なお、2025 年度には、阿倍野に新たな学舎が完成し、2～4 年次の専門教育は阿倍野キャンパスにて実施する予定であり、学生および教員も当該キャンパスに集約される予定である。

森之宮キャンパスにおいては、国際基幹教育機構所属の教員 83 人を配置し基幹教育を実施する。また、看護学部看護学科の専任教員も森之宮キャンパスで 1 年次配当の専門科目を実施する。2022 年度～2024 年度については、羽曳野キャンパスには 44 名（ただし、2022 年度は 45 名）、阿倍野キャンパスには 21 名の専任教員を配置し専門教育を実施する。

教員のキャンパス間の移動については、教育を実施するそれぞれのキャンパスでの担当

授業が同一日にならないよう時間割を調整する。また、森之宮キャンパスには、他キャンパスを拠点とする教員向けの執務スペースを設ける。

学生に対しては、森之宮キャンパス・羽曳野キャンパス・阿倍野キャンパスそれぞれに図書館、自習スペース等を整備し、学生の授業時間外学習を各キャンパスで適切に行えるようにする。さらに、保健管理施設、学生相談室、履修相談、健康管理、厚生補導の体制を各キャンパスで整備するほか、大学ポータルサイトを開設する。

時間割について、看護学部看護学科の1年次は、全ての授業科目を森之宮キャンパスで開講する。森之宮キャンパスにおける時間割は、CAP制に配慮し編成することで、学生が無理なく授業科目を履修できるようにする。また、2年次以降は、完成年度については全ての授業科目を阿倍野キャンパスで履修することから、学生は無理なく授業科目を履修することが可能である。なお、2022年度～2023年度に入学した学生については、前述のとおり2年次は羽曳野キャンパス、3～4年次は阿倍野キャンパスとなるが、各年次における教育はそれぞれのキャンパスで完結するようにしているため、完成年度と同様に学生が無理なく授業科目を履修できるようにする。

キャンパス移動後に単位未修得の授業科目を履修する者、他キャンパスの授業科目を自由科目として履修を希望する者に対しては、基本的には面接により授業を実施するため、学生が授業実施キャンパスに移動することを原則とするが、履修希望者の人数や履修登録状況に応じて、教員が学生の所属するキャンパスに移動して授業を行うことや、メディアを利用して授業を実施するなど、学生の履修に配慮するものとする。

参考：資料13「看護学部看護学科キャンパスの遷移」

15. 社会人を対象とした大学教育の一部を校舎以外の場所（サテライトキャンパス）で実施する場合の具体的計画

該当なし

16. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学では、平常時の面接による授業の実施を原則とするが、大学設置基準第25条第2項および本学の学則の規定に基づき、多様なメディアを高度に利用し、同時に双方向に行うことができる遠隔授業を実施できることとすることから、カリキュラムの改善等により、多様なメディアを利用した授業が必要となった場合は、文部科学省の告示の要件等に基づき、実施するものとする。

17. 通信教育を実施する場合の具体的計画

該当なし

18. 管理運営

大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照

19. 自己点検・評価

大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照

20. 情報の公表

大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照

21. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

看護学部では、教員の能力開発（ファカルティ・ディベロップメント）を行うための FD 委員会を設置する。FD 委員会においては毎年度の年間計画を立案し、研究会、講演会、教員同士での授業参観（ピア授業参観）、若手教員のための FD カフェなどの取り組みを行い、系統的、継続的に教員の教育・研究能力と大学教員としての姿勢や行動が学べる機会を提供する。さらにカリキュラム開発に関する知識や技法、研究倫理やハラスメント防止等について研修を企画し、教員の資質向上に努める。また、全学で実施する学生向け授業アンケートに協力し、授業担当教員はその結果に対し学生にコメントを返すと共に、次年度の授業の教育内容の改善にむけてシラバスの作成に反映させていく体制を整える。

この他、全学的な取り組みについては、大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

22. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

ア. 教育課程内の取組について

社会的・職業的自立を支援するために、1 年次では基幹教育科目として初年次基礎科目、情報リテラシー科目、外国語科目、総合教養科目などを配置し、情報収集・分析力、論理的思考力、創造力、自己表現力を培い、社会に貢献するための豊かな感性と倫理的態度を醸成する。

入学当初より職業的アイデンティティを高めるため、1 年次に「看護学概論」（必修・2 単位）を配置し、看護の概念と役割、及び専門職としての倫理観を養う教育を展開する。また

看護専門職を目指す者としての動機付けの強化を図るため、1年次より「早期体験実習」（必修・1単位）において看護職が活躍する多様な場を体験することを通して、看護の学修や人としての成長のための学修へのモチベーション向上を図る。また、2年次から4年次にかけて、「成人看護学基盤論」「老年看護学基盤論」「ウィメンズヘルス看護学基盤論」「在宅看護学基盤論」「地域看護学基盤論」「小児看護学基盤論」「精神看護学基盤論」の基盤看護学科目により看護の理論、理念、倫理、役割機能などを学修し、実践看護学科目、ケアデータ科学科目、生体行動ケア科学科目として各看護学の支援論や演習、臨地実習を配置し、看護専門職に必要な論理的思考力、課題対応能力、人間関係形成力、看護実践力、自己理解・自己管理能力を育成する。多様な臨地実習科目を配置することにより、自らの適正を主体的・意欲的に判断し将来のキャリア選択に向けた動機付けを支援する。さらに3年次から4年次において「看護管理学」「国際看護論」「看護教育学」等11科目に渡るキャリア発展科目を配置し、看護の多様性を学ぶことを通して、看護職としての将来像を描き自らのキャリア形成を考えられるよう支援する。

イ. 教育課程外の実践について

看護学部においては就職委員会を設置し、学生の就職支援及び看護師国家試験対策を実施する。就職委員会において毎年度の年間計画を立案し、キャリアビジョンが明確になりつつある時期の3年次・4年次に就職ガイダンス、保健・医療・福祉機関の就職説明会等を開催し、学生の就職活動を支援する。また、入学当初から看護師国家試験への意識を高めるよう指導し、学生主体での模擬試験の計画と実施を行い、結果の分析と学生へのフィードバック等を計画的に行う。

この他、全学的な取り組みについては、大阪公立大学・大阪公立大学大学院設置の趣旨等を記載した書類参照。

ウ. 適切な体制の整備について

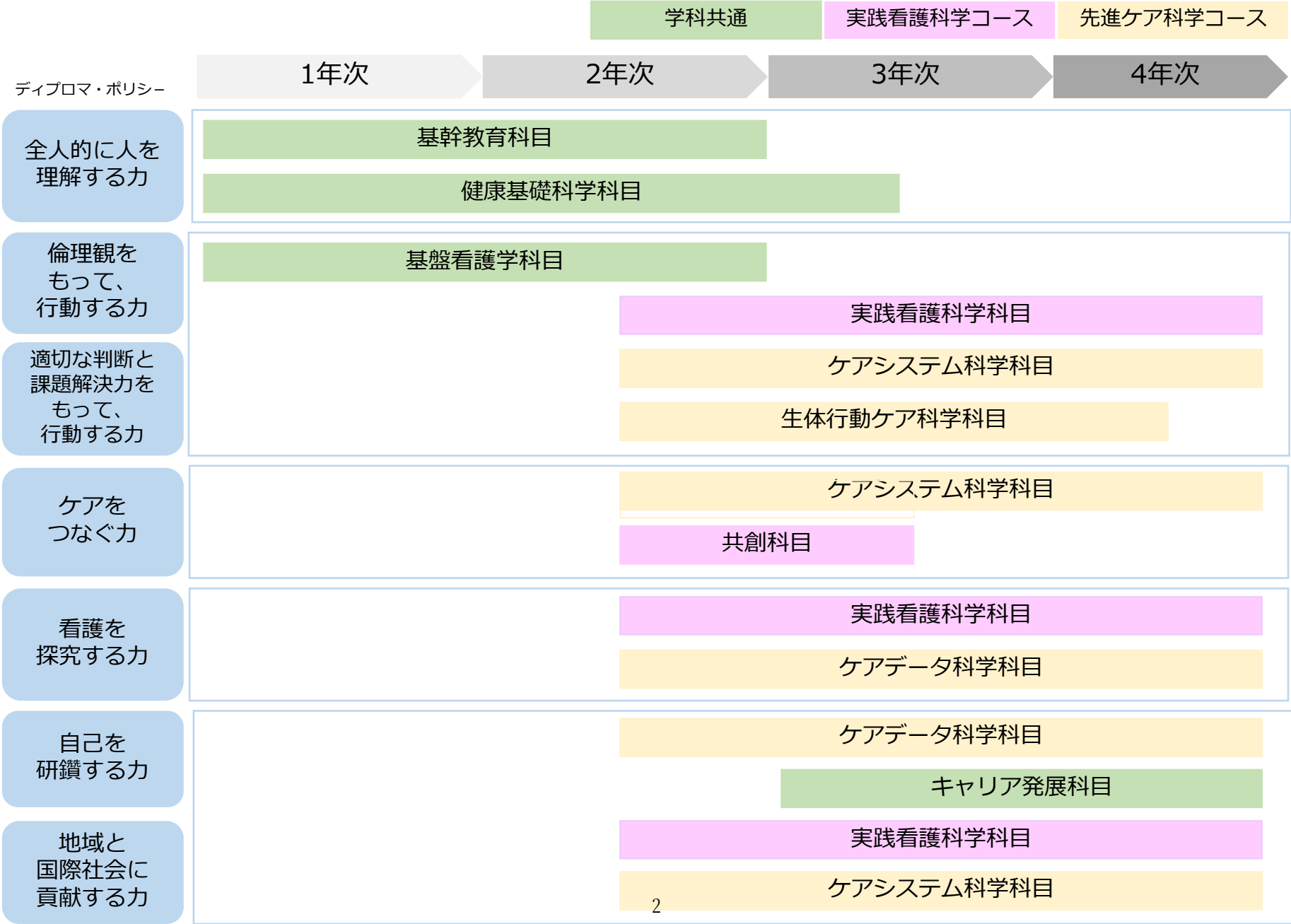
看護専門職への道を志した学生が自らの職業観を育て、自身の生涯設計を描くための基礎能力を身に付け、意欲的に学び続けていくことをサポートするため、アドバイザー教員、学内に設置されているキャリアサポート室、学部支援室の就職支援担当が三位一体となり、入学時から卒業後まで社会的・職業的自立を支援する体制を構築する。

看護学部

設置の趣旨等を記載した書類 添付資料

資料 1	看護学部における科目群と ディプロマ・ポリシーとの関係	P. 2
資料 2	学士課程においてコアとなる看護実践能力と その看護実践能力を養う主な専門科目との 対応表	P. 3
資料 3	教育課程と指定規則との対比表	P. 5
資料 4	看護学部の履修モデル	P. 7
資料 5-1	実習施設一覧	P. 11
資料 5-2	実習施設受入承諾書	P. 28
資料 6	実習科目と単位との関係	P. 142
資料 7	実習の概要	P. 143
資料 8	各実習科目の実習内容	P. 145
資料 9	臨地実習計画表	P. 155
資料 10	実習中の安全管理対策	P. 157
資料 11	実習における学生の健康管理と感染予防対策	P. 158
資料 12	個人情報（診療情報含む）の取り扱い	P. 160
資料 13	看護学部看護学科キャンパスの遷移	P. 162
資料 14	カリキュラム・マップ	P. 163

資料1 看護学部における科目群とディプロマ・ポリシーとの関係



資料2 1.学士課程においてコアとなる看護実践能力とその看護実践能力を養う主な専門科目との対応表

(実践看護科学)

5つの群と20の看護実践能力		主な専門科目
Ⅰ群 ヒューマンケアの基本に関する実践能力		
1 看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力	看護学概論 看護倫理論 精神看護学基盤論 小児看護学基盤論	早期体験実習 成人看護学基盤論 老年看護学基盤論 ウィメンズヘルス看護学基盤論
2 実施する看護について説明し同意を得る能力	生活行動ケア論 コミュニケーション論	基礎看護学実習
3 援助的関係を形成する能力	生活行動ケア論 基礎看護学実習	コミュニケーション論
Ⅱ群 根拠に基づき看護を計画的に実践する能力		
4 根拠に基づいた看護を提供する能力	看護過程と臨床判断 病態看護論	ヘルスアセスメントとシュミレーション 基礎看護学実習
5 計画的に看護を実践する能力	基礎看護学実習	看護過程と臨床判断
6 健康レベルを成長発達に応じて査定(Assessment)する能力	母性看護学支援論 老年看護学支援論演習 小児看護学実習	小児看護学支援論 母性看護学実習 老年看護学実習
7 個人と家族の生活を査定(Assessment)する能力	在宅看護学基盤論 家族看護論 母性看護学支援論 老年看護学実習 実践訪問看護演習	在宅看護学支援論 老年看護学支援論演習 在宅看護学実習 母性看護学実習
8 地域の特性と健康課題を査定(Assessment)する能力	地域看護学基盤論 地域看護学実習	地域看護学支援論
9 看護援助技術を適切に実施する能力	クリニカルスキル演習 ヘルスアセスメントとシュミレーション 慢性看護学支援論演習 精神看護学支援論演習 小児看護学支援論演習 急性看護学実習 老年看護学実習 母性看護学実習	日常生活援助技術 急性看護学支援論演習 老年看護学支援論演習 母性看護学支援論演習 基礎看護学実習 慢性看護学実習 精神看護学実習 小児看護学実習
Ⅲ群 特定の健康課題に対応する実践能力		
10 健康の保持増進と疾病を予防する能力	地域看護学基盤論 精神看護学基盤論 ウィメンズヘルス看護学基盤論	小児看護学基盤論 地域看護学支援論
11 急激な健康破綻と回復過程にある人々を援助する能力	急性看護学支援論 小児看護学支援論演習 母性看護学実習 新生児クリティカルケア	母性看護学支援論演習 急性看護学実習 小児看護学実習
12 慢性疾患及び慢性的な健康課題を有する人々を援助する能力	慢性看護学支援論 小児看護学支援論演習 精神看護学実習 緩和ケア学	精神看護学支援論 慢性看護学実習 小児看護学実習 がん看護学
13 終末期にある人々を援助する能力	小児看護学支援論演習 がん看護学	緩和ケア学
Ⅳ群 ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力		
14 保健医療福祉における看護活動と看護ケアの質を改善する能力	コラボレーション論 地域看護学実習 総合実習	在宅看護学支援論演習 在宅看護学実習
15 地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力	トランジショナルケア論 地域看護学支援論	トランジショナルケア演習 地域看護学実習
16 安全なケア環境を提供する能力	日常生活援助技術 クリニカルスキル演習	感染看護学 リスクマネジメント
17 保健医療福祉における協働と連携をする能力	コラボレーション論 トランジショナルケア演習 チーム医療A	トランジショナルケア論 総合実習 チーム医療B
18 社会の動向を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力	国際看護論 グローバル看護演習	災害看護論 看護情報学
Ⅴ群 専門職者として研鑽し続ける基本能力		
19 生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力	総合研究1 総合実習 看護情報学	総合研究2 看護教育学
20 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力	総合実習 看護教育学 感染看護学 リスクマネジメント 新生児クリティカルケア 看護情報学	看護管理学 がん看護学 緩和ケア学 実践訪問看護演習 災害看護論 グローバル看護演習

資料2 2.学士課程においてコアとなる看護実践能力とその看護実践能力を養う主な専門科目との対応表

(先進ケア科学)

5つの群と20の看護実践能力		主な専門科目
Ⅰ群 ヒューマンケアの基本に関する実践能力		
1 看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力	看護学概論 看護倫理論 精神看護学基盤論 小児看護学基盤論 異文化ケア科学	早期体験実習 成人看護学基盤論 老年看護学基盤論 ウィメンズヘルス看護学基盤論
2 実施する看護について説明し同意を得る能力	生活行動ケア論	ケアと意思決定
3 援助的関係を形成する能力	生活行動ケア論	生活行動ケア基本実習
Ⅱ群 根拠に基づき看護を計画的に実践する能力		
4 根拠に基づいた看護を提供する能力	ケアと行動科学 研究セミナー1,2,3,4	ケア研究方法論
5 計画的に看護を実践する能力	ケア・シンキングプロセス	生活行動ケア基本実習
6 健康レベルを成長発達に応じて査定(Assessment)する能力	ウィメンズヘルスケア活動論	高齢者ウェルネス実習
7 個人と家族の生活を査定(Assessment)する能力	在宅看護学基盤論 周産期ヘルスケア演習 実践訪問看護演習	ウィメンズヘルスケア活動論 訪問看護過程演習
8 地域の特性と健康課題を査定(Assessment)する能力	地域看護学基盤論	地域包括ケア論
9 看護援助技術を適切に実施する能力	クリニカルスキル演習 生活行動ケア基本演習 臨床健康危機看護学演習 ケアと健康福祉工学 子ども・家族看護過程演習	フィジカルアセスメント 生活行動ケア応用演習 周産期ヘルスケア演習 臨床療養支援看護学演習
Ⅲ群 特定の健康課題に対応する実践能力		
10 健康の保持増進と疾病を予防する能力	地域看護学基盤論 精神看護学基盤論 生活行動ケア応用演習 ウィメンズヘルスケア実習 子ども・家族看護過程実習	小児看護学基盤論 ウィメンズヘルス看護学基盤論 生活行動ケア応用実習 子ども・発達ケアシステム論 地域包括ケア論
11 急激な健康破綻と回復過程にある人々を援助する能力	臨床健康危機看護学実習 精神行動看護学実習 子ども・家族看護過程実習	精神行動看護学演習 子ども・発達ケアシステム論 新生児クリティカルケア
12 慢性疾患及び慢性的な健康課題を有する人々を援助する能力	臨床療養支援看護学演習 子ども・発達ケアシステム論 緩和ケア学	臨床療養支援看護学実習 子ども・家族看護過程実習 がん看護学
13 終末期にある人々を援助する能力	臨床療養支援看護学演習 緩和ケア学	地域包括ケア論 がん看護学
Ⅳ群 ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力		
14 保健医療福祉における看護活動と看護ケアの質を改善する能力	訪問看護過程実習 高齢者ケアシステム実習	高齢者ケアシステム論 ヘルスケアサービス経営論
15 地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力	地域包括ケアシステム演習	地域包括ケア実習
16 安全なケア環境を提供する能力	クリニカルスキル演習 感染看護学	感染管理論 リスクマネジメント
17 保健医療福祉における協働と連携をする能力	精神行動看護学実践論 チーム医療A	ヘルスケアサービス経営論 チーム医療B
18 社会の動向を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力	ケアと健康福祉工学 ケアと人工知能 高齢者ケアと経済 グローバル看護演習 災害看護論	情報ケア科学 グローバルケアコミュニケーション 国際看護論 看護情報学
Ⅴ群 専門職者として研鑽し続ける基本能力		
19 生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力	研究セミナー1,2,3,4 看護教育学	ケアシステム科学実習 看護情報学
20 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力	研究セミナー1,2,3,4 看護管理学 がん看護学 緩和ケア学 実践訪問看護演習 災害看護論 グローバル看護演習	ケアシステム科学実習 看護教育学 感染看護学 リスクマネジメント 新生児クリティカルケア 看護情報学

5

指定規則の教育内容 教育課程						別表3（看護師課程）																	計				
						基礎分野		専門基礎分野		専門分野																	
						科学的思考の基盤	人間と生活・社会の理解	人体の構造と機能	疾病の成り立ちと回復の促進	健康支援と社会保障制度	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践	臨床実習							看護の統合と実践	
																			基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学		小児看護学	母性看護学		精神看護学
区 分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	14	16	6	11	6	6	4	4	4	4	4	3	2	23				2			
			必修	選択																							
ケアデータ科学	小児看護学実習 ○	3後－4前	2	45	選択 ●先進ケア科学コース：13単位 （実践看護科学コースは自由選択）																	②					
	看護研究方法論 ○	3前	1	15														①									
	総合研究1 ○	4前	1	15														①									
	総合研究2 ○	4後	2	30														②									
	総合実習 ○	4前	2	45																						②	
	ケアと健康福祉工学 ●	2後	1	15					①									①									
	ケアと行動科学 ●	2後	1	15					①									①									
	ヘルスケアサービス経営論 ●	3前	1	15					①									①									
	情報ケア科学 ●	3前	1	15					①									①									
	ケアと人工知能 ●	2後	1	15					①									①									
	異文化ケア科学 ●	3前	1	15					①									①									
	高齢者ケアと経済 ●	2後	1	15									①					①									
	ケアと意思決定 ●	3前	1	15				①										①									
	ケア研究方法論 ●	2後	1	30													①										
	研究セミナー1 ●	3前	1	30													①										
	研究セミナー2 ●	3後	1	30													①										
	研究セミナー3 ●	4前	1	30													①										
	研究セミナー4 ●	4後	1	30													①										
	生体行動ケア科学	ケア・シンキングプロセス ●	2後	1	15	選択 ●先進ケア科学コース：24単位 （実践看護科学コースは自由選択）				①																	
		フィジカルアセスメント ●	2後	1	15					①																	
		生活行動ケア基本演習 ●	2後	2	30					②																	
		生活行動ケア基本実習 ●	2後	2	45													②									
		臨床健康危機看護学演習 ●	3前	2	15																						
		臨床健康危機看護学実習 ●	3前	3	45																						
		高齢者ウェルネス実習 ●	2後	1	15																③	③					
		生活行動ケア応用演習 ●	4前	1	15				①				①								①	①					
		生活行動ケア応用実習 ●	4前	1	45																①	①					
		ウィメンズヘルスケア活動論 ●	3前	1	15											①											
		周産期ヘルスケア演習 ●	3後	2	15											②											
		ウィメンズヘルスケア実習 ●	3後	2	45																			②			
		精神行動看護学実践論 ●	3前	1	15													①									
		精神行動看護学演習 ●	3後	2	15													②									
		精神行動看護学実習 ●	3後	2	45																				②		
	ケアシステム科学	地域包括ケア論 ●	3前	2	15	選択 ●先進ケア科学コース：23単位 （実践看護科学コースは自由選択）					②																
		訪問看護過程演習 ●	4前	1	15						①																
		訪問看護過程実習 ●	4前	1	45														①								
		地域包括ケアシステム演習 ●	4後	1	15						①																
		地域包括ケア実習 ●	4後	1	45														①								
		臨床療養支援看護学演習 ●	3前	2	15							②															
		臨床療養支援看護学実習 ●	3前	3	45																③	③					
		高齢者ケアシステム論 ●	3後	2	15									②													
		高齢者ケアシステム実習 ●	3後	2	45																②	②					
		子ども・発達ケアシステム論 ●	3前	1	15										①												
		子ども・家族看護過程演習 ●	3後	2	15										②												
		子ども・家族看護過程実習 ●	3後	2	45																		②				
グローバルケアコミュニケーション ●	3前	1	30				①																				
ケアシステム科学実習 ●	4前	2	45																				②				
キャリア発展科目	チーム医療A ●	2後	1	15	選択 ○実践看護科学コース：7単位（○が付された授業科目以外から2単位） ●先進ケア科学コース：3単位（●が付された授業科目以外から2単位）												①										
	チーム医療B	4後	1	15														①									
	看護管理学 ○	3前	1	15														①									
	国際看護論 ○	3前	1	15														①									
	看護教育学 ○	4前	1	15														①									
	災害看護論 ○	4後	1	15														①									
	グローバル看護演習	4前・後	2	30														②									
	看護情報学	4前	1	15														①									
	がん看護学	3前	1	15														①									
	感染看護学	3前	1	15														①									
	緩和ケア学 ○	4前	1	15																							
	リスクマネジメント	4後	1	15														①									
	実践訪問看護演習	4後	2	15														②									
	新生児クリティカルケア	4後	1	15														①									
	卒業要件単位数（最低単位数）						33	22		51							23							129			
指定規則に対する増単位数						19	0		8							0							27				

資料4 看護学部の履修モデル（看護学部：実践看護科学コース）

区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位 合計
	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	
基幹教育科目	初年次教育科目		2	外国語科目		2							3 3 単位以上 (必修23 単位+選 択10単 位)
	情報リテラシー科目		2	University English 3A	前	(1)							
	総合教養科目		8	University English 3B	後	(1)							
	数理・データサイエンス基礎	前・後	(2)										
	日本国憲法	前・後	(2)										
	その他												
	外国語科目		6										
	University English 1A	前	(1)										
	University English 1B	前	(1)										
	University English 2A	後	(1)										
	University English 2B	後	(1)										
	初修・新修外国語1	前	(1)										
	初修・新修外国語2	後	(1)										
健康・スポーツ科学科目	前・後	3											
基礎教育科目													
その他選択科目		10											
	19科目		31	2科目		2							33
専門科目	解剖生理学1	前	2	病理学	前	1	生命倫理学	前	2	総合研究1	前	1	必修科目9 4単位+選 択科目(キ ャリア発 展科目か ら2単位) 2単位以上
	看護学概論	前	2	基理学	前	1	医療と社会福祉学	前	1	総合実習	前	2	
				生化学	前	1	セクシュアルヘルス支援	前	1	看護教育学	前	1	
	解剖生理学2	後	2	微生物学	前	1	コミュニケーション論	前	1	緩和ケア学	前	1	
	早期体験実習	後	1	疾病・病態学A(慢性期)	前	1	コラボレーション論	前	1	看護情報学	前	1	
	看護倫理論	後	1	疾病・病態学B(急性期)	前	1	トランジショナルケア演習	前	1	グローバル看護演習	前・後	2	
				公衆衛生学	前	1	急性看護学支援論演習	前	1				
				臨床統計学	前	1	慢性看護学支援論演習	前	1	総合研究2	後	2	
				生活行動ケア論	前	1	老年看護学支援論演習	前	1	災害看護論	後	1	
				クリニカルスキル演習	前	2	精神看護学支援論演習	前	1	リスクマネジメント	後	1	
				成人看護学基盤論	前	2	在宅看護学支援論演習	前	2	新生児クリティカルケア	後	1	
				老年看護学基盤論	前	1	家族看護論	前	2	実践訪問看護演習	後	2	
				在宅看護学基盤論	前	1	母性看護学支援論演習	前	1	チーム医療B	後	1	
				地域看護学基盤論	前	1	小児看護学支援論演習	前	1				
				精神看護学基盤論	前	1	看護研究方法論	前	1				
							看護管理学	前	1				
							国際看護論	前	1				
				健康と疫学	後	1	がん看護学	前	1				
				疾病・病態学C(母性)	後	1	感染看護学	前	1				
				疾病・病態学D(小児)	後	1							
				疾病・病態学E(精神)	後	1	急性看護学実習	後	3	3年後期から4年前期			
				栄養学総論	後	1	慢性看護学実習	後	3				
				ウィメンズヘルス看護学基盤論	後	1	老年看護学実習	後	3				
				小児看護学基盤論	後	1	精神看護学実習	後	2				
				トランジショナルケア論	後	1	在宅看護学実習	後	2				
				看護過程と臨床判断	後	1	母性看護学実習	後	2				
				基礎看護学実習	後	2	小児看護学実習	後	2				
				日常生活援助技術	後	2	地域看護学実習	後	1				
				ヘルスアセスメントとシミュレーション	後	1							
				病態看護論	後	1							
				急性看護学支援論	後	1							
				慢性看護学支援論	後	1							
				老年看護学支援論	後	1							
				精神看護学支援論	後	1							
				在宅看護学支援論	後	1							
				地域看護学支援論	後	1							
				母性看護学支援論	後	1							
			小児看護学支援論	後	1								
			チーム医療A	後	1								
	5科目		8	37科目		41	27科目		40	12科目		16	105
自由 選択 枠													
	0科目		0	0科目		0	0科目		0	0科目		0	0
計	24科目		39	39科目		43	27科目		40	12科目		16	138

(注)科目名欄の下線は必修科目を示す。

資料4 看護学部の履修モデル（看護学部：実践看護科学コース・養護教諭一種履修モデル）

区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位 合計	
	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位		
基 幹 教 育 科 目	初年次教育科目		2	外国語科目		2							3 3 単 位 以 上 （ 必 修 2 3 単 位 ＋ 選 択 1 0 単 位 ）	
	情報リテラシー科目*		2	University English 3A	前	(1)								
	総合教養科目		8	University English 3B	後	(1)								
	数理・データサイエンス基礎	前・後	(2)											
	日本国憲法*	前・後	(2)											
	その他													
	外国語科目		6											
	University English 1A*	前	(1)											
	University English 1B*	前	(1)											
	University English 2A*	後	(1)											
University English 2B*	後	(1)												
初修・新修外国語1	前	(1)												
初修・新修外国語2	後	(1)												
健康・スポーツ科学科目*	前・後	3												
基礎教育科目														
その他選択科目		10												
	19科目		31	2科目		2							33	
専 門 科 目	解剖生理学1*	前	2	病理学	前	1	生命倫理学	前	2	総合研究1	前	1	必 修 科 目 9 4 単 位 ＋ 選 択 科 目 （ キ ャ リ ア 発 展 科 目 か ら 2 単 位 ） 2 単 位 以 上	
	看護学概論*	前	2	薬理学*	前	1	医療と社会福祉学	前	1	総合実習	前	2		
				生化学*	前	1	セクシュアルヘルス支援	前	1	看護教育学	前	1		
	解剖生理学2	後	2	微生物学*	前	1	コミュニケーション論*	前	1	緩和ケア学	前	1		
	早期体験実習*	後	1	疾病・病態学A(慢性期)	前	1	コラボレーション論	後	1	看護情報学	前	1		
	看護倫理論*	後	1	疾病・病態学B(急性期)	前	1	トランジショナルケア演習	前	1	グローバル看護演習	前・後	2		
				公衆衛生学*	前	1	急性看護学支援論演習	前	1					
				臨床統計学	前	1	慢性看護学支援論演習	前	1	総合研究2	後	2		
				生活行動ケア論*	前	1	老年看護学支援論演習	前	1	災害看護論	後	1		
				クリニカルスキル演習*	前	2	精神看護学支援論演習	前	1	リスクマネジメント	後	1		
				成人看護学基盤論	前	2	在宅看護学支援論演習	前	2	新生児クリティカルケア	後	1		
				老年看護学基盤論	前	1	家族看護論	前	2	実践訪問看護演習	後	2		
				在宅看護学基盤論*	前	1	母性看護学支援論演習	前	1	チーム医療B	後	1		
				地域看護学基盤論*	前	1	小児看護学支援論演習	前	1					
				精神看護学基盤論*	前	1	看護研究方法論	前	1					
							看護管理学	前	1					
							国際看護論	前	1					
				疾病・病態学C(母性)	後	1	がん看護学	前	1					
				疾病・病態学D(小児)	後	1	感染看護学	前	1					
				疾病・病態学E(精神)	後	1								
				栄養学総論*	後	1	急性看護学実習*	後	3	3年後期から4年前期				
				感染管理論*	後	1	慢性看護学実習	後	3					
				健康と疫学*	後	1	老年看護学実習	後	3					
				ウィメンズヘルス看護学基盤論*	後	1	精神看護学実習	後	2					
				小児看護学基盤論*	後	1	在宅看護学実習	後	2					
				トランジショナルケア論	後	1	母性看護学実習	後	2					
				看護過程と臨床判断	後	1	小児看護学実習*	後	2					
				基礎看護学実習	後	2	地域看護学実習	後	1					
				日常生活援助技術	後	2								
				ヘルスアセスメントとシミュレーション	後	1								
				病態看護論	後	1								
				急性看護学支援論*	後	1								
				慢性看護学支援論	後	1								
				老年看護学支援論	後	1								
				精神看護学支援論*	後	1								
				在宅看護学支援論	後	1								
				地域看護学支援論*	後	1								
				母性看護学支援論	後	1								
				小児看護学支援論*	後	1								
				チーム医療A	後	1								
		5科目		8	38科目		42	27科目		40	12科目			16
自 由 選 択 枠	教職概論*	前	2	教育課程論*	前	2	養護概説*	前	2	養護実習事前事後指導*		1		
	教育の基礎1(思想と歴史)*	前	1	特別支援教育論*	前	2	生徒指導論*	前	2	養護実習*		4		
	教育の基礎2(社会と制度)*	後	1	学校保健*	後	2				教職実践演習(養護教諭)*		2		
自 由 選 択 枠	発達・学習論*	後	2	教育方法論*	後	2								
	道徳及び特別活動の指導法*	後	1	教育相談論*	後	2								
	総合的な学習の時間(概論)*	後	1											
計	6科目		8	5科目		10	2科目		4	3科目		7	29	
	30科目		47	45科目		54	29科目		44	15科目		23	168	

(注) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

*は養護教諭一種免許に必要な科目

憲法については、1年次または2年次で必ず履修する必要がある。抽選科目

資料4 看護学部履修モデル（看護学部：先進ケア科学コース）

区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位合計
	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	
基幹教育科目	初年次教育科目		2	外国語科目		2							33 単位 (必修23 単位＋選 択10単位) 以上
	情報リテラシー科目		2	University English 3A	前	(1)							
	総合教養科目		8	University English 3B	後	(1)							
	外国語科目		6										
	University English 1A	前	(1)										
	University English 1B	前	(1)										
	University English 2A	後	(1)										
	University English 2B	後	(1)										
	初修・新修外国語1	前	(1)										
	初修・新修外国語2	後	(1)										
健康・スポーツ科学科目	前・後	3											
その他選択科目		10											
	19科目		31	2科目		2	0科目		0	0科目		0	33
専門科目	解剖生理学1	前	2	病理学	前	1	ゲノム医療ケア科学	前	1	研究セミナー3	前	1	必修 単位 94 単位＋選 択（キャ リア発 展2単位） 2単位以上
	看護学概論	前	2	薬理学	前	1	ヘルスケアサービス経営論	前	1	生活行動ケア応用演習	前	1	
				生化学	前	1	情報ケア科学	前	1	生活行動ケア応用実習	前	1	
	解剖生理学2	後	2	微生物学	前	1	異文化ケア科学	前	1	訪問看護過程演習	前	1	
	早期体験実習	後	1	疾病・病態学A(慢性期)	前	1	ケアと意思決定	前	1	訪問看護過程実習	前	1	
	看護倫理論	後	1	疾病・病態学B(急性期)	前	1	研究セミナー1	前	1	ケアシステム科学実習	前	2	
				公衆衛生学	前	1	臨床健康危機看護学演習	前	2	看護教育学	前	1	
				臨床統計学	前	1	臨床健康危機看護学実習	前	3	グローバル看護演習	前・後	2	
				生活行動ケア論	前	1	ウィメンズヘルスケア活動論	前	1	看護情報学	前	1	
				クリニカルスキル演習	前	2	精神行動看護学実践論	前	1	緩和ケア学	前	1	
				成人看護学基盤論	前	2	地域包括ケア論	前	2				
				老年看護学基盤論	前	1	臨床療養支援看護学演習	前	2	研究セミナー4	後	1	
				在宅看護学基盤論	前	1	臨床療養支援看護学実習	前	3	地域包括ケアシステム演習	後	1	
				地域看護学基盤論	前	1	子ども・発達ケアシステム論	前	1	地域包括ケア実習	後	1	
				精神看護学基盤論	前	1	グローバルケアコミュニケーション	前	1	チーム医療B	後	1	
							看護管理学	前	1	災害看護論	後	1	
				疾病・病態学C(母性)	後	1	国際看護論	前	1	リスクマネジメント	後	1	
				疾病・病態学D(小児)	後	1	がん看護学	前	1	新生児クリティカルケア	後	1	
				疾病・病態学E(精神)	後	1	感染看護学	前	1	実践訪問看護演習	後	2	
				感染管理論	後	1							
				基礎遺伝学	後	1	研究セミナー2	後	1				
				ウィメンズヘルス看護学基盤論	後	1	周産期ヘルスケア演習	後	2				
				小児看護学基盤論	後	1	ウィメンズヘルスケア実習	後	2				
				ケアと健康福祉工学	後	1	精神行動看護学演習	後	2				
				ケアと行動科学	後	1	精神行動看護学実習	後	2				
				ケアと人工知能	後	1	高齢者ケアシステム論	後	2				
				高齢者ケアと経済	後	1	高齢者ケアシステム実習	後	2				
				ケア研究方法論	後	1	子ども・家族看護過程演習	後	2				
				ケア・シンキングプロセス	後	1	子ども・家族看護過程実習	後	2				
				フィジカルアセスメント	後	1							
				生活行動ケア基本演習	後	2							
				生活行動ケア基本実習	後	2							
				高齢者ウェルネス実習	後	1							
				チーム医療A	後	1							
	5科目		8	33科目		37	28科目		43	18科目		21	109
自由選択枠													
	0科目		0	0科目		0	0科目		0	0科目		0	0
計	25科目		39	35科目		39	28科目		43	18科目		21	142

(注)科目名欄の下線は必修科目を示す。

資料4 看護学部履修モデル（看護学部：先進ケア科学コース・養護教諭一種履修モデル）

区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位合計
	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	
基幹教育科目	初年次教育科目		2	外国語科目		2							33単位（必修23単位＋選択10単位）以上
	情報リテラシー科目*		2	University English 3A	前	(1)							
	総合教養科目		8	University English 3B	後	(1)							
	日本国憲法*	前・後	(2)										
	外国語科目		6										
	University English 1A*	前	(1)										
	University English 1B*	前	(1)										
	University English 2A*	後	(1)										
	University English 2B*	後	(1)										
	初修・新修外国語1	前	(1)										
	初修・新修外国語2	後	(1)										
	健康・スポーツ科学科目*	前・後	3										
	その他選択科目		10										
	19科目		31	2科目		2	0科目		0	0科目		0	33
専門科目	解剖生理学1*	前	2	病理学	前	1	ゲノム医療ケア科学	前	1	研究セミナー3	前	1	必修単位94単位＋選択（キャリア発展2単位）2単位以上
	看護学概論*	前	2	薬理学*	前	1	ヘルスケアサービス経営論	前	1	生活行動ケア応用演習	前	1	
				生化学*	前	1	情報ケア科学	前	1	生活行動ケア応用実習	前	1	
	解剖生理学2	後	2	微生物学*	前	1	異文化ケア科学	前	1	訪問看護過程演習	前	1	
	早期体験実習*	後	1	疾病・病態学A(慢性期)	前	1	ケアと意思決定	前	1	訪問看護過程実習	前	1	
	看護倫理論*	後	1	疾病・病態学B(急性期)	前	1	研究セミナー1	前	1	ケアシステム科学実習	前	2	
				公衆衛生学*	前	1	臨床健康危機看護学演習*	前	2	看護教育学	前	1	
				臨床統計学	前	1	臨床健康危機看護学実習*	前	3	グローバル看護演習	前・後	2	
				生活行動ケア論*	前	1	ウィメンズヘルスケア活動論	前	1	看護情報学	前	1	
				クリニカルスキル演習*	前	2	精神行動看護学実践論*	前	1	緩和ケア学	前	1	
				成人看護学基盤論	前	2	地域包括ケア論*	前	2				
				老年看護学基盤論	前	1	臨床療養支援看護学演習	前	2	研究セミナー4	後	1	
				在宅看護学基盤論*	前	1	臨床療養支援看護学実習	前	3	地域包括ケアシステム演習	後	1	
				地域看護学基盤論*	前	1	子ども・発達ケアシステム論*	前	1	地域包括ケア実習	後	1	
				精神看護学基盤論*	前	1	グローバルケアコミュニケーション	前	1	チーム医療B	後	1	
							看護管理学	前	1	災害看護論	後	1	
				栄養学総論*	後	1	国際看護論	前	1	リスクマネジメント	後	1	
				疾病・病態学C(母性)	後	1	がん看護学	前	1	新生児クリティカルケア	後	1	
				疾病・病態学D(小児)	後	1	感染看護学	前	1	実践訪問看護演習	後	2	
				疾病・病態学E(精神)	後	1							
				感染管理論*	後	1	研究セミナー2	後	1				
				基礎遺伝学	後	1	周産期ヘルスケア演習	後	2				
				健康と疫学*	後	1	ウィメンズヘルスケア実習	後	2				
				ウィメンズヘルス看護学基盤論*	後	1	精神行動看護学演習	後	2				
				小児看護学基盤論*	後	1	精神行動看護学実習	後	2				
				ケアと行動科学	後	1	高齢者ケアシステム論	後	2				
				ケアと行動科学	後	1	高齢者ケアシステム実習	後	2				
				ケアと人工知能	後	1	子ども・家族看護過程演習	後	2				
				高齢者ケアと経済	後	1	子ども・家族看護過程実習*	後	2				
				ケア研究方法論	後	1							
				ケア・シンキングプロセス	後	1							
				フィジカルアセスメント	後	1							
				生活行動ケア基本演習	後	2							
				生活行動ケア基本実習	後	2							
				高齢者ウェルネス実習	後	1							
				チーム医療A	後	1							
	5科目		8	35科目		39	28科目		43	18科目		21	111
自由選択枠	教職概論*	前	2	教育課程論*	前	2	養護概説*	前	2	養護実習事前事後指導*		1	
	教育の基礎1(思想と歴史)*	前	1	特別支援教育論*	前	2	生徒指導論*	前	2	養護実習*		4	
	教育の基礎2(社会と制度)*	後	1	学校保健*	後	2				教職実践演習(養護教諭)*		2	
	発達・学習論*	後	2	教育方法論*	後	2							
	道徳及び特別活動の指導法*	後	1	教育相談論*	後	2							
	総合的な学習の時間(概論)*	後	1										
	6科目		8	5科目		10	2科目		4	3科目		7	29
計	32科目		47	42科目		51	30科目		47	21科目		28	173

(注)科目名欄の下線は必修科目を示す。
*は養護教諭一種免許に必要な科目
憲法については、1年次または2年次で必ず履修する必要がある。抽選科目

資料5-1 実習施設一覧表（看護師）

	実習施設名	住所	実習科目名	実習受入人数
1	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター	大阪市中央区大手前3-1-69	早期体験実習	42
			基礎看護学実習	45
			急性看護学実習	88
			総合実習	12
			慢性看護学実習	44
2	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター	羽曳野市はびきの3-7-1	早期体験実習	28
			基礎看護学実習	30
			総合実習	35
			母性看護学実習	40
			慢性看護学実習	44
3	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	大阪市住吉区万代東3丁目1番56号	早期体験実習	42
			基礎看護学実習	45
			急性看護学実習	44
			総合実習	19
			母性看護学実習	36
			慢性看護学実習	22
4	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	枚方市宮之阪3-16-21	精神看護学実習	70
			総合実習	10
5	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	和泉市室堂町840	総合実習	24
			小児看護学実習	110
			母性看護学実習	40
6	医療法人杏和会 阪南病院	堺市中区八田南之町277	精神看護学実習	45
7	公益財団法人 浅香山病院	大阪府堺市堺区今池町4丁4番12号	精神看護学実習	22
8	淀川キリスト教病院	大阪市東淀川区柴島1丁目7番50号	総合実習	5
9	社会医療法人生長会 ペルピアノ病院	堺市西区菱木1丁2343番11	総合実習	6
10	一般財団法人 吹田市介護老人保健施設事業団 吹田市介護老人保健施設	吹田市片山町2-13-25	老年看護学実習	37
11	一般財団法人富田林市福祉公社 富田林市ケアセンターけあばる 富田林市介護老人保健施設	大阪府富田林市向陽台1-4-30	早期体験実習	18
			老年看護学実習	30
12	公益財団法人 浅香山病院 介護老人保健施設 みあ・かーさ	大阪府堺市堺区今池町4丁4番12号	老年看護学実習	12
13	社会医療法人生長会 介護老人保健施設 ペルアモール	堺市西区菱木1丁2343番16	早期体験実習	24
			老年看護学実習	37
14	医療法人永広会はあつる 介護老人保健施設 悠々亭	羽曳野市榎山100-1	早期体験実習	12

	実習施設名	住所	実習科目名	実習受入人数
15	社会福祉法人悠人会特別養護老人ホーム ベルアルブ	堺市西区菱木1丁2343番16	総合実習	4
16	社会福祉法人悠人会特別養護老人ホームベルライブ	堺市堺区南安井町3-1-1(ベルタウン内)	老年看護学実習	40
17	スギ訪問看護ステーション 昭和町	大阪府大阪市阿倍野区阪南町1-50-16 月岡ビル2階	在宅看護学実習	6
18	セコム医療システム株式会社 セコム豊中訪問看護ステーション	大阪府豊中市11 大阪府豊中市東豊中 町2丁目11-15	在宅看護学実習	4
19	とも訪問看護ステーション	東大阪市中小阪3-12-19	在宅看護学実習	6
20	よどき医療と介護のまちづくり株式会社 よどき訪問看護ステーション新大阪	大阪市東淀川区東中島6-12-11	在宅看護学実習	4
21	よどき医療と介護のまちづくり株式会社 よどき訪問看護ステーション	大阪市東淀川区豊新4-26-3	在宅看護学実習	4
22	ペガサス訪問看護ステーション	大阪府堺市西区鳳北町10-10	在宅看護学実習	9
			総合実習	3
23	喜志訪問看護ステーション	大阪府富田林市桜井町1-4-3	在宅看護学実習	8
24	四天王寺悲田院 訪問看護ステーション	羽曳野市学園前6-1-1	在宅看護学実習	4
25	社会医療法人 きつこう会多根訪問看護 ステーション	大阪市西区境川1-2-37	在宅看護学実習	6
26	訪問看護ステーションいと	吹田市竹見台3-6-25	在宅看護学実習	6
27	あつと訪問看護ステーション	大阪府堺市堺区桜之町西2丁1-18	在宅看護学実習	6
28	株式会社かがやき かがやき訪問看護 ステーション加美駅前	大阪市平野区加美東4-15-6	在宅看護学実習	6
29	株式会社コンフォート葵 葵訪問看護ス テーション	大阪市東住吉区針中野3-13-18	在宅看護学実習	4
30	さくらの詩訪問看護ステーション	羽曳野市はびきの1-4-1	在宅看護学実習	6
31	看護小規模多機能居宅介護 あつと桜之 町	大阪府堺市堺区桜之町西2丁1-18	総合実習	5
32	訪問看護ステーションハートフリーやすら ぎ	大阪市住吉区帝塚山東5-6-15 住吉隣 保事業推進センター2階	在宅看護学実習	18
			総合実習	5
33	藤井寺市訪問看護ステーション	藤井寺市訪問看護ステーション	在宅看護学実習	9
			総合実習	2
34	阪本織布株式会社 グループホーム ふ どうの家	大阪府羽曳野市駒ヶ谷404	老年看護学実習	45
35	社会福祉法人晋栄福祉会 小規模多機 能ホーム 大和田ちどり	門真市北島町12-3	老年看護学実習	18
36	NPO法人 介護支援の会 松原ファミリ ーデイハウス松原「ファミリー」	大阪府松原市天美北6-446-5	老年看護学実習	20
37	藤井寺市地域包括支援センター	大阪府藤井寺市北岡1丁目2-8	総合実習	3
38	ペガサスこどもデイセンター	大阪府堺市西区鳳北町10-10	総合実習	5
39	株式会社 生活科学運営シニアハウス長 居公園	大阪市住吉区長居東1-27-20	早期体験実習	16
40	株式会社 生活科学運営ライフ&シニア ハウス 緑橋	大阪市東成区東中本2-1-17	早期体験実習	12
41	社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター	大阪市東住吉区山坂5-11-21	早期体験実習	20
42	ダイキン工業株式会社 堺製作所 金岡 工場	大阪府堺市北区金岡町1304	早期体験実習	30
43	四天王寺悲田院保育園・子育て支援セ ンターぼのぼ	羽曳野市学園前6-1-1	地域看護学実習	15
44	社会福祉法人 羽曳野市社会福祉協議 会	羽曳野市萱田4-1-1	地域看護学実習	10
45	藤井寺市立老人福祉センター松水苑	大阪府藤井寺市国府2丁目5-38	地域看護学実習	12
46	社会福祉法人 大阪市住吉区社会福祉 協議会 大阪市立住吉区老人福祉セン ター	大阪市住吉区遠里小野1-1-31	地域看護学実習	14
47	社会福祉法人 四恩学園 四恩学園乳 児院	大阪市住吉区荻田4-3-9	地域看護学実習	5
48	社会福祉法人 四恩学園 ふれ愛の館し おん	大阪市住吉区荻田4-3-15	地域看護学実習	15

	実習施設名	住所	実習科目名	実習受入人数
49	社会福祉法人 大阪市天王寺区社会福祉協議会 大阪市立天王寺区老人福祉センター	大阪市天王寺区生玉寺町7-57	地域看護学実習	14
50	社会福祉法人 大阪市生野区社会福祉協議会 大阪市立生野区老人福祉センター	大阪市生野区勝山南4-7-35	地域看護学実習	14
51	羽曳野市保健福祉部こども課 羽曳野市立子育て支援センター ふるいち	羽曳野市誉田4-1-1	地域看護学実習	12
52	羽曳野市地域包括支援センター	大阪府羽曳野市誉田4丁目1-1	総合実習	6
53	社会福祉法人 四恩学園 住吉区東地域包括支援センター	大阪市住吉区苅田4丁目3番9号	総合実習	3
54	大阪市立大学医学部附属病院	大阪市阿倍野区旭町1-5-7	早期体験実習	50
			生活行動ケア基本実習	50
			臨床療養支援看護学実習	50
			臨床健康危機看護学実習	50
			精神行動看護学実習	20
			高齢者ケアシステム実習	50
			ウィメンズヘルスケア実習	50
			子ども・家族看護過程実習	50
			ケアシステム科学実習	26
55	医療法人好寿会美原病院	大阪府堺市美原区今井380	精神行動看護学実習	35
			ケアシステム科学実習	8
56	特定非営利活動法人精神障害者支援の会ヒット アトリエ・IK	大阪市生野区鶴橋2-18-11	精神行動看護学実習	14
57	特定非営利活動法人精神障害者支援の会ヒット ゆめくらぶ	大阪市生野区桃谷1-13-1新栄プロパティ2F	精神行動看護学実習	14
58	特定非営利活動法人精神障害者支援の会ヒット あしすと	大阪市天王寺区東高津町4-16	精神行動看護学実習	14
59	特定非営利活動法人精神障害者支援の会ヒット タスト	〒537-0024 大阪府大阪市東成区東小橋3丁目1-15 NKBビル4階	精神行動看護学実習	14
60	大阪府高齢者大学校	大阪市中心区法円坂1-1-35 大阪市教育会館(アネックス パル法円坂)内	高齢者ウェルネス実習	25
61	社会福祉法人帝塚山福祉会 介護老人保健施設聖和苑	大阪市住吉区帝塚山東2丁目1番35号	高齢者ウェルネス実習	5
			高齢者ケアシステム実習	20
62	特別養護老人ホーム阪和苑	大阪市阿倍野区松崎町2-3-10	生活行動ケア応用実習	20
63	帝塚山特別養護老人ホーム玲風苑	大阪市住吉区帝塚山東2丁目1番35号	高齢者ウェルネス実習	5
			生活行動ケア応用実習	20
64	介護老人保健施設よどの里	大阪市西淀川区姫島2-13-20	高齢者ウェルネス実習	5
			高齢者ケアシステム実習	20
65	多根介護老人保健施設てんぼーざん	大阪市港区築港3-4-25	高齢者ウェルネス実習	5
			高齢者ケアシステム実習	30
			ケアシステム科学実習	10
66	特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑	大阪市西区江之子島1丁目8番44号	高齢者ウェルネス実習	5
			生活行動ケア応用実習	25

	実習施設名	住所	実習科目名	実習受入人数
67	特別養護老人ホーム花嵐	大阪市東住吉区矢田6-8-7	高齢者ウェルネス実習	5
			生活行動ケア応用実習	20
			ケアシステム科学実習	10
68	医療法人 久保田医院	大阪府大阪市阿倍野区天王寺町北3丁目9番18号	高齢者ケアシステム実習	10
69	武田内科クリニック	大阪府大阪市阿倍野区松崎町2-9-5 セレスタ阿倍野松崎103号	高齢者ケアシステム実習	10
70	医療法人 河島医院	大阪市阿倍野区昭和町2丁目1-24	高齢者ケアシステム実習	10
71	えすみりウマチ整形外科クリニック	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス21F	高齢者ケアシステム実習	10
72	むぎたにクリニック	大阪市阿倍野区阿倍野筋5丁目10-3	高齢者ケアシステム実習	10
73	医療法人山田医院	大阪府大阪市阿倍野区王子町2-12-14	高齢者ケアシステム実習	10
74	大阪市立光陽特別支援学校市立大学附属病院分教室	大阪市阿倍野区旭町1-5-7大阪市立大学医学部附属病院8階	子ども・家族看護過程実習	50
75	諏訪保育園	大阪市城東区諏訪1-8-5	子ども・家族看護過程実習	15(2グループ)
76	金塚幼稚園	大阪市阿倍野区旭町1-4-46	子ども・家族看護過程実習	35～40
77	ながいけ認定こども園	大阪市阿倍野区阪南町5丁目2番26号	子ども・家族看護過程実習	15(2グループ)
78	弘道会訪問看護ステーションラガール	守口市大久保町3-30-22	訪問看護過程実習	6～8
79	訪問看護ステーション帝塚山もも	大阪市阿倍野区阪南町1丁目47-1松井ビル2階	訪問看護過程実習	6～8
80	南大阪医療生活協同組合訪問看護ステーション虹	大阪市住吉区沢之町1-3-16	訪問看護過程実習	6～8
81	大阪発達総合療育センター訪問看護ステーションめぐみ	大阪市東住吉区山坂5-9-16	訪問看護過程実習	6～8
82	ハビネス訪問看護ステーション	大阪市平野区平野本町1-8-32ビス平野2階	訪問看護過程実習	6～8
83	訪問看護ステーションありく	大阪市平野区瓜破2-2-7-102号	訪問看護過程実習	6～8
84	よどきり訪問看護ステーション	大阪市東淀川区豊新4-26-3	訪問看護過程実習	6～8
85	旭区西部地域包括支援センター	大阪市旭区中宮2-15-7	地域包括ケア実習	4～8
86	住之江区加賀屋・粉浜地域包括支援センター	大阪市住之江区粉浜西2-7-21	地域包括ケア実習	4～8
87	城東区董・鯉江東地域包括支援センター	大阪府大阪市城東区関目3丁目8-17	地域包括ケア実習	5～8
88	東大阪市地域包括支援センター向日葵	大阪府東大阪市玉串町東1丁目10-20	地域包括ケア実習	5～8
89	泉大津市地域包括支援センター	泉大津市東雲町9-54	地域包括ケア実習	4～8
90	松原市地域包括支援センター社会福祉協議会	松原市阿保1-1-1市役所東別館	地域包括ケア実習	4～8
91	松原市地域包括支援センター徳洲会	松原市天美東7-103	地域包括ケア実習	4～8
92	東大阪市地域包括支援センターサンホーム	東大阪市御厨南3-1-18	地域包括ケア実習	4～8
93	基幹型地域包括支援センター東大阪市社会福祉協議会角田	東大阪市角田2-3-8	地域包括ケア実習	5～8
94	基幹型地域包括支援センター東大阪市社会福祉協議会荒川	大阪府東大阪市荒川3丁目4-23	地域包括ケア実習	5～8
95	松原市社会福祉協議会	松原市阿保1-1-1松原市役所東別館内	ケアシステム科学実習	6～8
96	カーム・スマイル株式会社スマイル訪問看護ステーション	大阪市淀川区西宮原1-8-41新大阪南愛ビル205号	在宅看護学実習	4
97	毎日新聞社 大阪本社	大阪市北区梅田3-4-5	早期体験実習	20
98	介護老人保健施設 八尾徳洲苑	大阪府八尾市南木の本5-35-1	早期体験実習	12

資料5-1 実習施設一覧（教育実習）

大阪府立中学校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	大阪府立富田林中学校	富田林市谷川町4-30	2名

大阪府立高校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	大阪府立芥川高等学校	高槻市浦堂1-12-1	2名
2	大阪府立旭高等学校	大阪市旭区高殿5-6-41	2名
3	大阪府立芦間高等学校	守口市外島町1-43	2名
4	大阪府立阿武野高等学校	高槻市氷室町3-38-1	2名
5	大阪府立阿倍野高等学校	大阪市阿倍野区阪南町1-30-34	2名
6	大阪府立生野高等学校	松原市新堂1-552	2名
7	大阪府立池田高等学校	池田市旭丘2-2-1	2名
8	大阪府立大正白稜高等学校	大阪市大正区泉尾3-19-50	2名
9	大阪府立和泉高等学校	岸和田市土生町1-2-1	2名
10	大阪府立泉大津高等学校	泉大津市北豊中町1-1-1	2名
11	大阪府立和泉総合高等学校	和泉市富秋町1-14-4	2名
12	大阪府立泉島取高等学校	阪南市緑ヶ丘1-1-10	2名
13	大阪府立市岡高等学校	大阪市港区市岡元町2-12-12	2名
14	大阪府立茨木高等学校	茨木市新庄町12-1	2名
15	大阪府立茨木工科高等学校	茨木市春日5-6-41	2名
16	大阪府立茨木西高等学校	茨木市紫明園10-68	2名
17	大阪府立今宮高等学校	大阪市浪速区戎本町2-7-39	2名
18	大阪府立今宮工科高等学校	大阪市西成区出城1-1-6	2名
19	大阪府立園芸高等学校	池田市八王寺2-5-1	2名
20	大阪府立大冠高等学校	高槻市大塚町4-50-1	2名
21	大阪府教育センター附属高等学校	大阪市住吉区荻田4-1-72	2名
22	大阪府立大塚高等学校	松原市西大塚2-1005	2名
23	大阪府立大手前高等学校	大阪市中央区大手前2-1-11	2名
24	大阪府立鳳高等学校	堺市西区原田150	2名
25	大阪府立貝塚高等学校	貝塚市畠中1-1-1	2名
26	大阪府立貝塚南高等学校	貝塚市橋本620	2名
27	大阪府立懐風館高等学校	羽曳野市大黒776	2名
28	大阪府立春日丘高等学校	茨木市春日2-1-2	2名
29	大阪府立交野高等学校	交野市寺南野10-1	2名
30	大阪府立門真なみはや高等学校	門真市島頭4-9-1	2名
31	大阪府立門真西高等学校	門真市柳田町29-1	2名
32	大阪府立金岡高等学校	堺市北区金岡町2651	2名
33	大阪府立河南高等学校	富田林市錦ヶ丘町1-15	2名
34	大阪府立かわち野高等学校	東大阪市新庄4-11-95	2名
35	大阪府立岸和田高等学校	岸和田市岸城町10-1	2名
36	大阪府立北かわち畠が丘高等学校	寝屋川市寝屋北町1-1	2名
37	大阪府立北千里高等学校	吹田市藤白台5-6-1	2名
38	大阪府立北野高等学校	大阪市淀川区新北野2-5-13	2名
39	大阪府立淀川清流高等学校	大阪市東淀川区豊里2-11-35	2名
40	大阪府立柴島高等学校	大阪市東淀川区柴島1-7-106	2名
41	大阪府立久米田高等学校	岸和田市額原町1100	2名
42	大阪府立高津高等学校	大阪市天王寺区餌差町10-47	2名
43	大阪府立港南造形高等学校	大阪市住之江区南港東2-5-72	2名
44	大阪府立香里丘高等学校	枚方市東中振2-18-1	2名
45	大阪府立金剛高等学校	富田林市藤沢台2-1-1	2名
46	大阪府立堺上高等学校	堺市西区上61	2名
47	大阪府立堺工科高等学校	堺市堺区大仙中町12-1	2名
48	大阪府立堺西高等学校	堺市南区桃山台4-16	2名
49	大阪府立堺東高等学校	堺市南区晴美台1-1-2	2名
50	大阪府立桜塚高等学校	豊中市中桜塚4-1-1	2名
51	大阪府立佐野高等学校	泉佐野市市場東2-398	2名
52	大阪府立佐野工科高等学校	泉佐野市高松東1-3-50	2名
53	大阪府立狭山高等学校	大阪狭山市半田4-1510	2名
54	大阪府立四條畷高等学校	四條畷市雁屋北町1-1	2名
55	大阪府立信太高等学校	和泉市葛の葉町3-6-8	2名
56	大阪府立洪谷高等学校	池田市畑4-1-1	2名
57	大阪府立島本高等学校	三島郡島本町桜井台15-1	2名
58	大阪府立清水谷高等学校	大阪市天王寺区清水谷町2-44	2名
59	大阪府立城東工科高等学校	東大阪市西鴻池町2-5-33	2名
60	大阪府立吹田高等学校	吹田市原町4-24-14	2名
61	大阪府立吹田東高等学校	吹田市青葉丘南16-1	2名
62	大阪府立住吉高等学校	大阪市阿倍野区北畠2-4-1	2名

63	大阪府立成城高等学校	大阪市城東区諏訪3-11-41	2名
64	大阪府立成美高等学校	堺市南區城山台4-1-1	2名
65	大阪府立摂津高等学校	摂津市学園町1-5-1	2名
66	大阪府立泉北高等学校	堺市南區若松台3-2-2	2名
67	大阪府立泉陽高等学校	堺市堺区車之町3-2-1	2名
68	大阪府立千里高等学校	吹田市高野台2-17-1	2名
69	大阪府立千里青雲高等学校	豊中市新千里南町1-5-1	2名
70	大阪府立高石高等学校	高石市千代田6-12-1	2名
71	大阪府立高槻北高等学校	高槻市別所本町36-3	2名
72	大阪府立槻の木高等学校	高槻市城内町2-13	2名
73	大阪府立豊島高等学校	豊中市北緑丘3-2-1	2名
74	大阪府立天王寺高等学校	大阪市阿倍野区三明町2-4-23	2名
75	大阪府立刀根山高等学校	豊中市刀根山6-9-1	2名
76	大阪府立登美丘高等学校	堺市東區西野51	2名
77	大阪府立豊中高等学校	豊中市上野西2-5-12	2名
78	大阪府立富田林高等学校	富田林市谷川町4-30	2名
79	大阪府立長尾高等学校	枚方市長尾家具町5-1-1	2名
80	大阪府立長野高等学校	河内長野市原町2-1-1	2名
81	大阪府立長吉高等学校	大阪市平野区長吉長原西3-11-33	2名
82	大阪府立西成高等学校	大阪市西成区津守1-13-10	2名
83	大阪府立西寝屋川高等学校	寝屋川市葛原2-19-1	2名
84	大阪府立西野田工科高等学校	大阪市福島区大開2-17-62	2名
85	大阪府立寝屋川高等学校	寝屋川市本町15-64	2名
86	大阪府立農芸高等学校	堺市美原区北余部595-1	2名
87	大阪府立野崎高等学校	大東市寺川1-2-1	2名
88	大阪府立豊中高等学校能勢分校	豊能郡能勢町上田尻580	2名
89	大阪府立伯太高等学校	和泉市伯太町2-4-11	2名
90	大阪府立花園高等学校	東大阪市花園東町3-1-25	2名
91	大阪府立阪南高等学校	大阪市住吉区庭井2-18-81	2名
92	大阪府立東住吉高等学校	大阪市平野区平野西2-3-77	2名
93	大阪府立東住吉総合高等学校	大阪市平野区喜連西2-11-66	2名
94	大阪府立東百舌鳥高等学校	堺市中區土塔町2377-5	2名
95	大阪府立東淀川高等学校	大阪市淀川区宮原4-4-5	2名
96	大阪府立日根野高等学校	泉佐野市日根野 2372-1	2名
97	大阪府立枚岡樟風高等学校	東大阪市鷹殿町18-1	2名
98	大阪府立枚方高等学校	枚方市大垣内町3-16-1	2名
99	大阪府立枚方津田高等学校	枚方市津田北町2-50-1	2名
100	大阪府立枚方なぎさ高等学校	枚方市磯島元町20-1	2名
101	大阪府立平野高等学校	大阪市平野区長吉川辺4-2-11	2名
102	大阪府立福井高等学校	茨木市西福井3-33-11	2名
103	大阪府立福泉高等学校	堺市西區太平寺323	2名
104	大阪府立藤井寺高等学校	藤井寺市津堂3-516	2名
105	大阪府立藤井寺工科高等学校	藤井寺市御舟町10-1	2名
106	大阪府立布施高等学校	東大阪市下小阪3-14-21	2名
107	大阪府立布施北高等学校	東大阪市荒本西1-2-72	2名
108	大阪府立布施工科高等学校	東大阪市宝持3-7-5	2名
109	大阪府立北摂つばさ高等学校	茨木市玉島台2-15	2名
110	大阪府立牧野高等学校	枚方市南船橋1-11-1	2名
111	大阪府立茨田高等学校	大阪市鶴見区安田1-5-49	2名
112	大阪府立松原高等学校	松原市三宅東3-4-1	2名
113	大阪府立三国丘高等学校	堺市堺区南三国ヶ丘町2-2-36	2名
114	大阪府立岬高等学校	泉南郡岬町淡輪3246	2名
115	大阪府立三島高等学校	高槻市今城町27-1	2名
116	大阪府立みどり清朋高等学校	東大阪市池島町6-3-9	2名
117	大阪府立港高等学校	大阪市港区波除2-3-1	2名
118	大阪府立箕面高等学校	箕面市牧落4-8-66	2名
119	大阪府立箕面東高等学校	箕面市粟生外院5-4-63	2名
120	大阪府立美原高等学校	堺市美原区平尾234-1	2名
121	大阪府立守口東高等学校	守口市八雲中町2-1-32	2名
122	大阪府立八尾高等学校	八尾市高町1-74	2名
123	大阪府立八尾北高等学校	八尾市萱振町7-42	2名
124	大阪府立八尾翠翔高等学校	八尾市神宮寺3-107	2名
125	大阪府立山田高等学校	吹田市山田東3-28-1	2名
126	大阪府立山本高等学校	八尾市山本町北1-1-44	2名

127	大阪府立夕陽丘高等学校	大阪市天王寺区北山町10-10	2名
128	大阪府立淀川工科高等学校	大阪市旭区太子橋3-1-32	2名
129	大阪府立緑風冠高等学校	大東市深野4-12-1	2名
130	大阪府立りんくう翔南高等学校	泉南市樽井2-35-54	2名
131	大阪府立勝山高等学校	大阪市生野区巽東3-10-75	2名
132	大阪府立わかば高等学校	大阪市生野区巽東3-10-75	2名
133	大阪府立桃谷高等学校	大阪市生野区勝山南3-1-4	2名
134	大阪府立柏原東高等学校	柏原市高井田1015	2名
135	大阪府立長野北高等学校	河内長野市木戸東町3-1	2名

大阪市立小学校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	滝川小学校	大阪市北区天満1-24-15	1名
2	堀川小学校	大阪市北区東天満2-10-7	1名
3	西天満小学校	大阪市北区西天満3-12-21	1名
4	菅北小学校	大阪市北区菅栄町9-5	1名
5	豊崎東小学校	大阪市北区長柄中2-3-30	1名
6	豊崎本庄小学校	大阪市北区本庄西2-1-16	1名
7	中津小学校	大阪市北区中津3-34-18	1名
8	大淀小学校	大阪市北区大淀中4-10-33	1名
9	豊仁小学校	大阪市北区長柄西2-6-20	1名
10	豊崎小学校	大阪市北区豊崎4-5-9	1名
11	扇町小学校	大阪市北区扇町2-7-24	1名
12	弘済小学校	吹田市古江台6-2-2	1名
13	弘済小学校分校	高槻市奈佐原956	1名
14	桜宮小学校	大阪市都島区東野田町1-10-19	1名
15	中野小学校	大阪市都島区中野町3-10-5	1名
16	高倉小学校	大阪市都島区高倉町3-3-10	1名
17	淀川小学校	大阪市都島区毛馬町3-5-39	1名
18	都島小学校	大阪市都島区都島本通3-10-3	1名
19	内代小学校	大阪市都島区内代町3-4-6	1名
20	東都島小学校	大阪市都島区都島本通4-24-20	1名
21	大東小学校	大阪市都島区毛馬町2-11-111	1名
22	友渚小学校	大阪市都島区友渚町1-3-123	1名
23	友渚小学校分校	大阪市都島区友渚町1-3-187	1名
24	福島小学校	大阪市福島区福島4-5-6	1名
25	玉川小学校	大阪市福島区玉川2-13-16	1名
26	野田小学校	大阪市福島区野田5-13-22	1名
27	吉野小学校	大阪市福島区吉野3-10-5	1名
28	大開小学校	大阪市福島区大開2-10-28	1名
29	鷺洲小学校	大阪市福島区鷺洲5-6-8	1名
30	海老江東小学校	大阪市福島区海老江1-6-19	1名
31	海老江西小学校	大阪市福島区海老江8-1-10	1名
32	上福島小学校	大阪市福島区福島7-4-33	1名
33	西九条小学校	大阪市此花区西九条4-3-41	1名
34	四貫島小学校	大阪市此花区四貫島2-16-29	1名
35	島屋小学校	大阪市此花区島屋2-9-36	1名
36	伝法小学校	大阪市此花区伝法3-13-10	1名
37	梅香小学校	大阪市此花区梅香3-17-29	1名
38	高見小学校	大阪市此花区高見1-3-35	1名
39	西島小学校	大阪市此花区西島2-5-12	1名
40	春日出小学校	大阪市此花区春日出中1-13-23	1名
41	玉造小学校	大阪市中央区玉造2-3-43	1名
42	南大江小学校	大阪市中央区農人橋1-3-3	1名
43	中大江小学校	大阪市中央区糸屋町2-3-14	1名
44	高津小学校	大阪市中央区高津3-4-21	1名
45	南小学校	大阪市中央区東心斎橋1-14-29	1名
46	開平小学校	大阪市中央区今橋1-5-7	1名
47	中央小学校	大阪市中央区瓦屋町2-8-4	1名
48	西船場小学校	大阪市西区江戸堀1-21-28	1名
49	日吉小学校	大阪市西区南堀江4-9-19	1名
50	九条南小学校	大阪市西区九条南2-13-17	1名
51	九条東小学校	大阪市西区九条2-6-2	1名
52	九条北小学校	大阪市西区九条南4-7-38	1名
53	本田小学校	大阪市西区川口1-5-19	1名
54	堀江小学校	大阪市西区北堀江3-2-16	1名
55	明治小学校	大阪市西区阿波座2-3-35	1名
56	明治小学校(分校)	大阪市西区立売堀4-10-18	1名
57	市岡小学校	大阪市港区市岡3-2-24	1名
58	磯路小学校	大阪市港区磯路3-7-7	1名
59	三先小学校	大阪市港区三先2-6-32	1名

60	田中小学校	大阪市港区田中2-10-34	1名
61	八幡屋小学校	大阪市港区八幡屋3-3-5	1名
62	波除小学校	大阪市港区波除3-6-8	1名
63	築港小学校	大阪市港区築港1-10-38	1名
64	南市岡小学校	大阪市港区南市岡2-6-35	1名
65	港晴小学校	大阪市港区港晴1-3-12	1名
66	弁天小学校	大阪市港区弁天2-9-35	1名
67	池島小学校	大阪市港区池島2-5-47	1名
68	三軒家西小学校	大阪市大正区三軒家西1-20-26	1名
69	泉尾東小学校	大阪市大正区千島1-16-16	1名
70	中泉尾小学校	大阪市大正区泉尾3-23-34	1名
71	北恩加島小学校	大阪市大正区泉尾5-17-31	1名
72	南恩加島小学校	大阪市大正区南恩加島3-6-11	1名
73	鶴町小学校	大阪市大正区鶴町2-6-24	1名
74	泉尾北小学校	大阪市大正区泉尾2-21-24	1名
75	平尾小学校	大阪市大正区平尾2-21-28	1名
76	三軒家東小学校	大阪市大正区三軒家東2-12-59	1名
77	小林小学校	大阪市大正区小林東2-4-45	1名
78	真田山小学校	大阪市天王寺区玉造本町14-41	1名
79	味原小学校	大阪市天王寺区味原町8-19	1名
80	桃陽小学校	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-2-23	1名
81	五条小学校	大阪市天王寺区小宮町9-28	1名
82	聖和小学校	大阪市天王寺区寺田町1-6-37	1名
83	大江小学校	大阪市天王寺区四天王寺1-9-18	1名
84	生魂小学校	大阪市天王寺区上汐4-1-25	1名
85	天王寺小学校	大阪市天王寺区大道1-4-49	1名
86	栄小学校	大阪市浪速区浪速東1-1-61	1名
87	難波元町小学校	大阪市浪速区元町1-5-30	1名
88	大国小学校	大阪市浪速区大国1-9-3	1名
89	浪速小学校	大阪市浪速区日本橋西1-7-6	1名
90	敷津小学校	大阪市浪速区敷津東3-9-32	1名
91	塩草立葉小学校	大阪市浪速区塩草1-4-31	1名
92	柏里小学校	大阪市西淀川区柏里2-13-33	1名
93	野里小学校	大阪市西淀川区野里2-21-13	1名
94	姫里小学校	大阪市西淀川区姫里2-8-24	1名
95	姫島小学校	大阪市西淀川区姫島1-10-4	1名
96	福小学校	大阪市西淀川区福町2-5-23	1名
97	大和田小学校	大阪市西淀川区大和田4-3-24	1名
98	川北小学校	大阪市西淀川区中島1-11-20	1名
99	佃小学校	大阪市西淀川区佃1-21-12	1名
100	香簀小学校	大阪市西淀川区御幣島6-5-25	1名
101	歌島小学校	大阪市西淀川区歌島2-5-18	1名
102	出来島小学校	大阪市西淀川区出来島2-2-24	1名
103	佃西小学校	大阪市西淀川区佃2-15-30	1名
104	御幣島小学校	大阪市西淀川区御幣島3-5-5	1名
105	神津小学校	大阪市淀川区十三元今里2-3-12	1名
106	田川小学校	大阪市淀川区田川2-9-37	1名
107	加島小学校	大阪市淀川区加島1-60-28	1名
108	三津屋小学校	大阪市淀川区三津屋中1-4-14	1名
109	新高小学校	大阪市淀川区新高1-15-53	1名
110	野中小学校	大阪市淀川区野中北1-11-26	1名
111	十三小学校	大阪市淀川区十三東4-3-6	1名
112	木川小学校	大阪市淀川区木川東3-7-32	1名
113	三国小学校	大阪市淀川区三国本町3-9-18	1名
114	北中島小学校	大阪市淀川区宮原5-3-4	1名
115	西中島小学校	大阪市淀川区西中島7-14-25	1名
116	塚本小学校	大阪市淀川区塚本3-5-6	1名
117	木川南小学校	大阪市淀川区木川東1-2-36	1名
118	東三国小学校	大阪市淀川区東三国6-3-24	1名
119	西三国小学校	大阪市淀川区西三国1-21-28	1名
120	新東三国小学校	大阪市淀川区東三国3-9-10	1名

121	宮原小学校	大阪市淀川区三国本町1-16-44	1名
122	東淡路小学校	大阪市東淀川区東淡路3-3-32	1名
123	西淡路小学校	大阪市東淀川区西淡路5-5-32	1名
124	菅原小学校	大阪市東淀川区菅原6-3-25	1名
125	新庄小学校	大阪市東淀川区上新庄2-20-5	1名
126	大隅東小学校	大阪市東淀川区瑞光5-8-19	1名
127	豊里小学校	大阪市東淀川区豊里5-14-60	1名
128	啓発小学校	大阪市東淀川区東中島4-8-38	1名
129	小松小学校	大阪市東淀川区小松3-18-15	1名
130	下新庄小学校	大阪市東淀川区下新庄5-2-9	1名
131	井高野小学校	大阪市東淀川区井高野1-28-17	1名
132	大桐小学校	大阪市東淀川区大桐4-1-15	1名
133	豊新小学校	大阪市東淀川区豊新4-17-26	1名
134	東井高野小学校	大阪市東淀川区井高野2-8-28	1名
135	大隅西小学校	大阪市東淀川区大隅2-3-18	1名
136	豊里南小学校	大阪市東淀川区豊里5-12-41	1名
137	大道南小学校	大阪市東淀川区大道南1-23-6	1名
138	東小橋小学校	大阪市東成区東小橋3-10-37	1名
139	大成小学校	大阪市東成区大今里西3-2-62	1名
140	中道小学校	大阪市東成区玉津1-7-39	1名
141	北中道小学校	大阪市東成区中道2-9-20	1名
142	中本小学校	大阪市東成区中本4-2-32	1名
143	東中本小学校	大阪市東成区東中本2-9-3	1名
144	今里小学校	大阪市東成区大今里1-35-29	1名
145	片江小学校	大阪市東成区大今里南2-13-2	1名
146	神路小学校	大阪市東成区大今里4-6-19	1名
147	深江小学校	大阪市東成区深江南1-4-6	1名
148	宝栄小学校	大阪市東成区神路1-15-48	1名
149	北鶴橋小学校	大阪市生野区鶴橋3-4-50	1名
150	御幸森小学校	大阪市生野区桃谷5-5-37	1名
151	鶴橋小学校	大阪市生野区桃谷2-20-32	1名
152	東桃谷小学校	大阪市生野区勝山北3-7-21	1名
153	勝山小学校	大阪市生野区勝山南1-3-5	1名
154	林寺小学校	大阪市生野区林寺2-14-3	1名
155	生野小学校	大阪市生野区舍利寺3-1-39	1名
156	中川小学校	大阪市生野区中川3-4-3	1名
157	東中川小学校	大阪市生野区新今里7-14-37	1名
158	小路小学校	大阪市生野区小路2-24-40	1名
159	東小路小学校	大阪市生野区小路東3-8-15	1名
160	田島小学校	大阪市生野区田島3-7-38	1名
161	舍利寺小学校	大阪市生野区勝山南4-15-25	1名
162	生野南小学校	大阪市生野区林寺6-6-7	1名
163	巽小学校	大阪市生野区巽中3-12-5	1名
164	北巽小学校	大阪市生野区巽北1-30-29	1名
165	西生野小学校	大阪市生野区生野西3-5-7	1名
166	巽南小学校	大阪市生野区巽南2-10-7	1名
167	巽東小学校	大阪市生野区巽東3-8-13	1名
168	清水小学校	大阪市旭区清水5-1-12	1名
169	古市小学校	大阪市旭区森小路2-10-35	1名
170	大宮小学校	大阪市旭区大宮4-9-16	1名
171	高殿小学校	大阪市旭区高殿6-9-10	1名
172	大宮西小学校	大阪市旭区中宮1-8-14	1名
173	生江小学校	大阪市旭区生江1-10-21	1名
174	城北小学校	大阪市旭区赤川3-13-47	1名
175	新森小路小学校	大阪市旭区新森6-3-13	1名
176	太子橋小学校	大阪市旭区太子橋1-12-15	1名
177	高殿南小学校	大阪市旭区高殿3-10-30	1名
178	榎並小学校	大阪市城東区野江4-1-28	1名
179	関目小学校	大阪市城東区関目6-5-5	1名
180	鯉江小学校	大阪市城東区今福西3-9-27	1名
181	今福小学校	大阪市城東区今福南2-1-53	1名

182	聖賢小学校	大阪市城東区新喜多2-4-35	1名
183	嶋野小学校	大阪市城東区嶋野西4-11-48	1名
184	中浜小学校	大阪市城東区中浜2-12-35	1名
185	城東小学校	大阪市城東区嶋野東3-16-41	1名
186	諏訪小学校	大阪市城東区永田2-15-5	1名
187	成育小学校	大阪市城東区成育1-5-19	1名
188	すみれ小学校	大阪市城東区古市2-6-38	1名
189	東中浜小学校	大阪市城東区東中浜5-4-5	1名
190	放出小学校	大阪市城東区放出西2-2-18	1名
191	関目東小学校	大阪市城東区関目4-12-15	1名
192	森之宮小学校	大阪市城東区森之宮1-6-64	1名
193	鯉江東小学校	大阪市城東区今福東1-3-26	1名
194	榎本小学校	大阪市鶴見区今津北1-5-35	1名
195	茨田南小学校	大阪市鶴見区諸口1-3-71	1名
196	茨田北小学校	大阪市鶴見区浜3-8-66	1名
197	鶴見小学校	大阪市鶴見区鶴見4-14-10	1名
198	今津小学校	大阪市鶴見区今津中4-1-48	1名
199	茨田東小学校	大阪市鶴見区茨田大宮3-7-61	1名
200	茨田西小学校	大阪市鶴見区横堤5-13-61	1名
201	横堤小学校	大阪市鶴見区横堤1-11-83	1名
202	みどり小学校	大阪市鶴見区緑2-4-45	1名
203	鶴見南小学校	大阪市鶴見区鶴見2-17-22	1名
204	茨田小学校	大阪市鶴見区安田2-1-8	1名
205	焼野小学校	大阪市鶴見区焼野1-3-44	1名
206	高松小学校	大阪市阿倍野区天王寺町北3-17-19	1名
207	常盤小学校	大阪市阿倍野区松崎町3-11-12	1名
208	常盤小学校分校	大阪市阿倍野区松崎町3-2-9	1名
209	金塚小学校	大阪市阿倍野区旭町3-4-46	1名
210	丸山小学校	大阪市阿倍野区丸山通1-4-43	1名
211	晴明丘小学校	大阪市阿倍野区晴明通10-34	1名
212	阿倍野小学校	大阪市阿倍野区阪南町2-17-21	1名
213	阪南小学校	大阪市阿倍野区阪南町5-7-40	1名
214	長池小学校	大阪市阿倍野区長池町20-26	1名
215	苗代小学校	大阪市阿倍野区阪南町1-26-30	1名
216	晴明丘南小学校	大阪市阿倍野区帝塚山1-23-8	1名
217	粉浜小学校	大阪市住之江区粉浜2-6-6	1名
218	安立小学校	大阪市住之江区住之江1-4-29	1名
219	敷津浦小学校	大阪市住之江区北島2-9-22	1名
220	加賀屋小学校	大阪市住之江区北加賀屋2-5-26	1名
221	住吉川小学校	大阪市住之江区西加賀屋4-1-4	1名
222	北粉浜小学校	大阪市住之江区粉浜1-5-48	1名
223	住之江小学校	大阪市住之江区御崎4-6-43	1名
224	平林小学校	大阪市住之江区平林南2-6-48	1名
225	加賀屋東小学校	大阪市住之江区東加賀屋1-6-25	1名
226	新北島小学校	大阪市住之江区新北島6-2-56	1名
227	南港光小学校	大阪市住之江区南港中4-4-22	1名
228	南港桜小学校	大阪市住之江区南港中5-2-48	1名
229	南港みなみ小学校	大阪市住之江区南港中3-5-14	1名
230	清江小学校	大阪市住之江区御崎5-7-18	1名
231	東粉浜小学校	大阪市住吉区東粉浜2-3-26	1名
232	住吉小学校	大阪市住吉区帝塚山西4-1-35	1名
233	長居小学校	大阪市住吉区長居東3-3-40	1名
234	依羅小学校	大阪市住吉区我孫子4-11-48	1名
235	墨江小学校	大阪市住吉区墨江2-3-46	1名
236	遠里小野小学校	大阪市住吉区遠里小野6-6-27	1名
237	清水丘小学校	大阪市住吉区清水丘2-9-41	1名
238	南住吉小学校	大阪市住吉区南住吉3-5-1	1名
239	大領小学校	大阪市住吉区大領3-3-5	1名
240	苅田小学校	大阪市住吉区苅田3-5-34	1名
241	山之内小学校	大阪市住吉区山之内2-17-39	1名
242	苅田南小学校	大阪市住吉区苅田10-1-35	1名

243	苅田北小学校	大阪市住吉区苅田1-11-39	1名
244	大空小学校	大阪市住吉区我孫子西1-6-12	1名
245	桑津小学校	大阪市東住吉区桑津5-13-13	1名
246	北田辺小学校	大阪市東住吉区北田辺3-11-14	1名
247	田辺小学校	大阪市東住吉区田辺2-3-34	1名
248	東田辺小学校	大阪市東住吉区東田辺2-14-6	1名
249	南田辺小学校	大阪市東住吉区南田辺4-3-4	1名
250	南百済小学校	大阪市東住吉区湯里1-15-40	1名
251	育和小学校	大阪市東住吉区杭全4-10-12	1名
252	鷹合小学校	大阪市東住吉区鷹合3-12-38	1名
253	今川小学校	大阪市東住吉区今川4-24-4	1名
254	矢田小学校	大阪市東住吉区矢田3-4-27	1名
255	矢田東小学校	大阪市東住吉区住道矢田2-7-43	1名
256	矢田西小学校	大阪市東住吉区公園南矢田2-15-43	1名
257	矢田北小学校	大阪市東住吉区照ヶ丘矢田2-1-55	1名
258	湯里小学校	大阪市東住吉区湯里6-8-3	1名
259	長谷川小学校	柏原市円明町3-15	1名
260	喜連小学校	大阪市平野区喜連7-6-4	1名
261	平野西小学校	大阪市平野区背戸口4-1-31	1名
262	平野小学校	大阪市平野区平野宮町1-9-29	1名
263	長吉小学校	大阪市平野区長吉長原2-6-55	1名
264	瓜破小学校	大阪市平野区瓜破5-3-11	1名
265	加美小学校	大阪市平野区加美正覚寺3-13-35	1名
266	加美南部小学校	大阪市平野区加美南1-9-17	1名
267	平野南小学校	大阪市平野区平野南2-3-8	1名
268	長吉東小学校	大阪市平野区長吉出戸8-8-41	1名
269	喜連西小学校	大阪市平野区喜連西3-17-61	1名
270	長吉南小学校	大阪市平野区長吉六反3-2-17	1名
271	瓜破北小学校	大阪市平野区瓜破1-8-33	1名
272	長原小学校	大阪市平野区長吉長原東3-10-9	1名
273	喜連東小学校	大阪市平野区喜連東2-2-17	1名
274	瓜破東小学校	大阪市平野区瓜破東2-5-78	1名
275	加美北小学校	大阪市平野区加美北7-4-10	1名
276	長吉出戸小学校	大阪市平野区長吉出戸3-1-43	1名
277	瓜破西小学校	大阪市平野区瓜破西2-1-43	1名
278	喜連北小学校	大阪市平野区喜連1-7-4	1名
279	加美東小学校	大阪市平野区加美東5-9-25	1名
280	川辺小学校	大阪市平野区長吉川辺1-4-9	1名
281	新平野西小学校	大阪市平野区背戸口1-5-22	1名
282	天下茶屋小学校	大阪市西成区聖天下1-11-35	1名
283	岸里小学校	大阪市西成区千本中1-8-22	1名
284	玉出小学校	大阪市西成区玉出中2-13-48	1名
285	千本小学校	大阪市西成区千本中2-8-8	1名
286	橘小学校	大阪市西成区橘2-1-29	1名
287	梅南津守小学校	大阪市西成区梅南3-2-25	1名
288	松之宮小学校	大阪市西成区旭3-5-39	1名
289	長橋小学校	大阪市西成区長橋2-3-21	1名
290	北津守小学校	大阪市西成区北津守3-3-40	1名
291	南津守小学校	大阪市西成区南津守6-1-14	1名
292	新今宮小学校	大阪市西成区花園北1-8-32	1名

大阪市立中学校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	天満中学校	大阪市北区神山町12-9	2名
2	北稜中学校	大阪市北区天満橋1-1-58	2名
3	大淀中学校	大阪市北区大淀中2-1-11	2名
4	豊崎中学校	大阪市北区本庄東3-4-8	2名
5	新豊崎中学校	大阪市北区長柄東2-2-30	2名
6	弘済中学校	吹田市古江台6-2-2	2名
7	弘済中学校分校	高槻市奈佐原956	2名
8	高倉中学校	大阪市都島区御幸町1-1-10	2名
9	桜宮中学校	大阪市都島区東野田町5-16-10	2名
10	都島中学校	大阪市都島区中野町3-9-33	2名
11	淀川中学校	大阪市都島区毛馬町3-5-12	2名
12	友渕中学校	大阪市都島区友渕町1-5-151	2名
13	八阪中学校	大阪市福島区鷺洲6-1-13	2名
14	下福島中学校	大阪市福島区玉川1-4-11	2名
15	野田中学校	大阪市福島区吉野5-9-4	2名
16	春日出中学校	大阪市此花区春日出南1-2-8	2名
17	梅香中学校	大阪市此花区春日出北3-12-24	2名
18	此花中学校	大阪市此花区高見2-14-31	2名
19	咲くやこの花中学校	大阪市此花区西九条6-1-44	2名
20	東中学校	大阪市中央区大手前4-1-5	2名
21	南中学校	大阪市中央区島之内1-10-23	2名
22	上町中学校	大阪市中央区上本町西3-2-30	2名
23	西中学校	大阪市西区千代崎3-1-43	2名
24	花乃井中学校	大阪市西区江戸堀2-8-29	2名
25	堀江中学校	大阪市西区南堀江3-5-7	2名
26	市岡中学校	大阪市港区磯路1-5-21	2名
27	港中学校	大阪市港区池島1-5-35	2名
28	港南中学校	大阪市港区三先1-5-28	2名
29	市岡東中学校	大阪市港区市岡元町3-2-18	2名
30	築港中学校	大阪市港区築港1-2-41	2名
31	大正東中学校	大阪市大正区三軒家東4-4-30	2名
32	大正中央中学校	大阪市大正区小林東3-23-5	2名
33	大正西中学校	大阪市大正区南恩加島6-14-37	2名
34	大正北中学校	大阪市大正区北村3-1-1	2名
35	天王寺中学校	大阪市天王寺区北河堀町6-20	2名
36	夕陽丘中学校	大阪市天王寺区小宮町6-28	2名
37	高津中学校	大阪市天王寺区城南寺町1-31	2名
38	難波中学校	大阪市浪速区塩草1-1-59	2名
39	日本橋中学校	大阪市浪速区日本橋西1-7-6	2名
40	木津中学校	大阪市浪速区戎本町1-3-46	2名
41	淀中学校	大阪市西淀川区大和田6-13-6	2名
42	西淀中学校	大阪市西淀川区姫島6-10-5	2名
43	歌島中学校	大阪市西淀川区歌島2-11-9	2名
44	佃中学校	大阪市西淀川区佃2-15-93	2名
45	十三中学校	大阪市淀川区十三東5-1-27	2名
46	新北野中学校	大阪市淀川区新北野2-13-37	2名
47	三国中学校	大阪市淀川区西三国2-5-24	2名
48	美津島中学校	大阪市淀川区加島1-54-41	2名
49	東三国中学校	大阪市淀川区東三国6-3-68	2名
50	宮原中学校	大阪市淀川区西宮原3-3-2	2名
51	淡路中学校	大阪市東淀川区西淡路4-25-53	2名
52	柴島中学校	大阪市東淀川区柴島2-8-36	2名
53	瑞光中学校	大阪市東淀川区瑞光4-9-37	2名
54	中島中学校	大阪市東淀川区東中島4-8-38	2名
55	東淀中学校	大阪市東淀川区豊里6-25-19	2名
56	井高野中学校	大阪市東淀川区井高野2-8-13	2名
57	新東淀中学校	大阪市東淀川区豊里1-10-32	2名

58	大桐中学校	大阪市東淀川区大桐4-5-8	2名
59	東陽中学校	大阪市東成区深江北2-5-7	2名
60	本庄中学校	大阪市東成区東中本3-14-2	2名
61	玉津中学校	大阪市東成区玉津1-12-36	2名
62	相生中学校	大阪市東成区神路2-8-16	2名
63	大池中学校	大阪市生野区中川6-3-6	2名
64	桃谷中学校	大阪市生野区勝山北3-13-44	2名
65	生野中学校	大阪市生野区生野西3-5-40	2名
66	東生野中学校	大阪市生野区新今里7-9-25	2名
67	田島中学校	大阪市生野区田島5-23-7	2名
68	巽中学校	大阪市生野区巽中3-17-20	2名
69	新生野中学校	大阪市生野区巽東3-3-12	2名
70	新巽中学校	大阪市生野区巽南4-2-53	2名
71	旭陽中学校	大阪市旭区高殿5-9-31	2名
72	大宮中学校	大阪市旭区中宮4-7-11	2名
73	旭東中学校	大阪市旭区新森6-7-25	2名
74	今市中学校	大阪市旭区大宮5-13-40	2名
75	放出中学校	大阪市城東区放出西3-12-10	2名
76	蒲生中学校	大阪市城東区中央3-9-24	2名
77	城陽中学校	大阪市城東区嶋野西3-3-64	2名
78	董中学校	大阪市城東区古市1-18-4	2名
79	城東中学校	大阪市城東区永田3-3-58	2名
80	鯉江中学校	大阪市城東区今福西4-7-20	2名
81	茨田中学校	大阪市鶴見区諸口3-4-44	2名
82	緑中学校	大阪市鶴見区鶴見6-6-11	2名
83	茨田北中学校	大阪市鶴見区茨田大宮1-1-31	2名
84	今津中学校	大阪市鶴見区今津中1-3-55	2名
85	横堤中学校	大阪市鶴見区横堤1-11-27	2名
86	昭和中学校	大阪市阿倍野区桃ヶ池町2-3-17	2名
87	文の里中学校	大阪市阿倍野区美章園1-5-52	2名
88	阪南中学校	大阪市阿倍野区北畠1-16-24	2名
89	松虫中学校	大阪市阿倍野区松虫通3-4-45	2名
90	阿倍野中学校	大阪市阿倍野区昭和町3-2-4	2名
91	住吉第一中学校	大阪市住之江区粉浜西1-5-11	2名
92	加賀屋中学校	大阪市住之江区西加賀屋2-9-20	2名
93	住之江中学校	大阪市住之江区御崎8-1-6	2名
94	新北島中学校	大阪市住之江区新北島8-2-46	2名
95	南港北中学校	大阪市住之江区南港中4-3-39	2名
96	南港南中学校	大阪市住之江区南港中3-5-14	2名
97	真住中学校	大阪市住之江区御崎2-2-32	2名
98	水都国際中学校	大阪市住之江区南港中3-7-13	2名
99	三稜中学校	大阪市住吉区干駄1-5-22	2名
100	我孫子中学校	大阪市住吉区我孫子東1-4-32	2名
101	住吉中学校	大阪市住吉区帝塚山西3-5-6	2名
102	大和川中学校	大阪市住吉区遠里小野2-11-4	2名
103	東我孫子中学校	大阪市住吉区苅田1-16-2	2名
104	墨江丘中学校	大阪市住吉区墨江4-15-34	2名
105	大領中学校	大阪市住吉区大領4-3-25	2名
106	我孫子南中学校	大阪市住吉区浅香1-8-55	2名
107	田辺中学校	大阪市東住吉区南田辺4-7-24	2名
108	東住吉中学校	大阪市東住吉区桑津5-17-25	2名
109	中野中学校	大阪市東住吉区中野4-4-25	2名
110	矢田中学校	大阪市東住吉区住道矢田9-7-55	2名
111	白鷺中学校	大阪市東住吉区今川1-2-21	2名
112	矢田南中学校	大阪市東住吉区矢田3-4-27	2名
113	矢田西中学校	大阪市東住吉区公園南矢田2-12-47	2名
114	長谷川中学校	柏原市円明町3-15	2名
115	摂陽中学校	大阪市平野区平野西3-4-7	2名
116	平野中学校	大阪市平野区背戸口1-16-26	2名

117	長吉中学校	大阪市平野区長吉長原東1-6-15	2名
118	瓜破中学校	大阪市平野区瓜破2-5-31	2名
119	加美中学校	大阪市平野区加美正覚寺3-13-46	2名
120	長吉西中学校	大阪市平野区長吉長原西3-8-21	2名
121	喜連中学校	大阪市平野区喜連西6-2-11	2名
122	長吉六反中学校	大阪市平野区長吉六反4-9-61	2名
123	瓜破西中学校	大阪市平野区瓜破西2-12-22	2名
124	加美南中学校	大阪市平野区加美南1-10-15	2名
125	平野北中学校	大阪市平野区平野宮町1-8-55	2名
126	天下茶屋中学校	大阪市西成区橘1-8-2	2名
127	今宮中学校	大阪市西成区花園北1-8-32	2名
128	成南中学校	大阪市西成区千本中1-17-10	2名
129	鶴見橋中学校	大阪市西成区長橋3-9-23	2名
130	玉出中学校	大阪市西成区玉出西1-15-37	2名
131	梅南中学校	大阪市西成区梅南3-3-17	2名

大阪市立高校一覧

No.	学校名	所在地	受け入れ可能人数
1	大阪市立桜宮高等学校	大阪市都島区毛馬町5-22-28	2名
2	大阪市立東高等学校	大阪市都島区東野田町4-15-14	2名
3	大阪市立南高等学校	大阪市中央区谷町6-17-32	2名
4	大阪市立西高等学校	大阪市西区北堀江4-7-1	2名
5	大阪市立汎愛高等学校	大阪市鶴見区今津中2-1-52	2名
6	大阪市立高等学校	枚方市北中振2-8-1	2名
7	大阪市立淀商業高等学校	大阪市西淀川区野里3-3-15	2名
8	大阪市立鶴見商業高等学校	大阪市鶴見区緑2-10-9	2名
9	大阪市立住吉商業高等学校	大阪市住之江区御崎7-12-55	2名
10	大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校	大阪市天王寺区烏ヶ辻2-9-26	2名
11	大阪市立水都国際高等学校	大阪市住之江区南港中3-7-13	2名
12	大阪市立都島工業高等学校	大阪市都島区善源寺町1-5-64	2名
13	大阪市立泉尾工業高等学校	大阪市大正区泉尾5-16-7	2名
14	大阪市立東淀工業高等学校	大阪市淀川区加島1-52-81	2名
15	大阪市立生野工業高等学校	大阪市生野区生野東2-3-66	2名
16	大阪市立工芸高等学校	大阪市阿倍野区文の里1-7-2	2名
17	大阪市立扇町総合高等学校	大阪市北区松ヶ枝町1-38	2名
18	大阪市立咲くやこの花高等学校	大阪市此花区西九条6-1-44	2名
19	大阪市立中央高等学校	大阪市中央区釣鐘町1-1-5	2名

資料6 実習科目と単位との関係

表 実践看護科学コースにおける実習科目と実習単位

授業科目名		履修年次								備考
		1年		2年		3年		4年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
実践看護科学コース	早期体験実習		1							2コース共通
	基礎看護学実習				2					
	急性看護学実習							3		
	慢性看護学実習							3		
	老年看護学実習							3		
	精神看護学実習							2		
	在宅看護学実習							2		
	地域看護学実習							1		
	母性看護学実習							2		
	小児看護学実習							2		
	総合実習							2		
合計		23単位								

表 先進ケア科学コースにおける実習科目と実習単位

授業科目名		履修年次								備考
		1年		2年		3年		4年		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
先進 ケ ア 科 学 コ ー ス	早期体験実習		1							2コース共通
	生活行動ケア基本実習				2					
	臨床療養支援看護学実習					3				
	臨床健康危機看護学実習					3				
	精神行動看護学実習						2			
	高齢者ウェルネス実習				1					
	高齢者ケアシステム実習						2			
	生活行動ケア応用実習							1		
	ウィメンズヘルスケア実習						2			
	子ども・家族看護過程実習						2			
	訪問看護過程実習							1		
	地域包括ケア実習								1	
ケアシステム科学実習							2			
合計		23単位								

資料7 実習の概要

表 実践看護学コースの主な実習内容

実習の段階	実習科目
第一段階(1年次) 1年次における実習は、看護の対象となる人と、その人をめぐる環境への理解を深め、医療・保健・介護・福祉施設の見学を通して看護の実際を体験的に学び、看護の果たす機能と役割を理解し、看護を学ぶ動機となる実習を配置している。	「早期体験実習」
第二段階(2年次) 2年次における実習は、病院に入院する患者を受け持ち、対象者との対人関係を築きながら、対象を総合的に理解し、日常生活の援助を中心に看護過程を段階的に進めていくことを通して、看護実践の基礎的能力を養う実習を配置している。	「基礎看護学実習」
第三段階(3年次後期から4年次前期) 3年次における実習は、看護を必要とする様々なライフサイクルにある対象、様々な健康レベルにある対象、様々な生活の場における対象などの状況にあわせた看護実践の基礎的能力を養うために看護専門分野別の実習を配置している。	「急性看護学実習」 「慢性看護学実習」 「老年看護学実習」 「精神看護学実習」 「在宅看護学実習」 「地域看護学実習」 「母性看護学実習」 「小児看護学実習」
第四段階(4年次前期) 4年次における実習は、これまでに学んだ専門領域での実習を踏まえ、実務に即した実習を行うことで看護技術の総合的な評価を行う内容とする。加えてチーム医療及び他職種との共同の中で、看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する内容を学ぶ。関心のある看護専門分野において、保健、医療、福祉、教育、地域におけるヒューマンサービスを提供する人々との連携を通じて、看護をマネジメントできる基礎的能力を養うための実習を配置した。	「総合実習」

表 先進ケア科学コースの主な実習内容

実習の段階	実習科目
第一段階(1年次) 1年次における実習は、看護の対象となる人と、その人をめぐる環境への理解を深め、医療・保健・介護・福祉施設の見学を通して看護の実際を体験的に学び、看護の果たす機能と役割を理解し、看護を学ぶ動機となる実習を配置している。	「早期体験実習」
第二段階(2年次) 2年次における実習は、病院に入院する患者や地域で生活する対象者と関わり、対象理解の基本的な方法やケアの基盤を学ぶ実習を配置している。	「生活行動ケア基本実習」 「高齢者ウェルネス実習」
第三段階(3年次) 3年次における実習は、看護を必要とする様々なライフサイクルにある人の多様な健康上の課題に応じた支援の方法について、生体行動ケア科学やケアシステム科学の視点から対応する演習科目と組み合わせながら実践知を習得できるよう、専門領域別の実習を配置している。	「臨床療養支援看護学実習」 「臨床健康危機看護学実習」 「精神行動看護学実習」 「高齢者ケアシステム実習」 「ウィメンズヘルスケア実習」 「子ども・家族看護過程実習」
第四段階(4年次) 4年次における実習は、これまでに学んだ知見を活用・応用して看護を展開できるよう、3年次までの基礎的な実習を基盤にした発展的な実習を配置している。	「生活行動ケア応用実習」 「訪問看護過程実習」 「地域包括ケア実習」 「ケアシステム科学実習」

資料 8 各実習科目の実習内容

I. 学部共通

1. 早期体験実習

【概要】

看護の対象となる「人」と、その人をめぐる「環境」への理解を深め、医療・保健・介護・福祉施設の見学を通して看護の実際を体験的に学ぶ実習である。そこで働く看護職及び他職種によるケアの実際を知ることにより、医療・保健・介護・福祉の場において看護の果たす機能と役割を理解し、看護を学ぶ動機となるよう学習を進める。

【到達目標】

- ① 医療・保健・介護・福祉の場と、そこに働く看護職者および他職種によるケアの実際を説明できる。
- ② 「人」を身体的・心理的・社会的・文化的側面から説明できる。
- ③ 「環境」が「健康」に及ぼす影響について、安全・安楽・自立の視点から説明できる。
- ④ 看護職を目指す学生として適切な態度で実習に臨むことができる。
- ⑤ 看護の果たす機能と役割を理解し、自らの課題を見出すことができる。

II. 実践看護科学コース

1. 基礎看護学実習

【概要】

対象者との対人関係を築きながら、対象者を総合的に理解し、日常生活の援助を中心に看護過程を段階的に進めていくことを通して、看護実践の基礎的能力を養う科目である。

【到達目標】

- ① 看護師が、対象者と対人関係を築きながら、対象者を総合的に理解し、日常生活の援助を実践している実際を把握することができる。
- ② 看護職者として対象者との対人関係を築くことができる。
- ③ 対象者を総合的にアセスメントできる。
- ④ 描いた全体像から、対象者に必要な具体的な看護を導き出すことができる。
- ⑤ 対象者に必要とされる看護を実践することができる。
- ⑥ 看護の実際を通して、実践した看護を評価し、看護に対する自らの考えを明らかにすることができる。
- ⑦ 主体的に実習に取り組み、実習生としての責任を果たすことができる。

2. 急性看護学実習

【概要】

急性期にある患者とその家族への看護を実践する基礎能力を養う科目である。臨地実習において手術を体験する患者とその家族を対象に外科的侵襲に伴う著しい変化と心身両面の回復や社会生活への適応についての諸問題を理解する。また、患者と看護者の援助関係を基盤に、系統的アプローチによって、

QOL の充実に向けて、患者及び家族が療養生活に主体的に取り組めるよう援助を行うことを目的とする。

【到達目標】

- ① 手術を受ける患者の全体像および器質的・機能的障害を理解し、身体症状に対応した援助を行う。
- ② 手術・麻酔を受ける患者への身体的影響を予測し、術後合併症へ対処できるよう援助を行う。
- ③ 手術・麻酔を受けるという体験が患者およびその家族に及ぼしている心理・社会的影響を理解した援助を行う。
- ④ 手術室での患者への処置治療内容および経過を理解し、患者への援助を行う。
- ⑤ 術後に生じている器質的・機能的変化とその要因を理解し、身体症状に対応した援助を行う。
- ⑥ 術後に生じている日常生活の規制について理解し、それに対応した援助を行う。
- ⑦ 術後の患者およびその家族の心理・社会的状態を理解し、その状態に対応した援助を行う。
- ⑧ 術後の検査、治療、処置について理解し、患者への援助および診療の補助を行う。
- ⑨ 術後の患者およびその家族が退院後の生活に適応していく上での問題を予測し、問題へ対処できるように援助を行う。

3. 慢性看護学実習

【概要】

生涯にわたり疾病のコントロールを必要とする対象の課題解決のために、科学的根拠に基づく適切な判断のもとに看護を実践する力を培う科目である。生涯にわたり疾病のコントロールを必要とする患者と家族を対象に、健康レベルに応じて、健康上の諸問題について実践的に学ぶ。慢性病患者や家族と看護者の援助関係を基盤に系統的アプローチによって、心身両面の回復や社会生活への適応、QOL の充実に向けて、患者と家族が療養生活に主体的に取り組めるよう援助を行い、看護を実践する基礎能力を養う。

【到達目標】

- ① 慢性病患者の身体的・心理的・社会的状態をとらえ、健康レベルを説明できる。
- ② 慢性病患者および家族を総合的にアセスメントし、患者および家族が主体的に療養生活を送ることができるよう個別性にあわせて看護計画を立案できる。
- ③ 慢性病患者および家族と援助関係を築くことができる。
- ④ 心身両面の回復や社会生活への適応、QOL の充実に向けて、慢性病患者と家族が療養生活に主体的に取り組めるように、看護計画に基づいて援助できる。
- ⑤ 実践した援助の結果に基づいて看護計画を評価し、修正できる。
- ⑥ 看護職者としての責務を果たすために必要な態度で行動できる。

4. 老年看護学実習

【概要】

高齢者の総合的な理解に基づく看護実践を通して、その人らしい生活の実現に向けた看護のあり方を考察することを目的とする。

老年看護学基盤論、老年看護学支援論、老年看護学支援論演習で学んだ知識、技術を実践の場で適用し、受け持ち高齢者の個別的なニーズのアセスメント、安全・安楽な看護実践とその評価という一連の看護過程を展開する。また介護老人保健施設や、小規模多機能型居宅介護や認知症対応型通所介護の場

などでの専門職間の連携の学びから、看護職の役割を考察する。

【到達目標】

- ① 加齢に伴う身体的、心理・社会的な変化を踏まえた総合的な理解に基づき、高齢者の全体像を説明できる。
- ② 疾病や障がいを持ちながら生活する高齢者と良好な援助関係を構築できる。
- ③ 疾病や障がいを持つ高齢者がその人らしく生活できるよう看護過程を展開できる。
- ④ 地域のさまざまな場で生活する高齢者を支援する看護職の役割について説明できる。
- ⑤ 地域で生活する高齢者が利用可能な社会資源や専門職間の連携について説明できる。
- ⑥ 倫理的配慮に基づいた看護を実践できる。
- ⑦ 自ら課題を見出し、主体的に実習に取り組むことができる。

5. 精神看護学実習

【概要】

精神疾患を持つ対象と援助関係を構築し、対象を理解する視点を学び、必要な看護を実践する能力を養う。そのために精神科病棟に入院する対象と援助関係を築き、看護過程を展開して対象を理解して必要な看護実践を行う。対象の退院と地域生活を促進するために必要な看護と多職種チーム医療についても理解する。また、精神疾患のある対象が体験する倫理的な問題を捉え、その解決のために看護師ができる支援について検討する。

【到達目標】

- ① 精神疾患を持つ患者と援助関係を構築できる。
- ② 精神疾患を持つ患者に、看護過程を展開して、看護実践を行うことができる。
- ③ 精神疾患を持つ患者の退院支援あるいは地域生活を促進する看護計画を立案できる。また患者の地域生活を促進するための多職種チーム医療について説明できる。
- ④ 精神疾患を持つ患者を取り巻く倫理的問題と看護師としてできる支援について説明できる。

6. 在宅看護学実習

【概要】

訪問看護ステーションの訪問看護師等との同行訪問を通して、在宅療養者とその家族の生活や思いを理解するとともに、それを尊重した看護を展開する。また、地域包括ケアシステムにおける多様な場で生活をする人々への切れ目のない看護を学び、チームの一員としての看護職の役割や多職種連携・協働について理解を深める。

【到達目標】

- ① 在宅療養者とその家族の療養生活における健康上の課題、および生活について説明できる。
- ② 在宅療養者とその家族へ根拠に基づいた一連の看護過程を展開できる。
- ③ 地域包括ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護師の役割について説明できる。
- ④ 地域包括ケアシステムにおける関係機関・多職種との連携・協働およびケアマネジメント機能について説明できる。

7. 地域看護学実習

【概要】

地域で生活する人々への保健・福祉活動が地域において、どのようなケアシステムの中で行なわれているのかを理解し、地域のケアシステムを体系的にとらえる能力を養うことを目的とする。実習では地域における保健福祉関連施設にて施設の機能、専門職の役割を学ぶとともに、地域に出向き地域特性や地域の社会資源について理解を深め、地域のヘルスケアシステムの実際について考える。

【到達目標】

- 1) 地域で生活する人々への保健・福祉活動について説明できる。
 - ① 実習施設を利用する対象者の生活実態を把握できる。
 - ② 実習施設の機能と役割を理解し、そこで行われている保健・福祉活動が説明できる。
- 2) 実習施設のある地域の特性を把握し、利用できる社会資源について説明できる。
 - ① 実習施設近隣地域の地区探索を行い、実習地域の特性について把握できる。
 - ② ライフサイクルに応じて、さまざまな対象者が地域で利用できる社会資源（制度、施設）及びその利用方法について説明できる。
- 3) 実習地域における社会資源や保健・福祉機関の活動から、地域のヘルスケアシステムについて考えることができる。

8. 母性看護学実習

【概要】

マタニティサイクルにあるローリスク母子とその家族を受け持ち、母性看護学の知識と技術を統合して、看護診断、計画、実施、評価を実践できる能力を養う。看護実践を通して、女性や家族にとっての出産の意味、周産期医療の倫理的課題、母性・父性・親性について考察し理解を深める。

【到達目標】

- ① 周産期の母子とその家族の身体的・心理的・社会的特性をウェルネスの視点でとらえ、母性看護学の知識と技術を統合して全体像を説明できる。
- ② 対象者の個性性をふまえて看護過程を展開し、必要な看護支援を実施できる。
- ③ 家族の特徴を踏まえ、新しく形成される家族を支えるための看護を理解し、多職種との連携・協働について説明できる。
- ④ 看護の受け手を中心とする視点を持ち、周産期の看護援助における倫理的配慮の実際について説明できる。

9. 小児看護学実習

【概要】

健康状態が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、彼らが生き生きとした生活を送るために必要な基礎的な看護実践能力を培う科目である。

【到達目標】

- ① 子どもの成長発達を捉えることができる。

- ② 子どもや家族との関係性を築くことができる。
- ③ 子どもと家族の健康問題に対する看護を実践できる。
- ④ 子どもと家族の社会資源について説明できる。
- ⑤ 支援チームの協働・連携の実際を学び、療養の場の特性に応じた小児看護の役割について考察できる。

10. 総合実習

【概要】

専門分野での実習を踏まえ、実務に即した実習を行なうことで、看護技術の総合的な評価を行う内容とする。加えてチーム医療及び他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する内容を学ぶ。関心のある看護専門分野において、保健、医療、福祉、教育、地域におけるヒューマンサービスを提供する人々との連携を通して、看護をマネジメントできる基礎的な能力を養うことを目的とする科目である。

【到達目標】

- ① 看護職のメンバーおよびリーダーの役割・責任を把握できる。
- ② 他職種および他機関との協働または連携について説明できる。
- ③ 組織の中で、実務に即して看護を実践する方法を学ぶことができる。

II. 先進ケア科学コース

1. 生活行動ケア基本実習

【概要】

医療機関において療養生活を送る患者を受け持ち、対象に必要な援助を判断し実践することをおして、対象を全人的に理解することやケアのあり方について理解を深める。また、本実習で人・健康・環境・看護について思考を深めることをとおして看護に対する自らの観点を探究する。

【到達目標】

- ① 既習科目（生活行動ケア論、生活行動ケア基本演習、フィジカルアセスメント）の学習内容を統合して受け持ち患者のケア・シンキング・プロセスを展開する。
- ② 入院生活を送る患者の看護問題の解決に向けて、データ収集からデータの情報化、課題分析を経て、看護計画を立案する。
- ③ 看護計画にもとづいて、受け持ち患者に日常生活援助を適切に実施する。
- ④ 医療チームの連携の必要性を理解し、チームにおける看護の機能と役割について述べる。
- ⑤ 医療チームの成員である看護学生として適切な行動をする。

2. 臨床療養支援看護学実習

【概要】

慢性疾患を持ち生涯にわたり疾病のコントロールを必要とする患者および家族の特徴を理解し、看護過程をとおして患者と家族が療養生活を継続できるよう支援するための基本的な看護実践能力を養う。外来において提供される看護の概要を理解・体験し、継続治療における看護の役割を学ぶ。

【到達目標】

・病棟実習

- ① 患者および家族に積極的な関心を持ち援助関係が築ける。
- ② 患者の発達段階の特徴と、日常生活が療養行動に与える影響について理解し、説明できる。
- ③ 看護を展開する上で必要な情報を収集し、計画を立案できる。
- ④ 看護計画に基づき患者の反応を確認しながら看護問題を解決するための援助が実施できる。
- ⑤ 実施した看護を要約し、治療を継続していく上での課題が明らかにできる。
- ⑥ 患者および家族の権利擁護について考え、看護専門職者の役割が理解し、説明できる。

・外来実習

- ① 慢性看護における外来看護の役割を体験する。
- ② 通院治療を受ける患者や家族の特徴を（身体的、心理的、社会的）知り、説明できる。

3. 臨床健康危機看護学実習

【概要】

健康危機を引き起こしやすい（引き起こしている）病態にある対象（以後患者とする）を看護の視点でとらえ看護を実践するために必要な基礎的能力を養う。主に悪性新生物の手術療法・化学療法・放射線療法等を受ける対象を成人期のライフサイクルの特徴をふまえて理解し、「看護過程」の展開をととして、患者に固有の看護上の問題を解決する手法の基礎を実践的に学ぶとともに、心身の危機的状況下から生活機能の回復、社会復帰に至るまでの患者の生活変容や再構築の過程を整えるために必要な看護ケアを、対象の状況に応じて判断・選択して実施するための基礎的能力を養う。併せて、看護者としての自己の役割を考えるとともに、悪性新生物の手術療法・化学療法・放射線療法等の看護に関連する多職種の専門性の理解と看護の連携システムを考える。

【到達目標】

- ① 受け持ち患者の身体的・心理的・社会的側面の情報を整理できる。
- ② 受け持ち患者および周囲の人々に対して、看護に必要な観察とコミュニケーションを用い、人間関係を主体的に成立させることができる。
- ③ 受け持ち患者に対して個別性を重視した看護過程を展開する。
- ④ 手術療法・化学療法・放射線療法（特に周手術期）に特有な援助技術がわかり、指導者の指導の下で適切に実践できる。
- ⑤ 受け持ち患者の重要他者（家族等）の価値観や家族内役割を理解し必要な家族援助を指導者の指導の下で適切に実施できる。
- ⑥ 健康危機状態にある患者への看護実践や医療行為の見学（中央手術部・集中治療部・救急部等）を通して、健康危機の病態および改善のための医療・看護の場の特殊性を説明できる。
- ⑦ 手術療法・化学療法・放射線療法（特に周手術期）に伴う援助体験・見学を通して、患者を中心とした医療チームメンバーの役割と連携について説明できる。
- ⑧ 看護を学ぶ学生として自らの課題をもち積極的に学ぶことができる。

4. 精神行動看護学実習

【概要】

精神疾患をもつ人を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解するとともに、良好な治療的關係

を構築し、セルフケアニーズに基づく看護を実践するための基礎を培う。

【到達目標】

- ① 精神疾患をもつ人を身体的・精神的・社会的側面から総合的に捉えアセスメントできる。
 - ・精神疾患をもつ人を理解するために必要な情報を収集できる。
 - ・精神疾患をもつ人が抱える疾患およびその治療内容を説明できる。
 - ・精神疾患をもつ人の精神状態および症状を述べることができる。
 - ・精神疾患をもつ人の生活史について述べることができる。
 - ・精神疾患をもつ人を取り巻く環境を説明できる。
 - ・精神疾患をもつ人のストレングスを具体的に述べることができる。
 - ・精神疾患をもつ人および家族が抱える日常生活上の困難を具体的に述べることができる。
 - ・精神疾患をもつ人のセルフケアニーズを予測するできる。
- ② 精神疾患をもつ人と共に行動し、良好な治療的関係を構築できる。
 - ・精神疾患をもつ人と適切な心理的距離を保ちながら参与観察できる。
 - ・精神疾患をもつ人との関わりの中で、言語的・非言語的コミュニケーション技術を活用できる。
 - ・精神疾患をもつ人との関わりの中で生じる自己の感情に気づき、言語化することができる。
- ③ 精神保健・医療・福祉専門職の役割機能の概要を理解し、説明できる。
 - ・精神科における他職種 of 役割・機能を述べることができる。
 - ・精神科における看護職の果たす役割・機能の現状と発展可能性を具体的に述べることができる。
 - ・精神疾患をもつ人の地域生活を支える施設の機能を述べることができる。

5. 高齢者ウェルネス実習

【概要】

地域における様々な場で、そこに集う高齢者との関わりを通して、高齢者の健康状態や生活状況を知り、高齢者にとってのウェルネスについて考察することを目的とする。

【到達目標】

- ① 地域における高齢者の集いの場を知り、活動目的や活動内容を説明できる。
- ② 活動に参加し、そこに集う高齢者とコミュニケーションを図ることができる。
- ③ 高齢者の健康状態や生活状況を説明できる。
- ④ 関わりを持った高齢者の情報と国内外のケアデータに基づき、高齢者にとってのウェルネスについて考察できる。

6. 高齢者ケアシステム実習

【概要】

高齢者施設を含め、地域で生活する高齢者の多様性を理解するとともに、シームレスな高齢者ケアを目指した多職種連携の基盤を養うことを目的とする。

【到達目標】

- ① 高齢者の身体的特徴や認知機能に合わせた方法でコミュニケーションを図ることができる。
- ② 高齢者の生活状況と身体機能、認知機能、社会活動等を知るためのインタビューを実施できる。

- ③ 退院調整や認知症診断のプロセス、高齢者を中心としたケアシステムの実際を説明できる。
- ④ 在宅、施設、病院などにおいて高齢者ケアを担う多職種と関わり、連携の具体的方法を説明できる。
- ⑤ 実習経験を通して地域で生活する高齢者の多様性とシームレスな高齢者ケアについて考察できる。

7. 生活行動ケア応用実習

【概要】

主に施設で暮らす高齢者の生活の活性化を目指したアクティビティ・ケアと環境調整を実施することを目的とする。

【到達目標】

- ① 高齢者の健康状態、生活行動とそれに影響する生活環境を分析できる。
- ② 高齢者へのアクティビティ・ケアを企画・実施できる。
- ③ 受け持ち高齢者の生活環境の評価に基づいて環境調整を実施できる。
- ④ 実施したケアについて高齢者の反応を根拠にケアの効果を評価する。
- ⑤ 高齢者の生活ケアの課題を考察する。

8. ウィメンズヘルスケア実習

【概要】

妊娠期、分娩期、産褥期にある妊産褥婦と胎児・新生児にかかわることによって、その生理的変化や母性心理の変化の実際を理解し、これらの変化に対応する周産期ケア・看護を学ぶことを目的とする。

ウィメンズヘルス活動論や周産期ケア演習にて習得した手法を用いて妊娠・分娩・産褥期ならびに新生児期に必要な看護の基本展開をウェルネスの視点で学び、退院後も母児が家族とともに健やかに過ごすためのヘルスプロモーションの重要性と保健指導方法について理解を深め、ウェルネスを促進する看護実践の基礎力を養う。周産期の母子とその家族に必要な切れ目のないケアの実際から、その必要性を理解する。また、治療が必要な新生児とその家族のための家族中心のケアの必要性についても理解する。

【到達目標】

- ① 妊婦（胎児を含む）・産婦・褥婦および新生児の健康状態をアセスメントし、母子の健康状態の維持・促進を図る看護計画を立案することができる。
- ② 対象者との信頼関係を築きつつ、妊婦（胎児を含む）・産婦・褥婦および新生児への基本的な看護ケアを安全に実践することができる。
- ③ 周産期における母子相互作用や家族関係の形成・発達における援助の重要性について理解し、必要な援助方法を説明できる。
- ④ ウィメンズヘルスケアに関わる保健医療チームの中での看護師の役割を理解し、母子保健システムに関する社会的資源の活用や、健康教育の必要性を説明できる。
- ⑤ 治療が必要な新生児とその家族のための家族中心のケアの重要性を理解し、看護のあり方について自己の考えを述べることができる。
- ⑥ 周産期における母子とその家族への切れ目のないケアの必要性を説明できる
- ⑦ 生命の尊厳と周産期における倫理的課題について、臨床の現状をふまえて自己の考えを述べることができる。

9. 子ども・家族看護過程実習

【概要】

子どもとその家族を総合的に理解し、個人差および家族差を尊重した小児看護を実践するための基礎的能力を養う。

【到達目標】

- ① 子どもの健康問題および健康問題が子どもと家族に及ぼす影響を捉え、子どもと家族に援助を行う上で必要な情報収集できる。
- ② 子どもと家族をアセスメントし、看護計画を立案できる。
- ③ 計画にもとづいた看護を実践し、評価・修正できる。
- ④ 子どもと家族のおかれている状況・環境に応じた信頼関係（援助関係）を築くことができる。
- ⑤ 子どもの成長・発達を捉え、成長・発達に応じた適切な看護（遊びや学習の支援を含む）が提供できる。
- ⑥ 子どもと家族の権利を考慮した関わりができる。
- ⑦ 医師や保育士、学校教員などとの連携によるチーム医療の重要性とチーム医療における看護師の役割を説明できる。
- ⑧ 外来看護の役割を説明できる。
- ⑨ 地域で生活する子どもに対する看護職としての関わりを説明できる。

10. 訪問看護過程実習

【概要】

在宅療養者とその家族に対する訪問看護実践に参加し、コミュニケーションをとった上で、その健康状態と生活の特徴を理解し、看護課題を導き、自立支援に向けた看護計画について立案する。また、訪問看護の役割と機能、訪問看護を利用している在宅療養者とその家族を支えているケア資源やケアチームにおける連携の実際について理解を深め、訪問看護における看護実践の基礎力を養う。

【到達目標】

- ① 在宅療養者や家族とコミュニケーションをとり、訪問看護実践に参加できる。
- ② 在宅療養者や家族の健康状態と生活の特徴をふまえて、対象者の強みと弱みを説明できる。
- ③ 在宅療養者や家族のニーズに基づく看護課題を説明できる。
- ④ 在宅療養者や家族の自立支援に向けた看護計画を立案できる。
- ⑤ 訪問看護の役割と機能を説明できる。
- ⑥ 訪問看護における社会資源の活用方法とケアチームにおける連携方法を説明できる。

11. 地域包括ケア実習

【概要】

慢性の疾病や障がいがありながら地域で暮らす虚弱高齢者とその家族に学生が主体的に訪問し、その健康状態と生活の特徴をアセスメントし、対象者が暮らす地域の特性を考慮した予防・支援方計画を立案する。また、人々が住み慣れた地域で、自らの意向に沿って、尊厳のある生活を継続するために必要なケアマネジメント、ケア資源の内容や地域包括ケアシステムを構築する方法について理解を深め、多

職種・住民連携における看護実践の基礎力を養う。

【到達目標】

- ① 在宅虚弱高齢者や家族の支援に必要な情報を得るため、高齢者を主体的に訪問できる。
- ② 在宅虚弱高齢者や家族の健康状態と生活の特徴をふまえて、対象者の強みと弱みを説明できる。
- ③ 在宅虚弱高齢者を取り巻く生活環境の特徴を説明できる。
- ④ 在宅虚弱高齢者が暮らす地域の特性を考慮した予防・支援計画を立案できる。
- ⑤ 対象地域における高齢者の生活を支える交流、健康管理に関するケア資源を説明できる。
- ⑥ 対象地域の地域包括ケアシステムの構築を目指した多職種・住民連携の方法を説明できる。

12. ケアシステム科学実習

【概要】

総合的な看護・ケアのあり方をこれまでに習得した基礎分野から専門分野までの基礎的知識や技術を看護・ケア科学のフィールドにて学ぶとともに、研究的ならびに科学的な視点から看護・ケアを考察する。

【到達目標】

- ① 興味を持つ課題を主体的に選択し、研究的ならびに科学的な視点で看護・ケアの検討を行うことができる。
- ② 基礎分野から専門分野までの基本的知識や技術を統合しながらデータ分析を実施し、その結果に基づき看護・ケアを展開できる。
- ③ 看護学ならびにケア科学の現状と課題を明らかにするとともに、課題の解決方法について論理的に説明できる。

資料9 臨地実習計画表(先進ケア科学コース)

学 年	年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	月	4月				5月				6月				7月				8月	9月	月	10月				11月				12月				1月				2月				3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2

* 訪問看護課程実習、地域包括ケア実習については学生を25グループに分け、1グループあたり、学生2～3名にて構成する。

* ケアシステム科学実習については学生10グループに分け、1グループあたり、学生約5名にて構成する。

資料9 臨地実習計画表(実践看護科学コース)

学年	年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	月	4月				5月				6月				7月				8月		9月		10月				11月				12月				1月				2月				3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	～4	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	～4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1年生	全員																					前期試験期間									夏季休業													冬期休業													春季休業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	55名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2年生	55名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	1G 22名																																			慢性看護学実習				老年看護学実習									母性看護学実習													急性看護学実習								小児看護学実習																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
3年生	2G 22名																															老年看護学実習								在宅看護学実習					母性看護学実習				精神看護学実習													慢性看護学実習																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	3G 22名																															慢性看護学実習				急性看護学実習				母性看護学実習					精神看護学実習				老年看護学実習																	在宅看護学実習																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4G 22名																															小児看護学実習								母性看護学実習					急性看護学実習				慢性看護学実習																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5G 22名																															精神看護学実習				在宅看護学実習				老年看護学実習									急性看護学実習				慢性看護学実習					母性看護学実習																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	55人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

資料 10 実習中の安全管理対策

1. 看護学部における実習中の事故およびインシデント

(1) 実習中の事故

「実習中の事故」とは、臨地実習中・実習施設への登下校・実習中の移動等における、傷害・賠償事故、ウイルス・細菌感染等をいう。実習中の事故の発生例には、下記のようなものがある。

自己傷害	学生が傷害を負うなどの被害者となった場合（事故等による外傷、針刺し、自分の切傷が患者の血液粘膜に触れるなどしてウイルス・細菌に暴露した場合など）
対人賠償	学生が他人の身体・生命を介した加害者となった場合（転倒・転落、誤嚥、感染媒介、その他の外傷など）
対物賠償	施設や他人の備品や物品を壊したり無断で破棄した場合（備品・物品・薬品の損壊、物品の紛失、破棄など）

(2) インシデント

「インシデント」とは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の状況をさす。

2. 実習中の事故およびインシデント防止対策

実習中の事故およびインシデントは、学生の個々の知識不足、技術不足、不安や緊張、焦りなどのほか、学生・教員・臨床指導者・対象者間の相互作用、学習環境要因などが複雑に絡み合って発生する。実習中の事故およびインシデント防止対策として、以下の(1)～(4)に留意する。

- (1) 常に看護知識の確認や看護技術の復習を行い、安全と安楽に留意して看護援助を行う。
- (2) 不安や緊張、焦りは集中力の低下につながることもあるため、心身の状態をコントロールし実習に臨む。
- (3) 看護援助実施前の確認を怠らず、慎重に行動するよう心がける。
- (4) 不明確なことがあれば自己判断せず教員や臨床指導者に相談するなど、自分自身の状況を観察して対応する。

3. 実習中の事故およびインシデント・感染症発生時の対応

(1) 実習中の事故

- ① 実習中に誤って事故を起こした場合や誤って器具を破損した場合は、直ちに実習施設または病棟の責任者および担当教員に報告し、指示を受ける。
- ② 加入している賠償責任保険の当該保険会社に連絡を入れ対処法や問題発生時のサポートを得る。

(2) 実習中のインシデント

- ① 学生自身がインシデント発生に気付いた場合、速やかに担当教員および臨床指導者に報告する。
- ② 学生自身のリスク意識について担当教員と確認を行い、何が危険だったのか、どうすればよかったのかなど、インシデント体験をフィードバックする。
- ③ 自己や他者のインシデント体験の共有は、事故発生のリスクに対する感性を向上させ、危険回避行動をとることにもつながるため、必要に応じて情報共有をはかる。

なお、実習中の事故およびインシデントを報告した者が、当該報告があったことを理由に不利益を被ることはない。

資料 11 実習における学生の健康管理と感染予防対策

実習の対象となる各実習場所には、感染の危険が数多く潜在していることを認識する必要がある。学生が感染の媒介者とならないために、また、自分自身を守るためにも感染症に対する予防対策について、下記の事項にしたがって実施する。

1. 健康管理

- (1) 各学年で実施する定期健康診断を受ける。やむを得ず、定期健康診断を受けられなかった場合は、各自で健康診断を受ける。
- (2) 十分な食事・睡眠をとることを心がけ、日頃から自己の健康管理に留意する。
- (3) 実習前には、感染性疾患罹患の有無と麻疹、水痘、流行性耳下腺炎、風疹の抗体を獲得した後に実習に臨めるようにできるだけ予防接種を行う。冬季の実習ではインフルエンザワクチン接種を行う。
- (4) 体調不良および感染が疑われる場合（発熱、咳、下痢、結膜症状など）は、実習に出席する前に担当教員に相談し、その後の対応について指示を受ける。可能な限り受診するようにする。
- (5) 実習に際して配慮が必要となるような健康状態にある場合（病気、外傷、妊娠等）やその判断ができない場合は、事前に担当教員に相談する。

2. 実習中の感染予防対策

- (1) 学生は実習期間中毎朝、自宅で体温を測定し、37.5℃以上ある場合は担当教員に連絡するとともに自主的に医療機関を受診し、自宅待機する。
- (2) 学生が感染源（媒介者）にならないために、清潔なユニフォームを着用し、髪の毛がケアのときに対象に触れないようにする。
- (3) 手指衛生の徹底
 - ① 爪は短く切り、やすりで整える。
 - ② 実習の前後および患者のケア前後には手指衛生（流水と石けんまたは速乾性手指消毒剤による）を行う。
 - ③ 感染源となりうるもの（血液・体液・分泌物・排泄物、傷のある皮膚・粘膜等）に触れたときは必ず流水と石けんで手洗いをを行う。
- (4) 感染防護
 - ① 必要に応じて、マスク・プラスチックエプロン（ガウン）・ゴーグルなどを装着する。咳、くしゃみ等の症状があるときは、マスクを着用する。
 - ② 感染源となりうるもの（血液・体液・分泌物・排泄物、傷のある皮膚・粘膜等）に触れるときは、手袋を着用する。
 - ③ 使用後の針は、針刺し事故防止のため、リキャップはせず、専用の針捨てボックスにその場で捨てる。
- (5) 感染性廃棄物の分別は各実習施設で定められた方法に従う。

3. 実習中の感染症罹患・感染事故発生時の対応

学生が感染症に罹患したり、感染事故に遭遇した場合は、「実習中の事故及びインシデント・感染症時の学内報告システム」に基づき速やかに担当教員に報告し、指示を受ける。なお、欠席による実習時間数に関する対応は、実習領域ごとの指示に従う。また、学校保健安全法施行規則第 18 条

および第 19 条に明記されている「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合は、その出席停止期間を参考にすること。

資料 12 個人情報（診療情報含む）の取り扱い

1. 個人情報の位置づけ

個人情報の保護に関する法律第2条、および厚生労働省：医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドラインにもとづき個人情報を位置づける。個人情報は生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を認識することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものを含む）をいう。また、診療録等の形態に整理されていない場合でも個人情報に該当する。死者に関する情報は、遺族などが生存する個人に関する情報でもある場合はこれに含まれる。

2. 個人情報の取得ならびに取り扱う場所

個人情報を取り扱うのは、実習に係る施設（実習先施設、大学など）内とする。個人情報が記載されている診療録・看護記録などの診療情報を学生および教員が閲覧することについて、対象者または家族に説明し、個人情報を取り扱うことの同意を得る。対象者または家族への同意を得る方法は実習科目によって異なるので教員や実習指導者に確認する。施設内での移動時や公共の場、施設外では、個人情報に関する話を話さない。また、実習記録やメモなどの資料についても移動中や公共の場、施設外では閲覧、記入しない。

原則として、受け持ち対象者以外の個人情報へのアクセスは禁忌とし、本学医学部附属病院の場合、電子カルテへは、学生個人のIDでアクセスして閲覧する。

3. 個人情報の転記の制限について

個人情報は原則、手書きとし、固有名詞は、記号で記載するなど、匿名性を確保し、連絡先、生年月日など個人が容易に識別できる情報は、記録等に記載しない。実習に不必要な情報は記載しない。

4. 個人情報の漏洩禁止と防止について

個人情報及び実習中に知り得た対象者等の個人情報は、実習施設もしくは学内で指定された電子機器以外（パソコン・スマートフォン）には入力しない。また、個人情報及び実習中に得た事項については、電子機器を介しての情報交換およびインターネット上（ホームページ、ブログ、ツイッター、ラインなどのソーシャルネットワーキングサービス）への書き込みを禁ずる。

(1) 個人情報は、実習目的以外に利用しない。

(2) 個人情報の記載のある記録（実習記録やメモ類など）のコピーは禁忌とする。ただし、カンファレンスの資料等でコピーが必要な場合は、各実習科目担当教員の指示に従う。

(3) 個人情報の記載のある記録（実習記録やメモ類など）を持ち運ぶ場合は、外部から見えないように管理する。

(4) 実習記録およびメモ類は、実習中・実習終了時もしくは卒業時に返却された場合、個人情報保護

に配慮して厳重に保管し、破棄する場合はシュレッダーにかけるなど再現不可能な状態にする。

(5) 個人情報の記載のある記録（実習記録やメモ類など）は紛失しないよう留意する。万が一、紛失の可能性が生じた場合は、速やかに各実習科目担当教員に連絡する。

(6) 実習期間中および実習期間終了後においても、大阪府個人情報保護条例等の法令に違反行為をしたときは、懲役または罰金に処されることがある。

5. 個人情報保護に関する誓約書

臨地実習をするにあたり、「実習施設における個人情報の保護等に関する誓約書」を大学に提出しなければならない。また実習施設からの求めにより誓約書を開示するため、卒業まで保管する。実習施設によっては別途、個人情報保護等に関する誓約書を求められることがある。

資料13 看護学部看護学科キャンパスの遷移
新キャンパス整備に伴う校地（教育実施場所）遷移について

施設整備計画

1. 森之宮キャンパスが2025年度開設
2. 阿倍野キャンパスに新学舎が2025年度開設

2022年度
新大学開
学

↓

2023年度

↓

2024年度

↓

2025年度
森之宮キャン
パス、阿倍
野新学舎
開設

2025年度
以降

大学	学年			
	1年	2年	3年	4年
新大学（1期生）	中百舌鳥			
大阪府立大学		羽曳野		
大阪市立大学		阿倍野（旧）		

■1期生 1年次 基幹教育「中百舌鳥キャンパス」

大学	学年			
	1年	2年	3年	4年
新大学（1、2期生）	中百舌鳥	羽曳野		
大阪府立大学			羽曳野	
大阪市立大学			阿倍野（旧）	

■1期生 2年次 専門教育「羽曳野キャンパス」
■2期生 1年次 基幹教育「中百舌鳥キャンパス」

大学	学年			
	1年	2年	3年	4年
新大学（1、2期生）		羽曳野	阿倍野（旧）	
新大学（3期生以降）	中百舌鳥			
大阪府立大学				羽曳野
大阪市立大学				阿倍野（旧）

■1期生 3年次 専門教育「阿倍野キャンパス（旧学舎）」
■2期生 2年次 専門教育「羽曳野キャンパス」
■3期生 1年次 基幹教育「中百舌鳥キャンパス」

大学	学年			
	1年	2年	3年	4年
新大学（1、2期生）			阿倍野（旧＋新）	
新大学（3期生以降）	森之宮	阿倍野（旧＋新）		

■1期生 4年次 専門教育「阿倍野キャンパス（旧学舎＋新学舎）」
■2期生 3年次以降 専門教育「阿倍野キャンパス（旧学舎＋新学舎）」
■3期生 2年次以降 専門教育「阿倍野キャンパス（旧学舎＋新学舎）」
■4期生 1年次 基幹教育「森之宮キャンパス」

大学	学年			
	1年	2年	3年	4年
新大学（3期生以降）	森之宮	阿倍野（旧＋新）		

■1年次 基幹教育「森之宮キャンパス」
■2年次以降 専門教育「阿倍野キャンパス（旧学舎＋新学舎）」

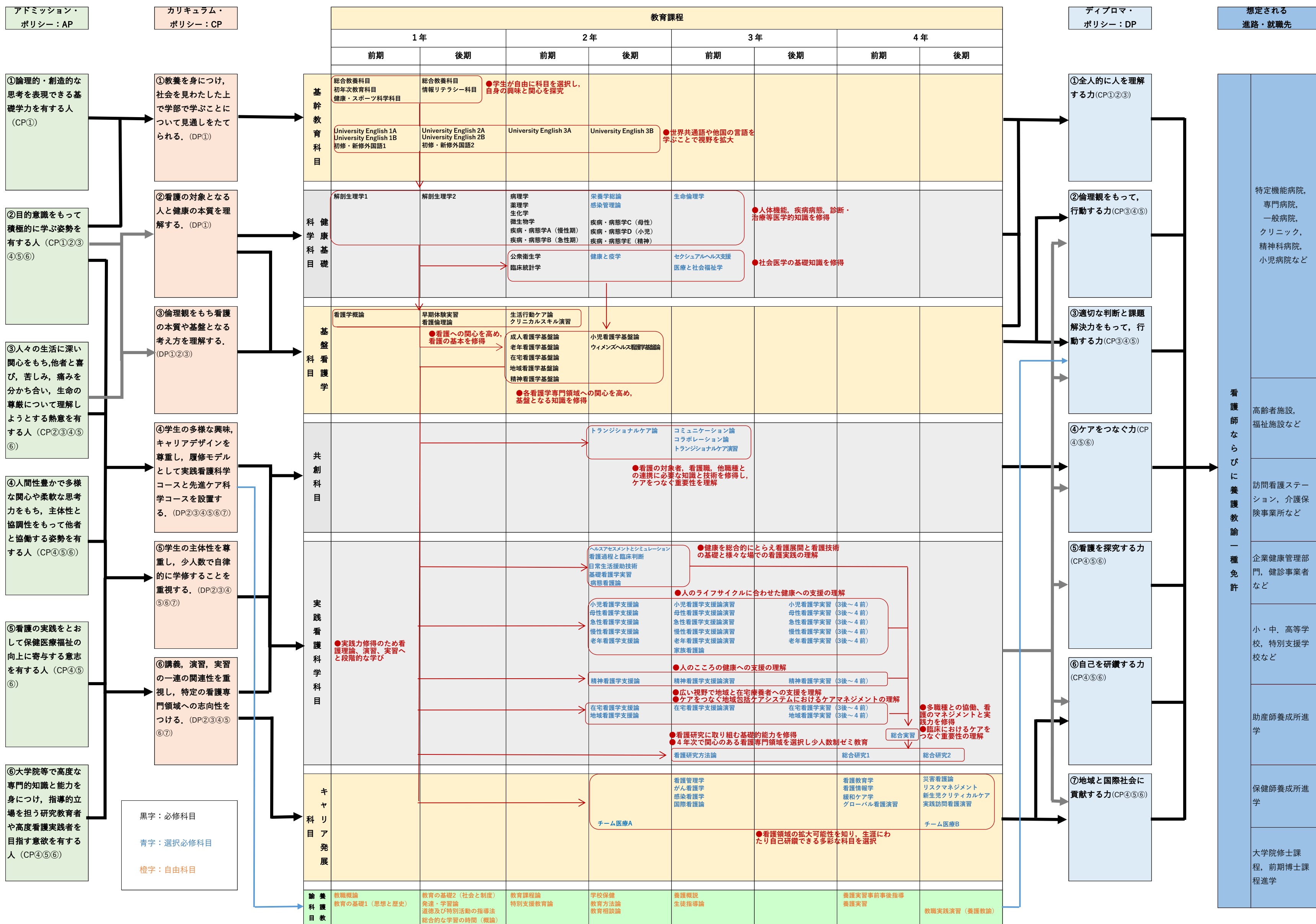
資料14 看護学部看護学科：実践看護科学コース カリキュラムマップ

【設置の趣旨・必要性】

1. 大阪市立大学と大阪府立大学がこれまで培ってきた看護実践力・教育力・研究力を統合し、水準の高い看護実践分野と高度な研究分野を併せ持つ大学として看護学術領域を拡充する。
2. 持続可能な社会の実現に資する看護学を拡充するために、質の高い保健医療福祉ケアを確保できる自立的な実践力をもつ看護職育成とSociety5.0の推進に伴う急速な技術革新をとりいれ新たな看護の飛躍知を創造することが必要である。
3. 大阪府民の健康課題を解決し、地域社会の医療の質に寄与する看護職を育成する。
4. 利便性が高い最適な学習環境を提供し、大都市知的拠点として、看護学の生涯教育の中核的な役割を担う。

【養成する人材像】

看護学部では、人々の生命と個人の尊厳を尊重できる豊かな人間性、看護学の専門的知識・技術と科学的根拠に基づいた適確な看護実践力ならびに、保健医療福祉をめぐる社会の変化への柔軟な適応力を有し、看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みを併せもつ人材を養成する。具体的には、看護学部で養成する豊かな人間性としては、全人的に人を理解し、倫理観をもって行動できる力、看護実践力としては、ケアをつなぎ、適切な判断と課題解決能力をもって看護を実践する力、社会への変化の適応力として、総合的な視野をもって看護を探究しながら自己を研鑽し、地域と国際社会に貢献する力を養成する。



資料14 看護学部看護学科：先進ケア科学コース カリキュラムマップ

【設置の趣旨・必要性】

1. 大阪市立大学と大阪府立大学がこれまで培ってきた看護実践力・教育力・研究力を統合し、水準の高い看護実践分野と高度な研究分野を併せ持つ大学として看護学術領域を拡充する。
2. 持続可能な社会の実現に資する看護学を拡充するために、質の高い保健医療福祉ケアを確保できる自立的な実践力をもつ看護職育成とSociety5.0の推進に伴う急速な技術革新をとりいれ新たな看護の飛躍を創造することが必要である。
3. 大阪府民の健康課題を解決し、地域社会の医療の質に寄与する看護職を育成する。
4. 利便性が高い最適な学習環境を提供し、大都市知的拠点として、看護学の生涯教育の中核的な役割を担う。

【養成する人材像】

看護学部では、人々の生命と個人の尊厳を尊重できる豊かな人間性、看護学の専門的知識・技術と科学的根拠に基づいた適確な看護実践力ならびに、保健医療福祉をめぐる社会の変化への柔軟な適応力を有し、看護と看護学の発展に寄与できる多様な強みを併せもつ人材を養成する。具体的には、看護学部で養成する豊かな人間性としては、全人的に人を理解し、倫理観をもって行動できる力、看護実践力としては、ケアをつなぎ、適切な判断と課題解決能力をもって看護を実践する力、社会への変化の適応力として、総合的な視野をもって看護を探究しながら自己を研鑽し、地域と国際社会に貢献する力を養成する。

